

第2期 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン (変更案)

令和4年3月 策定
令和5年3月 変更

目 次

序章	ビジョンの策定に当たって	1
1	策定の趣旨	1
2	連携中枢都市圏及び構成市町村の名称	1
3	具体的な取組期間	1
第1章	圏域の概況	2
1	構成市町村の概況	2
2	地域資源の状況	5
3	圏域の結びつき	7
4	人口の動向	9
5	産業の動向	17
6	都市機能・生活機能の状況	35
第2章	圏域の中長期的将来像	44
1	人口の将来展望	44
2	目指す将来像	45
3	取組の方向性	46
第3章	将来像の実現に向けた具体的取組	47
1	施策体系	47
2	具体的取組	49
3	推進体制	93
付属資料		94
	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿	95
	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱	96
	八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について	97
	八戸都市圏スクラム8ロゴマーク等の使用に関する要綱	98

1 策定の趣旨

八戸圏域は、平成 21(2009)年 9 月に定住自立圏形成協定を締結し、圏域市町村が連携・協力して、定住の受け皿として必要な都市機能及び生活機能の確保・充実を図るとともに、魅力あふれる地域づくりを推進してきました。

また、平成 29(2017)年 3 月には、連携中枢都市圏へと発展的に移行し、「地域の個性が輝き自立した八戸圏域」を目指すべき将来像として掲げ、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に関する取組を着実に進めてきました。

このような中、近年、人口減少の進行や自然災害の激甚化・多発化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、当圏域を取り巻く環境は大きく変容しており、今後、当圏域が一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済が維持され、住民の暮らしを支えることが可能な魅力あふれる圏域として更なる飛躍を遂げるためには、これまで培ってきた緊密な連携に基づく連携中枢都市圏の取組の深化を図り、圏域全体の一体的発展につなげていく必要があります。

以上を踏まえ、令和 4(2022)年度を開始年度とした今後 5 年間における八戸圏域連携中枢都市圏の中長期的将来像と具体的取組を示す新たな連携中枢都市圏ビジョンを策定します。

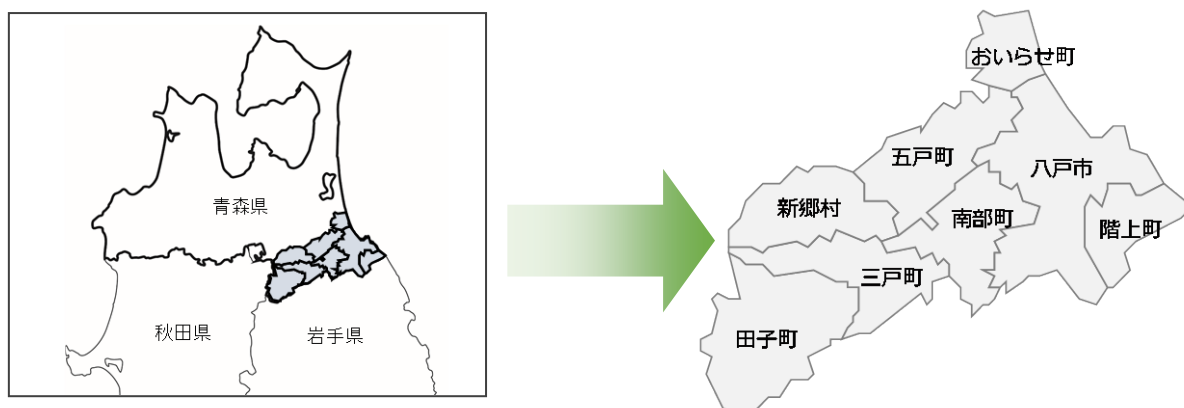
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

(1) 連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏（愛称：八戸都市圏スクラム^{エイト}8）

(2) 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

八戸市(連携中枢都市)、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



3 具体的な取組期間

本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の期間は、令和 4(2022)年度から令和 8(2026)年度までの 5 年間とします。

第1章 圏域の概況

1 構成市町村の概況

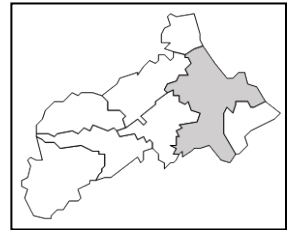
構成市町村の概況は以下のとおりです。カッコ書きは、各市町村における総合計画の将来像を示しています。

八戸市

「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」

【連携中枢都市】

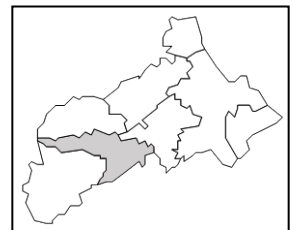
- ・八戸市は、古く藩政時代から、圏域をはじめ北奥羽地域の経済・社会・文化の中心として栄え、全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として発展し、平成 29(2017)年 1 月 1 日には中核市に移行しました。
- ・今後は、これまで整備してきた高度な都市機能を活かし、圏域内での更なる地域医療の充実やにぎわい創出を図るとともに、多種多様な産業や豊かな地域資源を活用した地域経済の活性化や観光の振興を図り、八戸圏域の中心市として、活力ある経済圏・生活圏の形成を目指していきます。



三戸町

「みんなが集う みんなで創る みんなを笑顔に 美しいふるさと さんのへ」

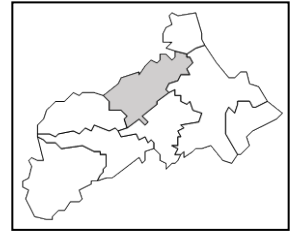
- ・三戸町は、戦国時代、北東北一帯を支配していた三戸南部氏の居城「三戸城」が築かれ、城下町として栄えた古い歴史を有し、明治 22 年に誕生してからは、三戸地方の中心地として大きな役割を果たしてきました。令和 4 年 3 月 15 日には、三戸城跡の歴史的価値が認められ、国史跡に指定されました。「りんご」をはじめとした果樹、米、葉たばこ、畜産などの農業が盛んで、近年は、町出身の漫画家「故・馬場のぼる」さんの人気絵本「11 ぴきのねこ」シリーズのキャラクターを活用したオンリーワンのまちづくりに取り組んでいます。
- ・今後は、「三戸独自の風土」に誇りを持ち、人、自然、文化という優れた資源や経験から得た知識を活かしながら、町民一人ひとりが地域社会の一員として集い、共生・協働のまちを創出することで、生涯にわたり生きがいを感じ、笑顔があふれるまちづくりを目指していきます。



五戸町

「人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷 ごのへ」

- ・五戸町は、八戸圏域の玄関口である八戸駅に近く、奥入瀬溪流で有名な十和田市とも隣接しています。長芋やにんにくなどの畑作、米、果樹、畜産などの農業が盛んで、馬肉、青森シャモロック、あおり倉石牛・与助の牛の五戸三大肉をはじめとして食彩豊かなまちを全国に発信し、地域農業の振興を図っています。
- ・また、近年では、スポーツ施設を有するひばり野公園のリノベーションや五戸ドームの人工芝生化により年間通して幼児から高齢者まで幅広くスポーツや運動に親しむことができる環境を整備したほか、中心市街地の活性化に向けた立地適正化計画の策定や、後世へ防災教育を語り継ぐ旧南部鉄道 DC351 の里帰りを果たすなど、活力とにぎわいの創出などに力を入れて各種施策に取り組んでいます。
- ・今後は、町が目指す将来像である『人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷ごのへ』の実現を図るため、子どもや若者、高齢者を含めた地域住民と協働したまちづくりや6次産業化など総合的な産業振興などに取り組むとともに、八戸市や近隣町村との連携を強化し、社会の変化に対応しながら、未来へ向けてさらに発展していくことを目指していきます。



田子町

「ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち」

- ・田子町は、八戸圏域の最南端に位置し、青森、秋田、岩手の三県の県境に接する町で、広大な牧草地と豊富な森林資源を有しています。町の基幹産業は、農業と畜産を組み合わせた耕畜連携の地域農業を振興しています。中でも、にんにくは「たっこにんにく」の地域団体商標を取得し、さらに、新品種「たっこ1号」を開発するなどブランド力を高めてきました。また、夏秋野菜や田子牛(黒毛和牛)などの産地化とブランド化に努めています。
- ・今後は、北東北の二大観光地、十和田八幡平国立公園と三陸復興国立公園を結ぶ最短ルートの沿線にあるという地理的特性と魅力ある地域資源を活かした滞在型観光の推進と関係人口の創出に力を入れるとともに、光ファイバを活用した双方向通信などの地域情報網と有機的な連携による移動支援などの地域ネットワークの構築、国際交流を活かした教育の充実など、高齢者と子どもにやさしい地域づくりを目指していきます。



南部町

「みんながつながり達者に暮らす 笑顔あふれるまち 南部町」

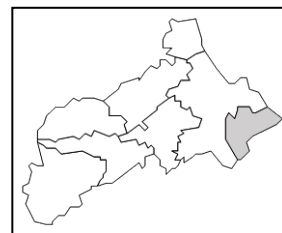
- ・南部町は、八戸市に隣接し、国道4号と104号が合流する交通の要衝に位置しています。果樹を中心とした安全・安心な農作物の生産拠点であるほか、「農業観光四季のまつり」、「達者村」、農業体験修学旅行生の受入れなどの施策を展開し、交流を推進しています。
- ・今後は、基幹産業である農業をはじめ各種産業の振興を図っていくため、南部藩発祥の地、国史跡聖寿寺館跡、国指定重要文化財南部利康霊屋、国登録有形文化財承陽塔、南部手踊り発祥の地等の歴史的遺産と各種観光資源を複合したグリーン・ツーリズムの推進など、都市・地域間交流を積極的に推進するとともに、全国唯一の町営地方卸売市場が圏域内の一大流通拠点となることを目指していきます。



階上町

「心豊かで安心安全な暮らしと 活力あふれる地域をみんなでつくる はしかみ New era plan」

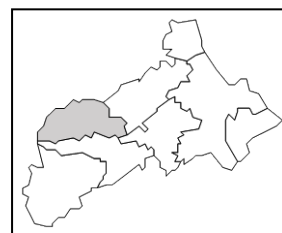
- ・階上町は、八戸市の南東に位置し岩手県境に接する町であり、公共下水道事業等の住環境の整備が進められ、八戸市のベッドタウンとなっています。
- ・「元祖いちご煮」や「階上早生階上そば」、「階上産アブラメ」をはじめとして、町の地域資源を活かした階上ブランドを推進するとともに、三陸復興国立公園の一部である階上岳や階上海岸等の豊かな自然を活かした体験型観光の推進と、都市住民と農村の交流の場や圏域住民の憩いの場として豊かな自然を提供することにより、産業振興と地域活性化を目指しています。
- ・今後は、町民と行政がパートナーとして連携し、住民の意見を反映させるとともに、効率的・効果的な行財政運営を進められるよう、これまで取り組んできた「協働のまちづくり」を更に推進していきます。



新郷村

「未来へ残す、未来を創る この地・この人・この文化」

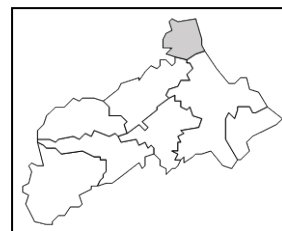
- ・新郷村は、米、野菜、畜産を主体とした農業をはじめ、素材生産はもとより環境保全等の公益機能を有する林業を基幹産業とし、農林畜産物生産の拠点的作用を果たしています。
- ・また、十和田八幡平国立公園に接する迷ヶ平や間木ノ平地区生活環境保全林は、自然滞在型体験観光エリアであるとともに、その周辺にはキリストの墓や大石神ピラミッド、新郷温泉館、水芭蕉群生地等があり、圏域内外からの観光客の保養の場としての役割を果たしています。
- ・農業を基幹産業として営み続けてきた本村は、今後も農業の村として存続を図っていくとともに、農業・林業・畜産業の発展を通じ村の文化を未来へ残すため、地域と結びついた産業を育み、新たな創造に努めていきます。また、国の方針にも「地方創生」と「人材育成」とあるように、人や地域の個性を活かすことがますます重要となることから、「この」＝「これがいい」と選ばれる、誇りを持てる村であるために、「新郷ならではのよさ」を育てていきます。



おいらせ町

「子どものびのび 大人いきいき ともにつくる おいらせ町」

- ・おいらせ町は、八戸市・三沢市・十和田市の中心に位置し、陸・海・空の交通網の結節点として地理的に恵まれた、「住みごこちのよいまち」として近隣市のベッドタウン的作用を果たしています。
- ・水稻、畑作、畜産及び施設園芸を主体とした複合型農業や、臨海部の百石工業団地及び大型商業施設を核とした商業集積等、産業がバランスよく発展しています。
- ・今後は、未来を担う子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境をつくるとともに、大人たちが仕事、地域活動や趣味などで活躍し、いきいきと元気にくらす「子どものびのび大人いきいき」の町を目指していきます。



2 地域資源の状況

	自然・景勝地	歴史・民俗	スポーツ施設
八戸市	・三陸復興国立公園（種差海岸） ・天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地 ・名勝 種差海岸 ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク ・市民の森 不習岳	・国宝（赤糸威鎧兜大袖付、白糸威褌取鎧兜大袖付、合掌土偶） ・是川石器時代遺跡 ・国史跡根城跡 ・櫛引八幡宮 ・清水寺観音堂 ・旧島守発電所保存公園 ・新むつ旅館 ・更上閣 ・八戸酒造 ・八戸えんぶり ・八戸三社大祭 ・加賀美流騎馬打毬 ・法霊神楽 ・鮫の神楽 ・旧河内屋橋本合名会社	・長根公園 ・東運動公園 ・新井田公園 ・八戸市屋内トレーニングセンター ・南部山健康運動公園 ・カッコーの森エコーランド ・多賀多目的運動場 ・FLAT HACHINOHE
三戸町	・県立自然公園（名久井岳）	・国史跡三戸城跡城山公園 ・関根の松 ・奥州街道、駕籠立場（一里塚） ・斗内千人塚 ・泉山の登拝行事 ・佐藤家建造物 ・斗内獅子舞 ・白虎隊供養碑	・三戸町スポーツ文化福祉複合施設（アップルドーム） ・三戸町民体育館 ・サン・スポーツランド三戸 ・三戸町勤労者体育センター ・松原公園 ・三戸町民プール ・さんのへパークゴルフ場
五戸町	・桜沼公園 ・日本一のカシワの木 ・槍沢のしだれ桜	・旧圓子家住宅 ・江渡家住宅 ・五戸町消防団第一分団屯所 ・寶福寺 ・新山神社 ・明治天皇行在所 ・五戸代官所 ・南部駒踊り ・館町神楽舞 ・五戸えんぶり ・田植え・田の草取り唄と踊り ・奥州街道	・ひばり野公園スポーツ施設 ・五戸ドーム ・倉石スポーツセンター ・町立公民館体育センター
田子町	・みろくの滝 ・大黒森の山つつじ ・四角岳 ・真清田神社の杉 ・釜淵観音堂の大イチョウ ・蛇王の松・三本松の山ノ神 ・桂水カツラ・だだっちの木	・田子館、牛尾館 ・奇峰学秀の仏像 ・真清田神社・釜淵観音堂 ・洞門寺山門、仁王像 ・旧橋本家住宅 ・田子神楽、石亀神楽 ・田子の虫追い ・ナニヤドヤラ（盆踊り）	・創遊村 229 スキーランド ・農業者トレーニングセンター ・町民グラウンド ・町民プール ・農山村広場 ・農村環境改善センター
南部町	・県立自然公園（名久井岳） ・法光寺の千本松	・南部利康霊屋 ・南部利直霊屋 ・国史跡聖寿寺館跡 ・白華山 法光寺 承陽塔（三重の塔） ・南部地方えんぶり ・南部手踊り	・名川 B&G ・海洋センター ・町民体育館 ・福地体育センター ・ふるさと運動公園 ・ふくち運動公園 ・たいら運動公園 ・すばく名川 ・ふくちアイスアリーナ ・八戸射撃場
階上町	・三陸復興国立公園（階上岳、階上海岸） ・みちのく潮風トレイル ・三陸ジオパーク	・赤保内駒踊り ・平内鶏舞 ・平内えんぶり ・田代えんぶり ・鳥屋部えんぶり ・道仏神楽 ・寺下観音 ・館神社 ・巨樹・巨木	・石鉢ふれあい交流館 ・町民プール ・八戸カントリークラブ ・中央体育館・町民体育館 ・あおぞらテニスコート ・クライミングジムノースロック
新郷村	・日本一ダケカンバ（樹木） ・戸来岳 ・十和利山 ・権現の滝 ・水芭蕉群生地	・ナニヤドヤラ（盆踊り） ・キリストの里公園（キリストの墓） ・大石神ピラミッド ・長慶天皇の墓	・村営金ヶ沢スキー場 ・村営プール ・村営野球場
おいらせ町	・根岸の大いちょう ・間木堤白鳥飛来地 ・いちょう公園（自然散策道）	・氣比神社 ・国史跡「阿光坊古墳群」 ・百石えんぶり ・百石まつり ・下田まつり ・県重宝「聖観世音菩薩立像」	・いちょう公園 ・下田公園 ・町民交流センター ・いちょう公園体育館 ・町民プール

文化・芸術施設	レクリエーション施設	産直施設	その他	
・八戸市公会堂 ・八戸市美術館 ・八戸市博物館 ・南郷文化ホール ・南郷歴史民俗資料館 ・南部会館 ・八戸南部氏庭園 ・八戸ブックセンター ・八戸市埋蔵文化財センター ・是川縄文館	・八戸公園 ・白浜海水浴場 ・蕪島海水浴場 ・水産科学館マリエント ・長者まつりんぐ広場 ・山の楽校	・八菜館 ・道の駅なんごう ・朝もやの館 ・浜市場 みなととつ	・八食センター ・八戸市魚菜小売市場 ・世増ダム（青葉湖） ・みなと体験学習館 ・「みなっ知」 ・蕪島物産販売施設 ・「かぶーにゃ」 ・八戸ポータルミュージアム ・「はっち」 ・朝市文化、横丁文化 ・八戸まちなか広場 ・「マチニワ」 ・ユートリー	・八戸前沖さば ・八戸せんべい汁 ・南郷そば ・青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆、南部花形組子） ・八戸ワイン ・八戸市公式マスコットキャラクター「いかずきんズ」
・歴史民俗資料館 ・アップルドーム ・「ほのぼの館・馬場のぼるの部屋」	・勤労青少年ホーム ・金洗沢公園 ・城山公園	・道の駅さんのへ ・SAN・SUN 産直ひろば ・新鮮組	・「11ぴきのねこ」の石像 ・地域商社「榊SANNOWA」 ・三戸望郷大橋 ・太子食品工業㈱ ・ひつつみ ・串もち	・ジョミ（ガマズミ） ・ミニふじ ・三戸田子牛 ・きんかもち ・三戸せんべい
・歴史みらいパーク ・ごのへ郷土館 ・石沢駒踊伝承館	・新・たんぼのゆっこ ・五戸まきば温泉 ・ひばり野公園 ・小渡平公園 ・牧内自然公園 ・ひばり野ダリア園 ・正子のチューリップ園	・ふれあい市ごのへ	・八戸酒類㈱五戸工場 ・㈱菊駒酒造 ・青森伝統工芸品（五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織） ・あおもり倉石牛 ・与助の牛	・馬肉料理 ・青森シャモロック ・五戸町応援キャラクター「ばおるくんとみらいちゃん」 ・五戸町 PR キャラクター「おんこちゃん」
・タプコピアンプラザ ・田子町文化観光交流施設「Takko Visitor Center みろく館」	・タプコブ創遊村 ・みろくの滝親水広場 ・大福山公園	・ガーリックセンター ・JA八戸田子ストア ・関所の茶屋 ・産直たっこや ・Takko Farmer's Market	・サンモールたっこ商店街 ・たっこにんにく ・田子牛 ・ガーリックステーキごはん ・「ジャッツ！タッコーラ」	・たっこにんにくイメー ・ジキャラクター ・「たっこ王子」 ・田子にんにく焼酎「どでん」 ・黒にんにく×赤ワイン「クロシュ」
・南部芸能伝承館 ・史跡聖寿寺館跡案内所 ・楽楽ホール	・名川チェリリン村 ・長谷ぼたん園 ・ふるさとの森公園 ・バーデハウスふくち	・ふくちジャックドセンター ・名川チェリーセンター ・そばの里けやぐ ・なんがふるさと物産館	・サクランボ ・南部町営地方卸売市場 ・いちようロード ・ゼネラル・レクラーク ・食用菊（阿房宮）	・南部達者米 ・南部太ねぎ ・南部町シンボルキャラクター「なべまる」
・民俗資料収集館	・ふるさと河川公園 ・階上岳つつじの森キャンプ場 ・ハートフルプラザはしかみ ・わっせ交流センター ・交流の森広場 ・アスナ公園 ・山館前公園	・道の駅はしかみ ・フォレストピア階上 ・はしかみハマの駅 ・あるでい～ば	・階上灯台、小舟渡園地 ・いちご煮 ・階上早生階上そば ・早生そば加工品（焼酎、ジェラート、そば味噌等） ・塩サイダー「どごさいだ～ハマさいだ～」 ・階上町シンボルキャラクター「はしかみキッズ」	
・キリストの里公園伝承館 ・川代ものづくり学校	・間木ノ平グリーンパーク ・ウキウキランド（釣り堀） ・戸来岳 ・「鷺の湯」野沢温泉、新郷温泉館	・新郷村地場産品直売センター（道の駅しんごう） ・キリストつば	・㈱泉農場新郷醸造所（長いも焼酎） ・ミルク&ハム工房 ・有機資源センター新郷 ・銀の鴨 ・新郷ホワイトイルミネーション	
・大山将棋記念館 ・ネーチャーセンター ・白鳥の家 ・おいらせ阿光坊古墳館 ・みなくる館	・しもだサーモンパーク ・下田公園キャンプ場 ・カワヨグリーン牧場 ・海浜公園 ・いちよう公園	・観光PRセンター「味祭館」 ・アグリノ里おいらせ ・おはよう広場 ・ファーマーズマルシェ hitotsubu	・日本一の自由の女神像 ・向山駅ミュージアム ・桃川（酒蔵） ・黒にんにく ・おいらせ町イメージキャラクター おいらくん	・黒ホッキ ・キクイモ

3 圏域の結びつき

(1) 総人口

- ・総人口は約 31 万人となっており、そのうち八戸市の人口は約 7 割を占めている。
- ・昼夜間人口比率は八戸市以外の団体では 100%を下回っており、八戸市を中心に圏域の経済圏・生活圏が形成されていることが推察される。

図表 1-1 人口総数及び昼夜間人口比率

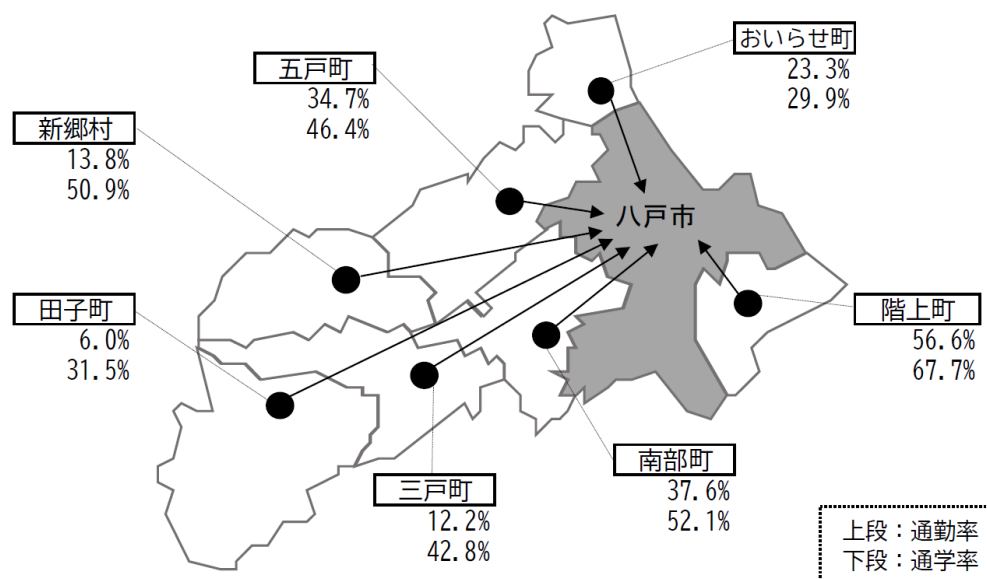
		(人)							
市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
人口総数	223,415	9,082	16,042	4,968	16,809	13,496	2,197	24,273	310,282
昼夜間人口比率	104.4%	98.6%	88.9%	96.9%	85.2%	77.8%	94.0%	83.9%	-

資料：令和 2 年 国勢調査（総務省）

(2) 通勤・通学圏

- ・八戸市への通勤状況は、通勤率が高い順に階上町が 56.6%、南部町が 37.6%、五戸町が 34.7%となっている。
- ・八戸市への通学状況は、通学率が高い順に階上町が 67.7%、南部町が 52.1%、新郷村が 50.9%となっており、通勤率と比較して、八戸市への流入割合がより大きくなっている。

図表 1-2 八戸市への通勤・通学者状況 (%)



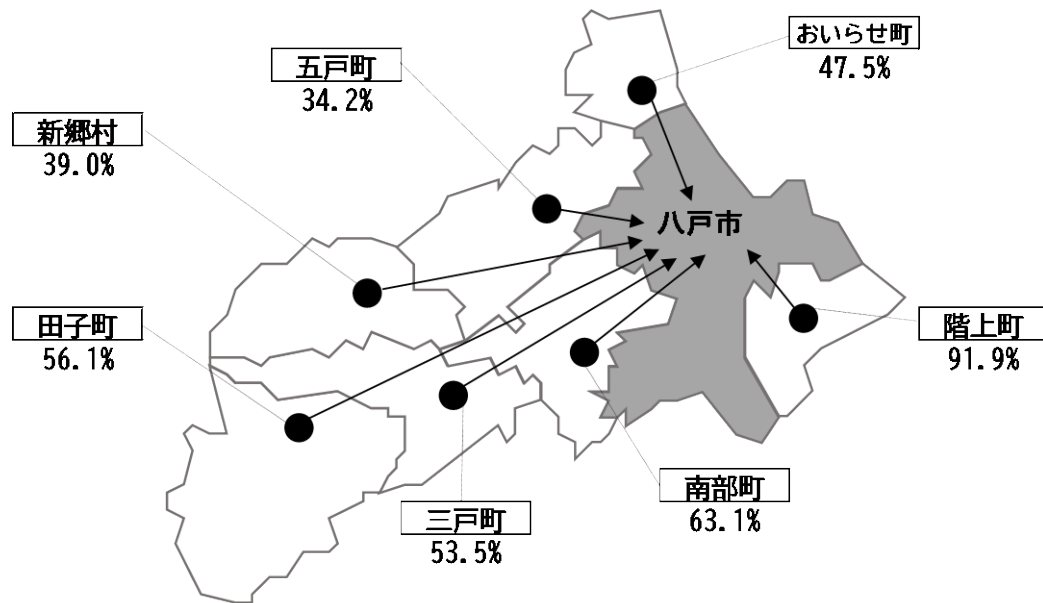
※15 歳以上の就業者、通学者

資料：令和 2 年 国勢調査（総務省）

(3) 医療圏

- ・八戸市内の病院への入院者比率は、比率が高い順に階上町が 91.9%、南部町が 63.1%、田子町が 56.1%となっており、その他の町村でも 30%を超える水準となっている。

図表 1-3 八戸市内病院への入院動向 (%)



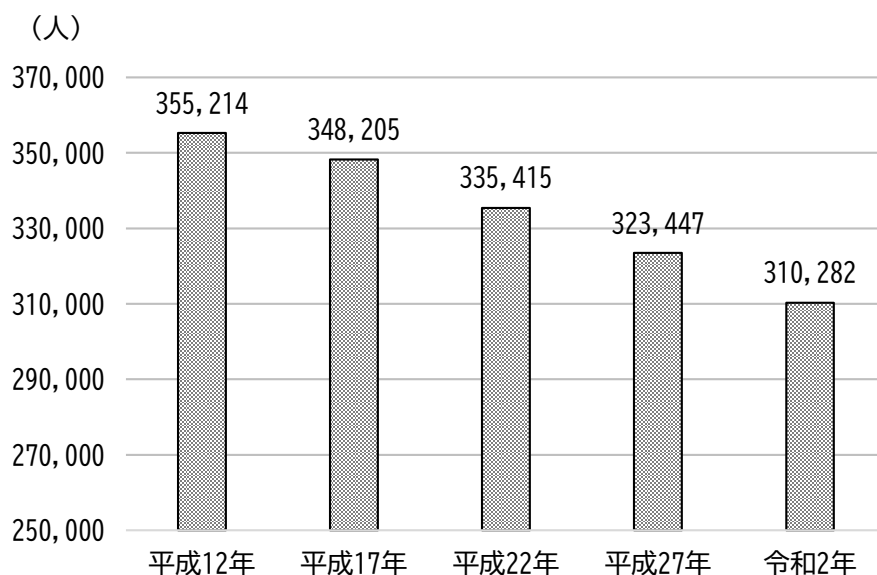
資料：平成 28 年 受療動向調査（青森県）

4 人口の動向

(1) 人口推移

- ・平成12(2000)年から令和2(2020)年にかけて約4.5万人の減少となっている。
- ・構成市町村別では、おいらせ町は微増・横ばい、八戸市は微減で推移している一方で、三戸町、田子町、新郷村では前期比マイナス10%前後の水準で減少している。

図表 1-4 人口の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-5 構成市町村別 人口の推移

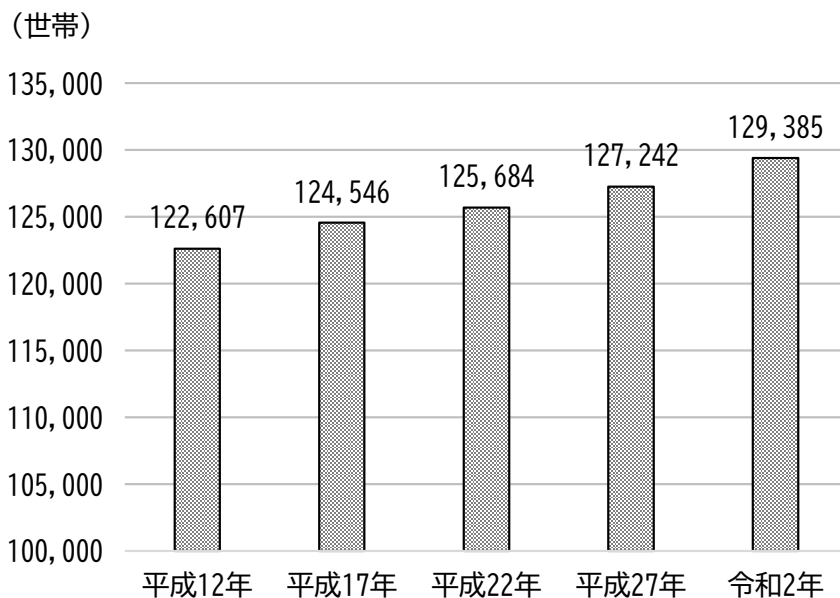
年 市町村	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
八戸市	248,608	244,700 (-1.6%)	237,615 (-2.9%)	231,257 (-2.7%)	223,415 (-3.4%)	72.0%
三戸町	13,223	12,261 (-7.3%)	11,299 (-7.8%)	10,135 (-10.3%)	9,082 (-10.4%)	2.9%
五戸町	21,318	20,138 (-5.5%)	18,712 (-7.1%)	17,433 (-6.8%)	16,042 (-8.0%)	5.2%
田子町	7,288	6,883 (-5.6%)	6,175 (-10.3%)	5,554 (-10.1%)	4,968 (-10.6%)	1.6%
南部町	22,596	21,552 (-4.6%)	19,853 (-7.9%)	18,312 (-7.8%)	16,809 (-8.2%)	5.4%
階上町	15,618	15,356 (-1.7%)	14,699 (-4.3%)	14,025 (-4.6%)	13,496 (-3.8%)	4.4%
新郷村	3,343	3,143 (-6.0%)	2,851 (-9.3%)	2,509 (-12.0%)	2,197 (-12.4%)	0.7%
おいらせ町	23,220	24,172 (4.1%)	24,211 (0.2%)	24,222 (0.0%)	24,273 (0.2%)	7.8%
圏域	355,214	348,205 (-2.0%)	335,415 (-3.7%)	323,447 (-3.6%)	310,282 (-4.1%)	-

下段：対前期増加率
資料：国勢調査（総務省）

(2) 世帯数

- ・高齢単身者世帯が微増傾向となっており、平成12(2000)年から令和2(2020)年にかけて、約7千世帯の増加となっている。

図表 1-6 世帯数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-7 構成市町村別 世帯数の推移

		(世帯)				
年	市町村	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
	八戸市	88,657	90,308 (1.9%)	91,917 (1.8%)	93,750 (2.0%)	95,671 (2.0%)
	三戸町	4,312	4,145 (-3.9%)	3,961 (-4.4%)	3,756 (-5.2%)	3,566 (-5.1%)
	五戸町	6,268	6,347 (1.3%)	6,177 (-2.7%)	6,123 (-0.9%)	6,059 (-1.0%)
	田子町	2,253	2,223 (-1.3%)	2,097 (-5.7%)	2,006 (-4.3%)	1,918 (-4.4%)
	南部町	6,851	6,819 (-0.5%)	6,621 (-2.9%)	6,419 (-3.1%)	6,263 (-2.4%)
	階上町	5,951	5,786 (-2.8%)	5,707 (-1.4%)	5,699 (-0.1%)	5,862 (2.9%)
	新郷村	927	909 (-1.9%)	874 (-3.9%)	831 (-4.9%)	788 (-5.2%)
	おいらせ町	7,388	8,009 (8.4%)	8,330 (4.0%)	8,658 (3.9%)	9,258 (6.9%)
	圏域	122,607	124,546 (1.6%)	125,684 (0.9%)	127,242 (1.2%)	129,385 (1.7%)
						圏域内構成比 (令和2年)
						73.9%
						2.8%
						4.7%
						1.5%
						4.8%
						4.5%
						0.6%
						7.2%
						-

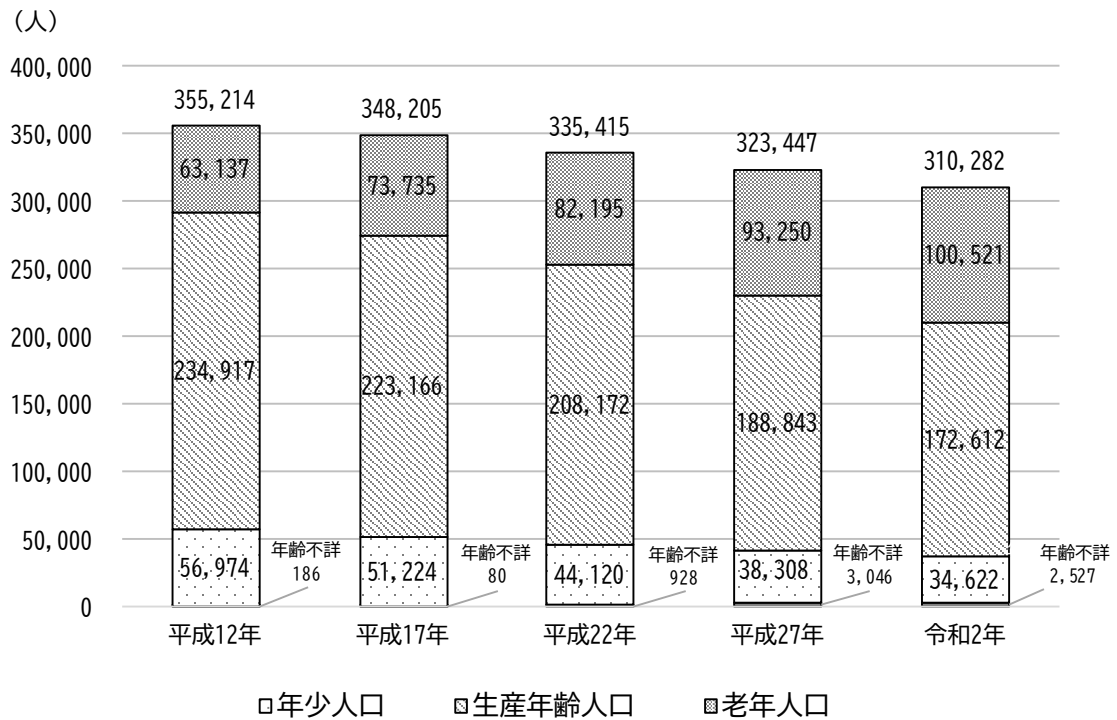
下段：対前期増加率

資料：国勢調査（総務省）

(3) 年齢別（3区分）人口

- ・ 老年人口が増加傾向で推移している一方で、年少人口・生産年齢人口が減少傾向で推移している。

図表 1-8 年齢別（3区分）人口の推移

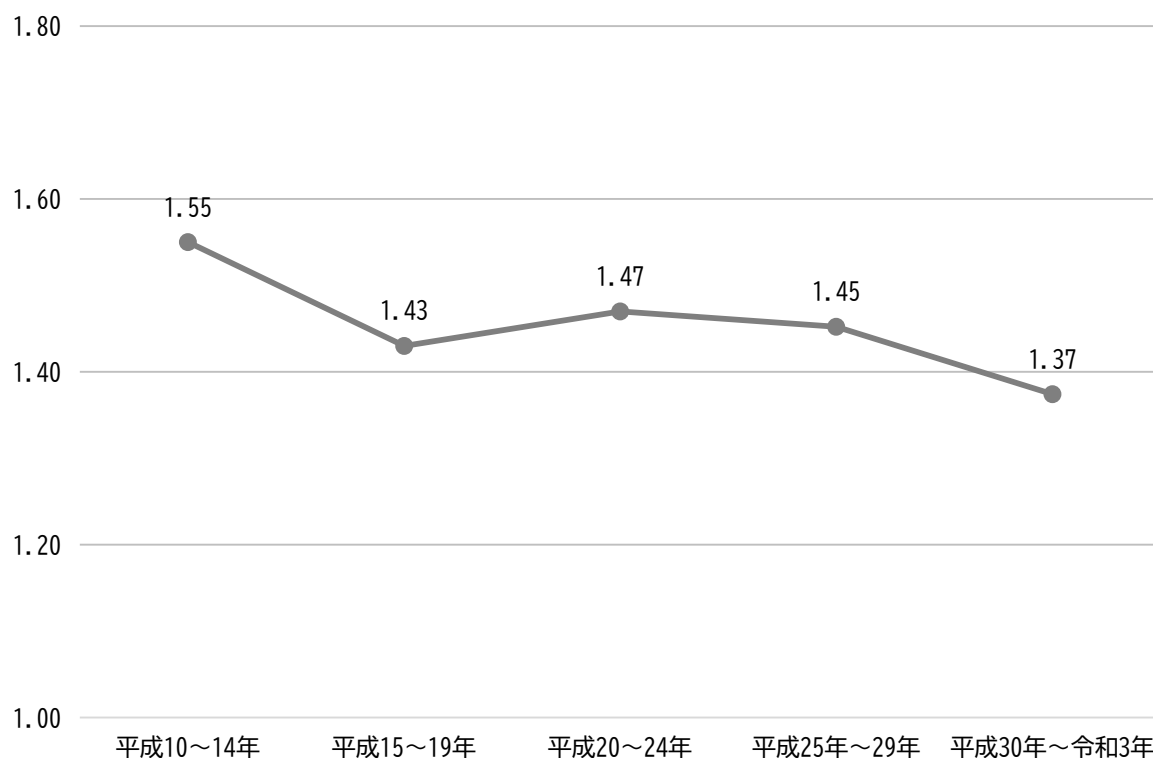


資料：国勢調査（総務省）

(4) 合計特殊出生率

- ・平成10～14(1998～2002)年から平成30～令和3(2018～2021)年にかけて0.18ポイント減少している。

図表 1-9 合計特殊出生率の推移



資料：人口動態保健所・市町村別統計（厚労省）
各市町村住民基本台帳

図表 1-10 構成市町村別 合計特殊出生率の推移

年	平成10～14年	平成15～19年	平成20～24年	平成25年～29年	平成30年～令和3年
市町村					
八戸市	1.54	1.43	1.47	1.54	1.38
三戸町	1.57	1.49	1.48	1.38	1.23
五戸町	1.48	1.31	1.32	1.38	1.19
田子町	1.63	1.60	1.48	1.48	1.26
南部町	1.55	1.31	1.47	1.42	1.16
階上町	1.50	1.36	1.34	1.33	1.22
新郷村	1.64	1.48	1.39	1.48	0.90
おいらせ町	1.63	1.53	1.61	1.64	1.67
圏域	1.55	1.43	1.47	1.45	1.37

資料：人口動態保健所・市町村別統計（厚労省）
青森県人口動態統計（青森県）
各市町村住民基本台帳

(5) 人口動態（自然動態・社会動態）

- ・人口動態はマイナスで推移しているものの、平成 30(2018)年から令和 2 (2020)年は増加傾向に転じている。

図表 1-11 人口動態（自然動態+社会動態）の推移

(人)

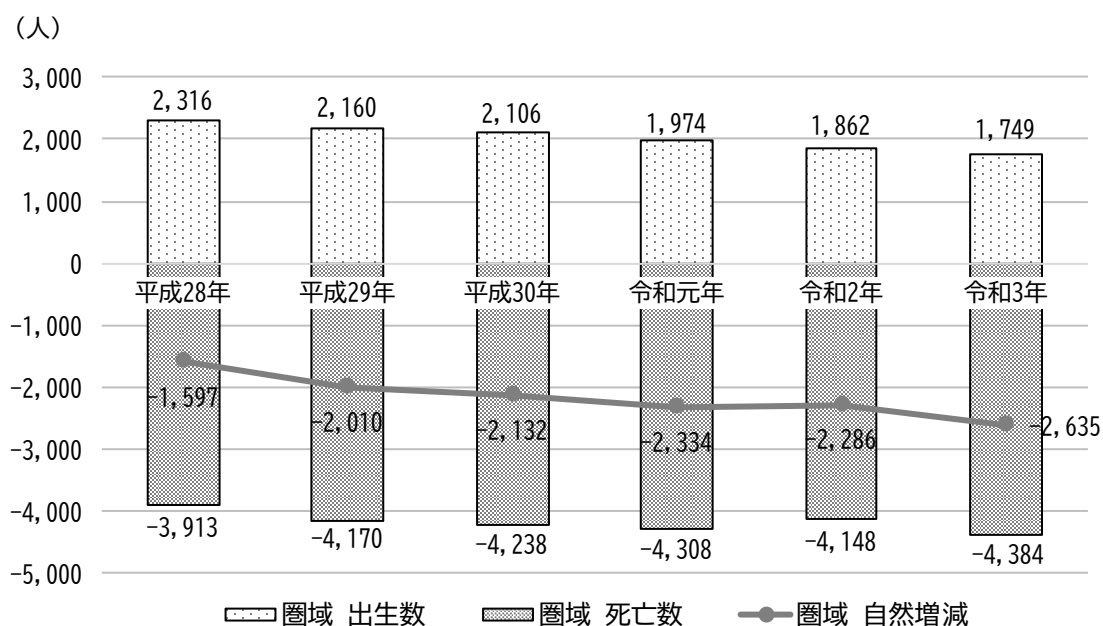
年 市町村	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
八戸市	-1,730	-1,749 (△ 19)	-2,315 (△ 566)	-2,125 (190)	-2,110 (15)	-2,265 (△ 155)
三戸町	-251	-259 (△ 8)	-263 (△ 4)	-223 (40)	-185 (38)	-249 (△ 64)
五戸町	-261	-347 (△ 86)	-333 (14)	-292 (41)	-318 (△ 26)	-311 (7)
田子町	-129	-178 (△ 49)	-145 (33)	-143 (2)	-121 (22)	-149 (△ 28)
南部町	-356	-362 (△ 6)	-334 (28)	-407 (△ 73)	-280 (127)	-307 (△ 27)
階上町	-129	-144 (△ 15)	-127 (17)	-202 (△ 75)	-159 (43)	-201 (△ 42)
新郷村	-14	-71 (△ 57)	-80 (△ 9)	-64 (16)	-78 (△ 14)	-46 (32)
おいらせ町	196	-82 (△ 278)	-73 (9)	48 (121)	54 (6)	62 (8)
圏域	-2,674	-3,192 (△ 518)	-3,670 (△ 478)	-3,408 (262)	-3,197 (211)	-3,466 (△ 269)

下段：対前期増減数
資料：人口移動統計調査（青森県）

① 自然動態（出生及び死亡）

- ・出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向で推移している。

図表 1-12 自然動態（出生数及び死亡数）の推移



資料：人口移動統計調査（青森県）

図表 1-13 自然動態の推移

（人）

年 市町村	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
八戸市	-847	-1,071 (△ 224)	-1,150 (△ 79)	-1,370 (△ 220)	-1,375 (△ 5)	-1,666 (△ 291)
三戸町	-161	-158 (3)	-173 (△ 15)	-145 (28)	-122 (23)	-142 (△ 20)
五戸町	-179	-212 (△ 33)	-198 (14)	-219 (△ 21)	-201 (18)	-210 (△ 9)
田子町	-75	-121 (△ 46)	-95 (26)	-92 (3)	-78 (14)	-99 (△ 21)
南部町	-218	-237 (△ 19)	-258 (△ 21)	-297 (△ 39)	-241 (56)	-251 (△ 10)
階上町	-82	-98 (△ 16)	-103 (△ 5)	-102 (1)	-131 (△ 29)	-125 (6)
新郷村	-23	-34 (△ 11)	-63 (△ 29)	-31 (32)	-58 (△ 27)	-30 (28)
おいらせ町	-12	-79 (△ 67)	-92 (△ 13)	-78 (14)	-80 (△ 2)	-112 (△ 32)
圏域	-1,597	-2,010 (△ 413)	-2,132 (△ 122)	-2,334 (△ 202)	-2,286 (48)	-2,635 (△ 349)

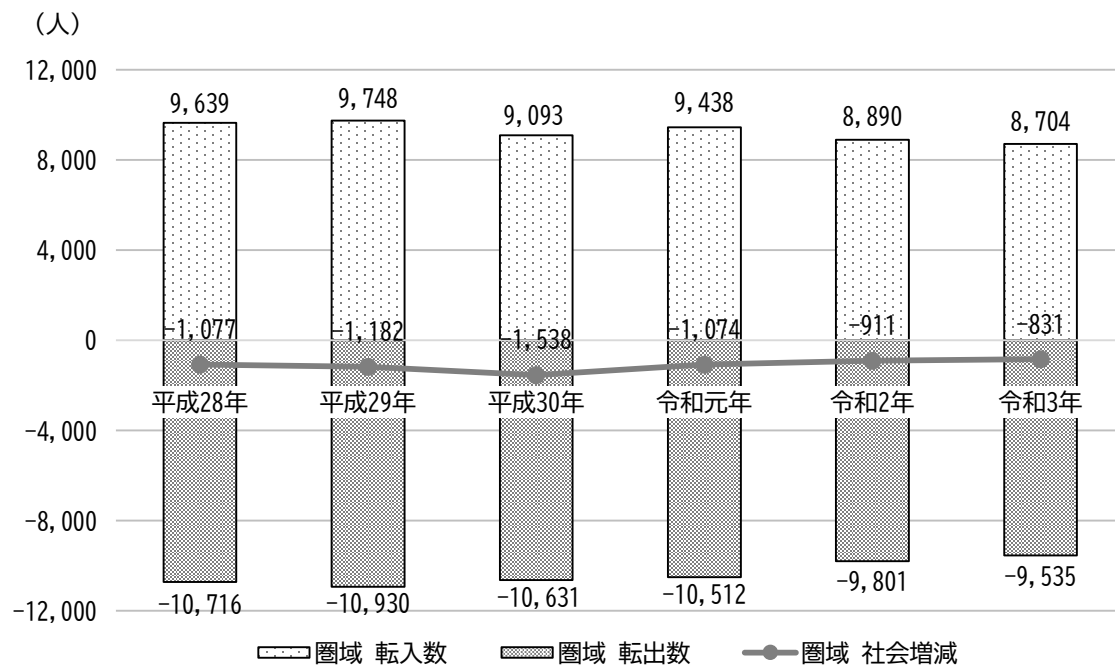
下段：対前期増減数

資料：人口移動統計調査（青森県）

② 社会動態（転入及び転出）

- ・社会動態はマイナスで推移しているものの、令和元(2019)年より増加傾向に転じている。
- ・転入数及び転出数ともに減少傾向にある。

図表 1-14 社会動態（転入数及び転出数）の推移



資料：人口移動統計調査（青森県）

図表 1-15 社会動態の推移

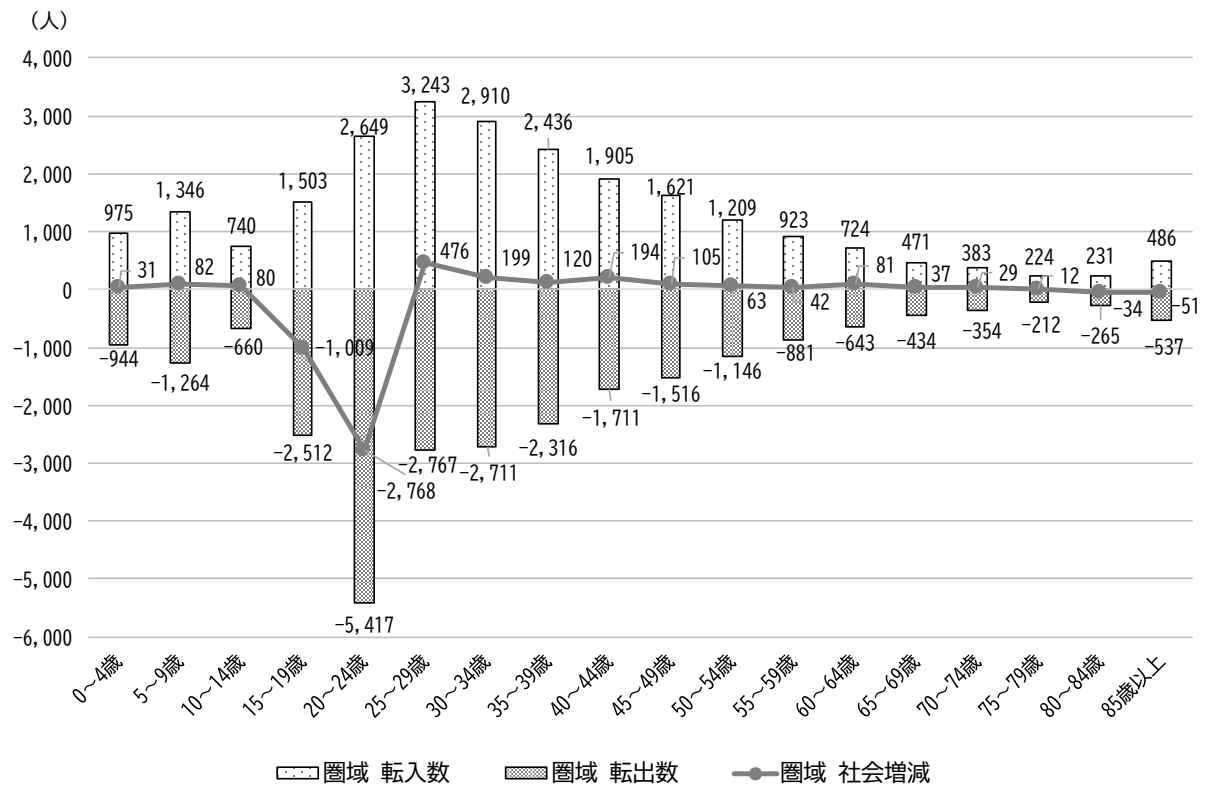
		（人）					
年	市町村	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	八戸市	-883	-678 (205)	-1,165 (△ 487)	-755 (410)	-735 (20)	-599 (136)
	三戸町	-90	-101 (△ 11)	-90 (11)	-78 (12)	-63 (15)	-107 (△ 44)
	五戸町	-82	-135 (△ 53)	-135 (0)	-73 (62)	-117 (△ 44)	-101 (16)
	田子町	-54	-57 (△ 3)	-50 (7)	-51 (△ 1)	-43 (8)	-50 (△ 7)
	南部町	-138	-125 (13)	-76 (49)	-110 (△ 34)	-39 (71)	-56 (△ 17)
	階上町	-47	-46 (1)	-24 (22)	-100 (△ 76)	-28 (72)	-76 (△ 48)
	新郷村	9	-37 (△ 46)	-17 (20)	-33 (△ 16)	-20 (13)	-16 (4)
	おいらせ町	208	-3 (△ 211)	19 (22)	126 (107)	134 (8)	174 (40)
	圏域	-1,077	-1,182 (△ 105)	-1,538 (△ 356)	-1,074 (464)	-911 (163)	-831 (80)

下段：対前期増減数
資料：人口移動統計調査（青森県）

(6) 人口移動

- ・ 25 歳から 34 歳までにおいては他の世代に比べて大きく転入超過となっている一方で、20～24 歳の人口が大幅に転出超過となっている。

図表 1-16 年齢階級別 純移動数（転入－転出）



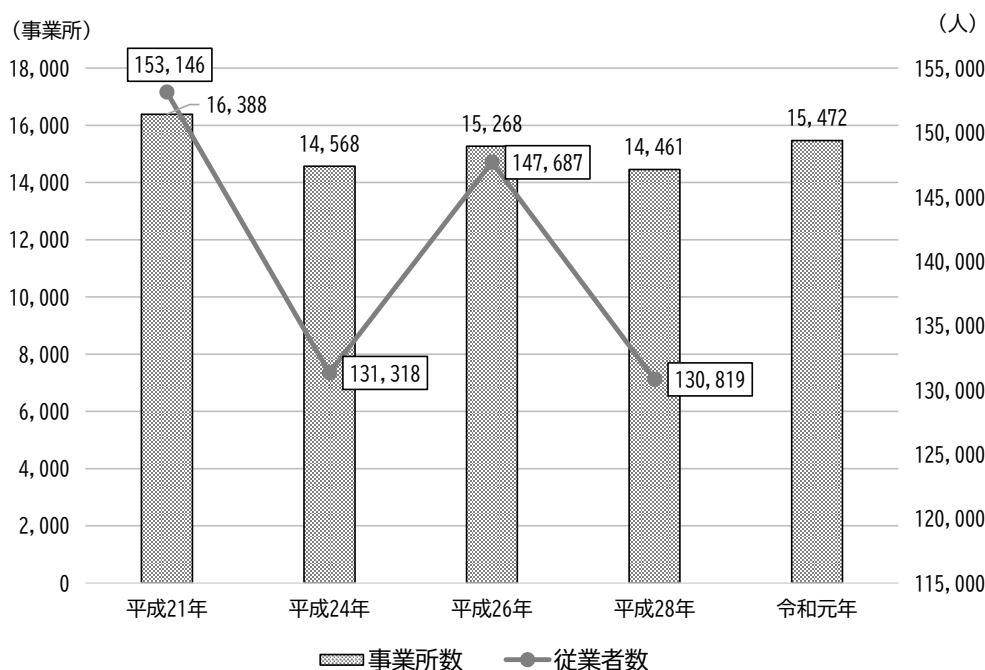
資料：令和2年 国勢調査（総務省）

5 産業の動向

(1) 事業所数・従業者数

- ・事業所数は、平成 21(2009)年から令和元(2019)年にかけて増減を繰り返しながら推移しており、平成 28(2016)年から令和元(2019)年にかけては、全ての市町村で増加している。
- ・従業者数は、平成 24(2012)年から平成 26(2014)年にかけて増加が見られたものの、平成 28(2016)年には全ての市町村で減少に転じている。

図表 1-17 事業所数・従業者数の推移



※令和元年の従業者数は、経済センサスの集計項目の変更により不明
資料：経済センサス（総務省）

図表 1-18 構成市町村別 事業所数・従業者数の推移

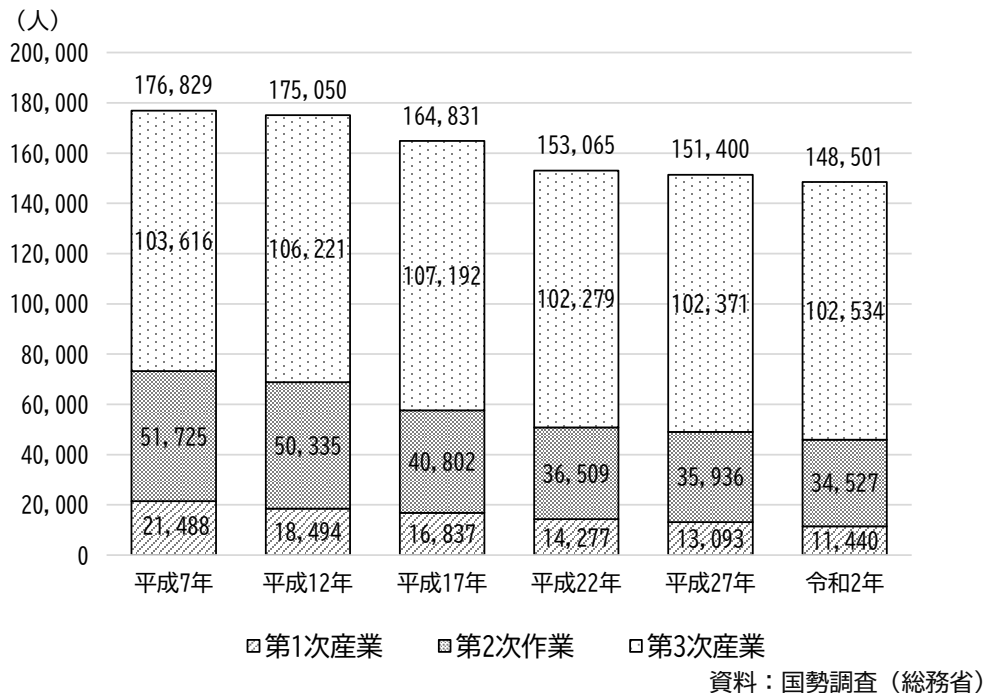
		(事業所, 人)				
市町村	年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和元年
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
八戸市	事業所数	12,402	11,290	11,715	11,225	11,958
	従業者数	121,217	104,520	117,845	104,728	-
三戸町	事業所数	534	417	451	403	441
	従業者数	4,280	3,259	3,730	3,164	-
五戸町	事業所数	744	608	646	604	622
	従業者数	6,325	5,199	5,800	5,186	-
田子町	事業所数	314	266	287	254	261
	従業者数	2,373	1,967	2,141	1,821	-
南部町	事業所数	813	624	702	613	663
	従業者数	5,165	4,254	4,946	4,044	-
階上町	事業所数	462	386	414	388	459
	従業者数	3,822	3,261	3,609	3,101	-
新郷村	事業所数	142	103	120	99	101
	従業者数	779	655	858	604	-
おいらせ町	事業所数	977	874	933	875	967
	従業者数	9,185	8,203	8,758	8,171	-
圏域	事業所数	16,388	14,568	15,268	14,461	15,472
	従業者数	153,146	131,318	147,687	130,819	-

※令和元年の従業者数は、経済センサスの集計項目の変更により不明
資料：経済センサス（総務省）

(2) 産業3区分別就業者数・就業割合

- ・就業者数は、産業3区分全体で減少傾向にあり、特に第1次産業及び第2次産業の就業者数は、平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて全ての市町村で減少している。
- ・第3次産業の就業者数は、一部の市町村で増加傾向にあり、特においらせ町の就業者数が平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて大きく増加している。
- ・就業割合は、平成7(1995)年から平成27(2015)年にかけて、第1次産業及び第2次産業が減少している一方、第3次産業は増加している。

図表 1-19 産業3区分別 就業者数の推移



図表 1-20 構成市町村別 第1次産業就業者数及び就業割合の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減幅 (H7年-R2年)
市町村							
八戸市	6,759 (5.5%)	5,473 (4.5%)	4,723 (4.2%)	3,926 (3.6%)	3,625 (3.4%)	3,182 (3.0%)	-3,577 (-2.5%)
三戸町	2,376 (32.7%)	2,163 (30.8%)	1,984 (32.3%)	1,709 (31.7%)	1,582 (30.9%)	1,353 (29.7%)	-1,023 (-3.0%)
五戸町	3,066 (26.3%)	2,742 (24.1%)	2,546 (24.4%)	2,117 (22.7%)	2,069 (22.9%)	1,789 (21.0%)	-1,277 (-5.3%)
田子町	1,765 (40.5%)	1,629 (39.3%)	1,494 (39.5%)	1,254 (38.4%)	1,098 (36.6%)	959 (35.1%)	-806 (-5.4%)
南部町	3,783 (31.1%)	3,226 (27.7%)	3,003 (27.5%)	2,605 (26.7%)	2,355 (25.1%)	2,014 (22.9%)	-1,769 (-8.2%)
階上町	1,000 (16.8%)	827 (12.3%)	793 (11.6%)	647 (9.8%)	563 (8.7%)	534 (8.3%)	-466 (-8.5%)
新郷村	967 (47.4%)	971 (48.6%)	893 (48.4%)	811 (49.8%)	682 (48.5%)	594 (46.8%)	-373 (-0.6%)
おいらせ町	1,772 (16.2%)	1,463 (12.4%)	1,401 (11.6%)	1,208 (10.2%)	1,119 (9.3%)	1,015 (8.2%)	-757 (-8.0%)
圏域	21,488 (12.2%)	18,494 (10.5%)	16,837 (10.2%)	14,277 (9.1%)	13,093 (8.5%)	11,440 (7.6%)	-10,048 (-4.6%)

下段：総就業者に占める第1次産業就業者の割合
資料：国勢調査（総務省）

図表 1-21 構成市町村別 第2次産業就業者数及び就業割合の推移

(人)

年 市町村	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減幅 (H7年-R2年)
八戸市	34,786 (28.4%)	33,233 (27.5%)	26,991 (23.8%)	24,456 (22.6%)	24,286 (22.5%)	23,408 (22.0%)	-11,378 (-6.4%)
三戸町	1,795 (24.7%)	1,769 (25.2%)	1,315 (21.3%)	1,047 (19.4%)	968 (18.9%)	872 (19.1%)	-923 (-5.6%)
五戸町	3,833 (32.8%)	3,693 (32.5%)	2,950 (28.2%)	2,506 (26.9%)	2,344 (25.9%)	2,222 (26.1%)	-1,611 (-6.7%)
田子町	1,095 (25.1%)	1,052 (25.4%)	870 (23.0%)	711 (21.8%)	708 (23.6%)	616 (22.5%)	-479 (-2.6%)
南部町	3,469 (28.5%)	3,294 (28.3%)	2,559 (23.5%)	2,099 (21.5%)	2,039 (21.8%)	1,932 (21.9%)	-1,537 (-6.6%)
階上町	2,145 (36.1%)	2,529 (37.6%)	2,132 (31.2%)	1,974 (29.9%)	1,961 (30.3%)	1,857 (28.8%)	-288 (-7.3%)
新郷村	433 (21.2%)	390 (19.5%)	319 (17.3%)	281 (17.2%)	243 (17.3%)	217 (17.1%)	-216 (-4.1%)
おいらせ町	4,169 (38.1%)	4,375 (37.0%)	3,666 (30.3%)	3,435 (29.0%)	3,387 (28.1%)	3,403 (27.6%)	-766 (-10.5%)
圏域	51,725 (29.2%)	50,335 (28.7%)	40,802 (24.7%)	36,509 (23.4%)	35,936 (23.3%)	34,527 (22.9%)	-17,198 (-6.3%)

下段：総就業者に占める第2次産業就業者の割合
資料：国勢調査（総務省）

図表 1-22 構成市町村別 第3次産業就業者数及び就業割合の推移

(人)

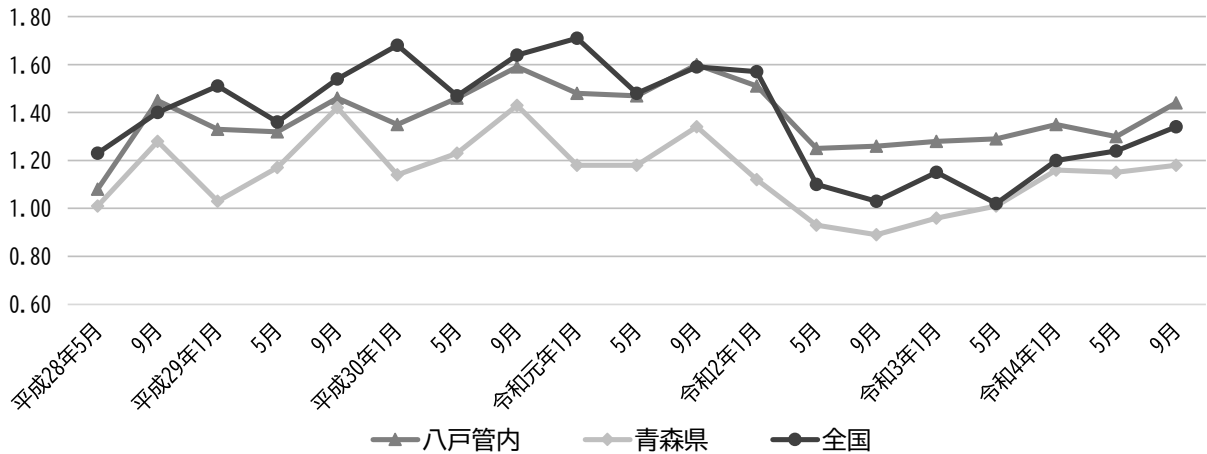
年 市町村	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	増減幅 (H7年-R2年)
八戸市	80,903 (66.1%)	81,619 (68.0%)	81,178 (71.6%)	77,412 (71.4%)	77,656 (71.9%)	77,724 (73.2%)	-3,179 (7.1%)
三戸町	3,104 (42.7%)	3,082 (43.9%)	2,862 (46.4%)	2,620 (48.6%)	2,517 (49.2%)	2,324 (50.9%)	-780 (8.2%)
五戸町	4,771 (40.9%)	4,940 (43.4%)	4,953 (47.4%)	4,672 (50.2%)	4,594 (50.8%)	4,500 (52.8%)	-271 (11.9%)
田子町	1,494 (34.3%)	1,460 (35.3%)	1,414 (37.4%)	1,298 (39.8%)	1,186 (39.6%)	1,157 (42.3%)	-337 (8.0%)
南部町	4,914 (40.4%)	5,127 (44.0%)	5,326 (48.8%)	4,979 (51.0%)	4,915 (52.5%)	4,840 (54.9%)	-74 (14.5%)
階上町	2,803 (47.1%)	3,356 (50.1%)	3,845 (56.3%)	3,755 (56.8%)	3,818 (58.9%)	3,804 (59.1%)	1,001 (12.0%)
新郷村	640 (31.4%)	636 (31.9%)	630 (34.1%)	535 (32.8%)	481 (34.2%)	451 (35.5%)	-189 (4.1%)
おいらせ町	4,987 (45.6%)	6,001 (50.7%)	6,984 (57.8%)	7,008 (59.2%)	7,204 (59.7%)	7,734 (62.8%)	2,747 (17.2%)
圏域	103,616 (58.6%)	106,221 (60.8%)	107,192 (64.8%)	102,279 (65.5%)	102,371 (66.3%)	102,534 (68.0%)	-1,082 (9.4%)

下段：総就業者に占める第3次産業就業者の割合
資料：国勢調査（総務省）

(3) 有効求人倍率

- ・八戸公共職業安定所管内、青森県、全国それぞれにおいて、令和2(2020)年5月を契機に急落しているが、八戸公共職業安定所管内は国及び青森県を上回る水準で推移している。

図表 1-23 有効求人倍率の推移



資料：最近の雇用情勢について（青森労働局）
八戸公共職業安定所資料

(4) 工業団地数

- ・八戸市に8か所、五戸町に3か所、三戸町・南部町・階上町にそれぞれ2か所、おいらせ町に1か所となっており、面積及び企業数は八戸市が圏域全体の約8割を占めている。
- ・現在、令和6(2024)年度の方譲開始に向けて新たに「八戸北インター第2工業団地」を整備している。

図表 1-24 構成市町村別 工業団地数・企業数

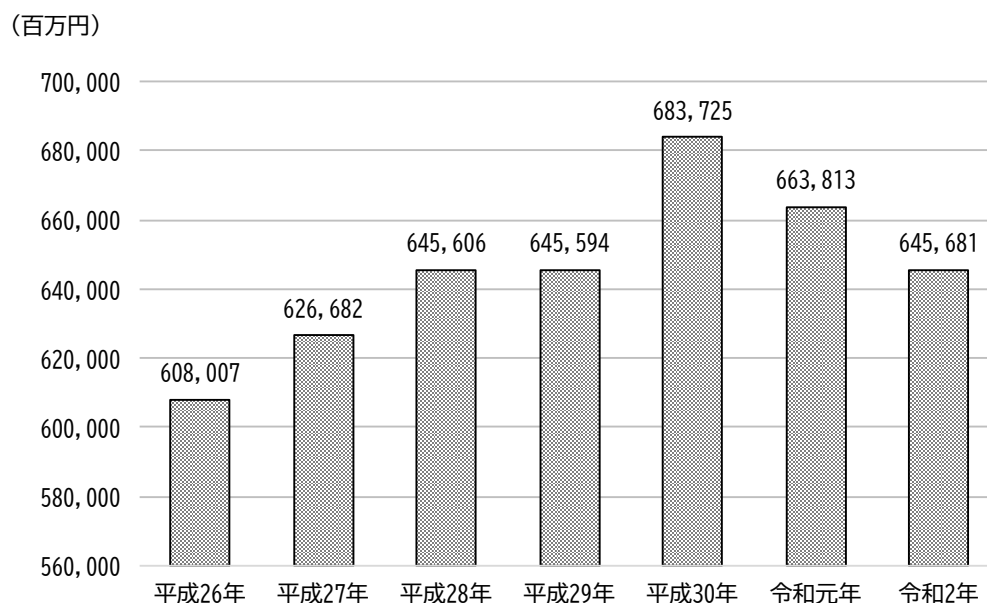
市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
工業団地数	8	2	3	0	2	2	0	1	18
面積 (ha)	386	9	43.7	0	18.1	7.2	0	23.2	487.2
企業数	229	2	23	0	6	2	0	23	285

令和4年4月1日現在
資料：工業団地一覧表（青森県）

(5) 製造品出荷額等

- ・平成26(2014)年から平成28(2016)年にかけて緩やかな増加傾向で推移しており、平成30(2018)年には八戸市において鉄鋼業の出荷額が増加したことなどにより、大きく増加している。

図表 1-25 製造品出荷額等の推移



資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

図表 1-26 構成市町村別 製造品出荷額等の推移

(百万円)

年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
市町村								
八戸市	501,558	512,701 (2.2%)	538,099 (5.0%)	534,135 (-0.7%)	569,086 (6.5%)	547,475 (-3.8%)	523,208 (-4.4%)	81.0%
三戸町	13,589	13,035 (-4.1%)	14,328 (9.9%)	14,612 (2.0%)	14,079 (-3.6%)	14,128 (0.3%)	14,859 (5.2%)	2.3%
五戸町	18,967	23,554 (24.2%)	23,215 (-1.4%)	23,782 (2.4%)	21,943 (-7.7%)	22,595 (3.0%)	23,451 (3.8%)	3.6%
田子町	9,922	11,691 (17.8%)	11,644 (-0.4%)	12,229 (5.0%)	11,258 (-7.9%)	10,928 (-2.9%)	13,042 (19.3%)	2.0%
南部町	16,654	15,359 (-7.8%)	12,671 (-17.5%)	13,404 (5.8%)	13,825 (3.1%)	12,371 (-10.5%)	12,652 (2.3%)	2.0%
階上町	11,217	12,244 (9.2%)	7,997 (-34.7%)	8,617 (7.8%)	7,861 (-8.8%)	8,853 (12.6%)	18,866 (113.1%)	2.9%
新郷村	X	X -	X -	X -	X -	X -	X -	-
おいらせ町	36,100	38,098 (5.5%)	37,652 (-1.2%)	38,815 (3.1%)	45,673 (17.7%)	47,463 (3.9%)	39,604 (-16.6%)	6.1%
圏域	608,007	626,682 (3.1%)	645,606 (3.0%)	645,594 (-0.0%)	683,725 (5.9%)	663,813 (-2.9%)	645,681 (-2.7%)	-

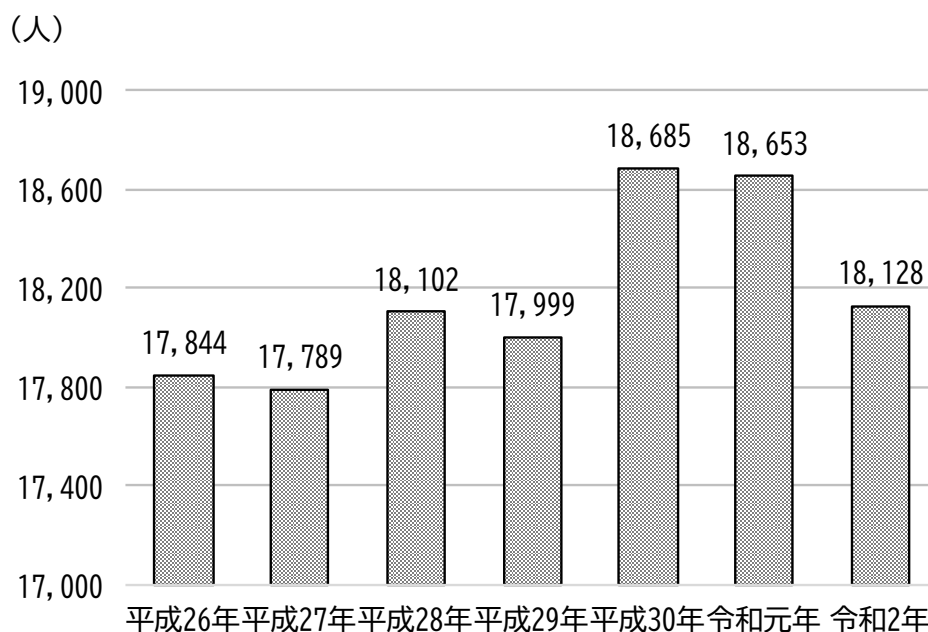
※新郷村については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

下段：対前期増加率
資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

(6) 製造業従業者

- ・平成26(2014)年から平成29(2017)年にかけて増減を繰り返しながら推移しており、平成30(2018)年には大きく増加している。

図表 1-27 製造業従業者数の推移



資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

図表 1-28 構成市町村別 製造業従業者数の推移

(人)

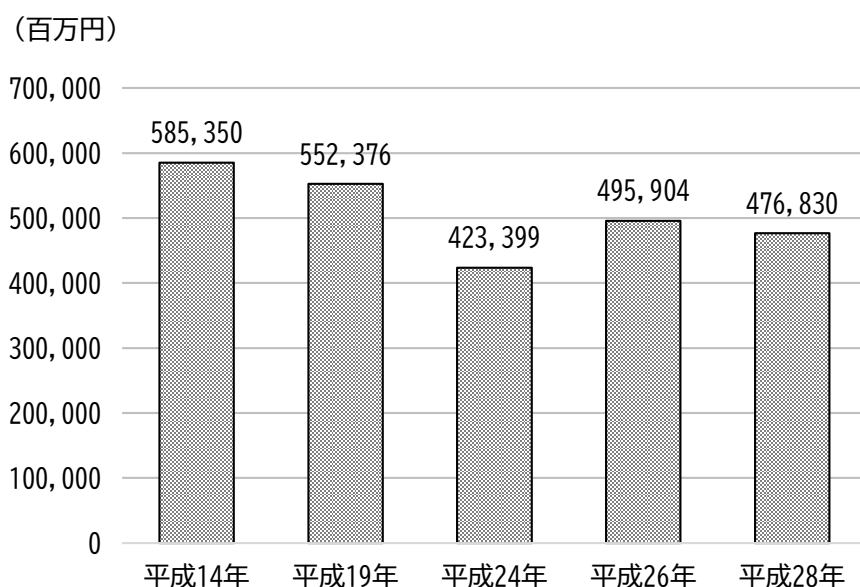
市町村	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
八戸市	13,172	13,027 (-1.1%)	13,546 (4.0%)	13,505 (-0.3%)	14,159 (4.8%)	14,178 (0.1%)	13,317 (-6.1%)	73.5%
三戸町	454	460 (1.3%)	443 (-3.7%)	461 (4.1%)	455 (-1.3%)	433 (-4.8%)	458 (5.8%)	2.5%
五戸町	1,193	1,324 (11.0%)	1,232 (-6.9%)	1,167 (-5.3%)	1,198 (2.7%)	1,117 (-6.8%)	1,270 (13.7%)	7.0%
田子町	408	423 (3.7%)	379 (-10.4%)	390 (2.9%)	388 (-0.5%)	385 (-0.8%)	385 (0.0%)	2.1%
南部町	629	714 (13.5%)	646 (-9.5%)	646 (0.0%)	585 (-9.4%)	586 (0.2%)	527 (-10.1%)	2.9%
階上町	615	604 (-1.8%)	595 (-1.5%)	599 (0.7%)	641 (7.0%)	677 (5.6%)	1,003 (48.2%)	5.5%
新郷村	11	27 (145.5%)	12 (-55.6%)	15 (25.0%)	15 (0.0%)	19 (26.7%)	7 (-63.2%)	0.0%
おいらせ町	1,362	1,210 (-11.2%)	1,249 (3.2%)	1,216 (-2.6%)	1,244 (2.3%)	1,258 (1.1%)	1,161 (-7.7%)	6.4%
圏域	17,844	17,789 (-0.3%)	18,102 (1.8%)	17,999 (-0.6%)	18,685 (3.8%)	18,653 (-0.2%)	18,128 (-2.8%)	-

下段：対前期増加率
資料：工業統計調査（経済産業省）、経済センサス（総務省）

(7) 卸売販売額

- ・平成 14(2002)年から平成 24(2012)年まで減少が続き、平成 26(2014)年には増加に転じたが、平成 28(2016)年は減少している。

図表 1-29 卸売販売額の推移



資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

図表 1-30 構成市町村別 卸売販売額の推移

(百万円)

年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年	圏域内構成比 (平成28年)
市町村						
八戸市	556,763	524,095 (-5.9%)	403,847 (-22.9%)	475,276 (17.7%)	451,875 (-4.9%)	94.8%
三戸町	9,097	6,955 (-23.5%)	3,073 (-55.8%)	3,108 (1.1%)	3,529 (13.5%)	0.7%
五戸町	1,877	2,318 (23.5%)	1,971 (-15.0%)	2,409 (22.2%)	2,465 (2.3%)	0.5%
田子町	739	1,046 (41.5%)	X -	X -	234 -	0.0%
南部町	4,321	5,551 (28.5%)	5,111 (-7.9%)	4,464 (-12.7%)	5,741 (28.6%)	1.2%
階上町	4,178	5,394 (29.1%)	2,311 (-57.2%)	2,644 (14.4%)	795 (-69.9%)	0.2%
新郷村	179	192 (7.3%)	- -	- -	- -	-
おいらせ町	8,196	6,825 (-16.7%)	7,086 (3.8%)	8,003 (12.9%)	12,191 (52.3%)	2.6%
圏域	585,350	552,376 (-5.6%)	423,399 (-23.3%)	495,904 (17.1%)	476,830 (-3.8%)	-

※田子町（平成 24～26 年）については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

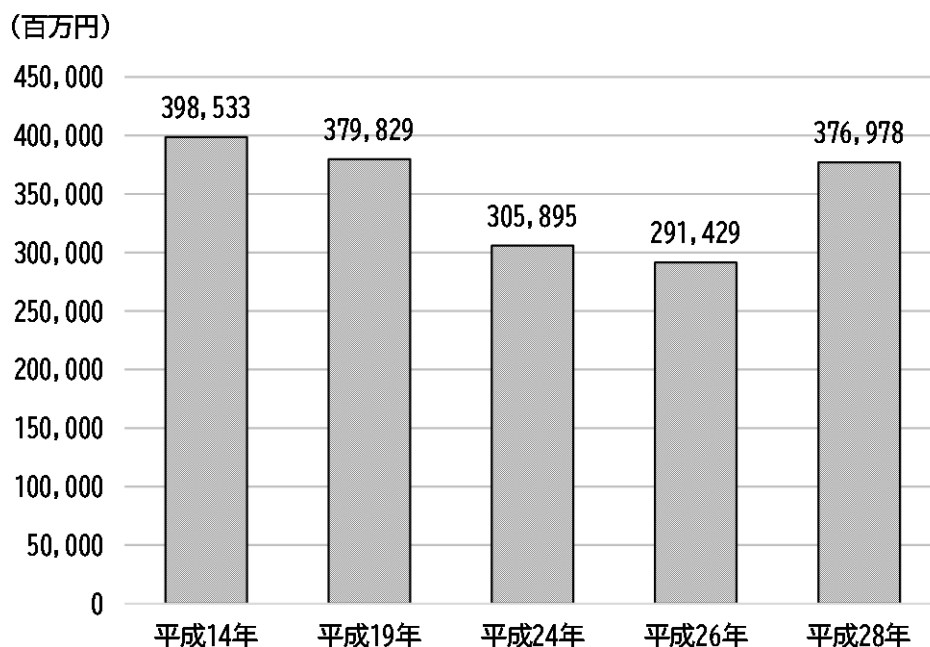
下段：対前期増加率

資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

(8) 小売販売額

- ・平成 14(2002)年以降減少傾向が続いていたが、飲食料品小売業における販売額の増加を背景として平成 28(2016)年に増加に転じている。

図表 1-31 小売販売額の推移



資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

図表 1-32 構成市町村別 小売販売額の推移

		(百万円)				
年	市町村	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年
	八戸市	316,265	301,325 (-4.7%)	246,633 (-18.2%)	230,709 (-6.5%)	299,093 (29.6%)
	三戸町	13,032	11,650 (-10.6%)	9,481 (-18.6%)	9,728 (2.6%)	10,146 (4.3%)
	五戸町	9,853	10,743 (9.0%)	8,573 (-20.2%)	12,178 (42.1%)	14,605 (19.9%)
	田子町	5,710	4,540 (-20.5%)	X	X	3,580
	南部町	14,052	10,245 (-27.1%)	10,072 (-1.7%)	8,883 (-11.8%)	9,322 (4.9%)
	階上町	5,533	7,320 (32.3%)	6,373 (-12.9%)	4,796 (-24.7%)	7,040 (46.8%)
	新郷村	1,125	1,492 (32.6%)	1,257 (-15.8%)	1,315 (4.6%)	1,886 (43.4%)
	おいらせ町	32,963	32,514 (-1.4%)	23,506 (-27.7%)	23,820 (1.3%)	31,306 (31.4%)
	圏域	398,533	379,829 (-4.7%)	305,895 (-19.5%)	291,429 (-4.7%)	376,978 (29.4%)
	圏域内構成比 (平成28年)					79.3%

※田子町（平成 24～26 年）については、事業所の数が少なく、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない。

下段：対前期増加率

資料：商業統計調査（総務省）、経済センサス（総務省）

(9) 大規模小売店舗数

- ・圏域内に 84 店舗が立地しており、そのうち八戸市には全体の約 8 割を占める 64 店舗が立地している。
- ・店舗面積が 10,000 m²以上の大規模小売店舗は、図表 1-34 のとおり。

図表 1-33 構成市町村別 大規模小売店舗数

		(店舗)							
市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
項目	店舗数	64	3	3	0	2	3	0	9
		76.1%	3.6%	3.6%	0.0%	2.4%	3.6%	0.0%	10.7%
									84
									-

※大規模小売店舗：一の建物であって、その建物内の店舗面積が 1,000 平方メートルを超えるもの

下段：構成比率

令和 4 年 9 月 14 日現在

資料：青森県内の大規模小売店舗一覧（青森県）

図表 1-34 店舗面積が 10,000 m²以上の大規模小売店舗一覧

- | | |
|------------------------------------|---|
| ・ピアドゥ（店舗面積：23,222 m ² ） | ・さくら野百貨店（店舗面積：15,227 m ² ） |
| ・ラピア（店舗面積：22,510 m ² ） | ・シンフォニープラザ沼館（店舗面積：12,195 m ² ） |
| ・Cino（店舗面積：14,005 m ² ） | ・イオンモール下田（店舗面積：37,983 m ² ） |

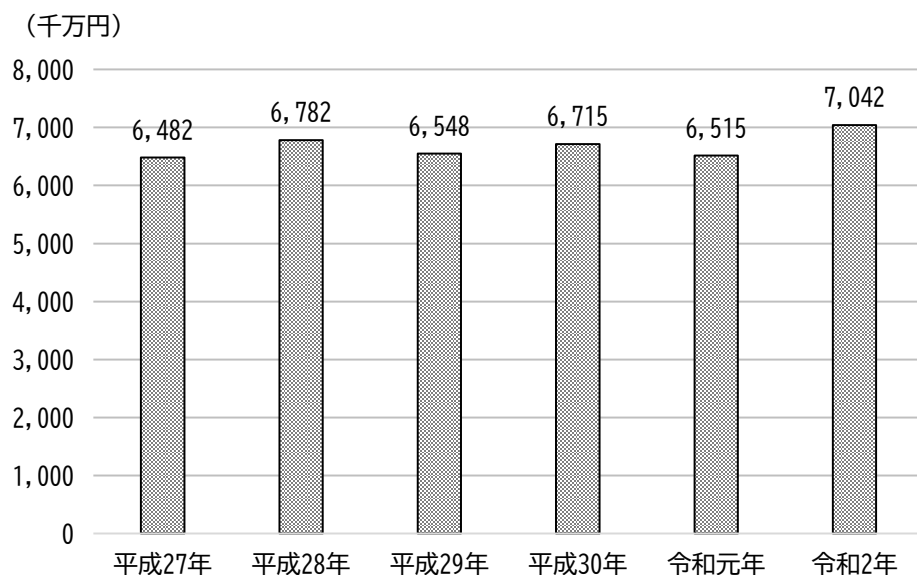
令和 4 年 9 月 14 日現在

資料：青森県内の大規模小売店舗一覧（青森県）

(10) 農業産出額

- ・平成27(2015)年から令和2(2020)年にかけてほぼ横ばいで推移している。
- ・構成市町村別では、八戸市・三戸町・五戸町・階上町については増加傾向で推移している一方で、その他の町村は横ばいで推移している。

図表 1-35 農業産出額



資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

図表 1-36 構成市町村別 農業産出額

(千万円)

年 市町村	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
八戸市	1,444	1,470 (1.8%)	1,490 (1.4%)	1,479 (-0.7%)	1,651 (11.6%)	1,679 (1.7%)	23.8%
三戸町	623	626 (0.5%)	609 (-2.7%)	623 (2.3%)	730 (17.2%)	762 (4.4%)	10.8%
五戸町	919	1,000 (8.8%)	970 (-3.0%)	1,002 (3.3%)	1,211 (20.9%)	1,281 (5.8%)	18.2%
田子町	664	683 (2.9%)	676 (-1.0%)	690 (2.1%)	648 (-6.1%)	677 (4.5%)	9.6%
南部町	1,427	1,483 (3.9%)	1,458 (-1.7%)	1,506 (3.3%)	894 (-40.6%)	1,042 (16.6%)	14.8%
階上町	351	349 (-0.6%)	349 (0.0%)	334 (-4.3%)	536 (60.5%)	540 (0.7%)	7.7%
新郷村	236	260 (10.2%)	244 (-6.2%)	254 (4.1%)	216 (-15.0%)	229 (6.0%)	3.3%
おいらせ町	818	911 (11.4%)	752 (-17.5%)	827 (10.0%)	629 (-23.9%)	832 (32.3%)	11.8%
圏域	6,482	6,782 (4.6%)	6,548 (-3.5%)	6,715 (2.6%)	6,515 (-3.0%)	7,042 (8.1%)	-

下段：対前期増加率

資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

図表 1-37 構成市町村別 農業産出額（耕種・畜産）の推移

（千万円）

市町村	耕種				畜産			
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
八戸市	481	502 (4.4%)	468 (-6.8%)	488 (4.3%)	1,009	977 (-3.2%)	1,183 (21.1%)	1,191 (0.7%)
三戸町	420	432 (2.9%)	523 (21.1%)	549 (5.0%)	189	191 (1.1%)	207 (8.4%)	214 (3.4%)
五戸町	690	702 (1.7%)	602 (-14.2%)	661 (9.8%)	280	300 (7.1%)	609 (103.0%)	620 (1.8%)
田子町	258	261 (1.2%)	222 (-14.9%)	234 (5.4%)	418	429 (2.6%)	426 (-0.7%)	443 (4.0%)
南部町	714	744 (4.2%)	683 (-8.2%)	821 (20.2%)	744	762 (2.4%)	211 (-72.3%)	222 (5.2%)
階上町	46	49 (6.5%)	41 (-16.3%)	43 (4.9%)	303	285 (-5.9%)	495 (73.7%)	497 (0.4%)
新郷村	194	200 (3.1%)	157 (-21.5%)	174 (10.8%)	50	54 (8.0%)	59 (9.3%)	56 (-5.1%)
おいらせ町	544	634 (16.5%)	564 (-11.0%)	767 (36.0%)	208	193 (-7.2%)	65 (-66.3%)	65 (0.0%)
圏域	3,347	3,524 (5.3%)	3,260 (-7.5%)	3,737 (14.6%)	3,201	3,191 (-0.3%)	3,255 (2.0%)	3,308 (1.6%)

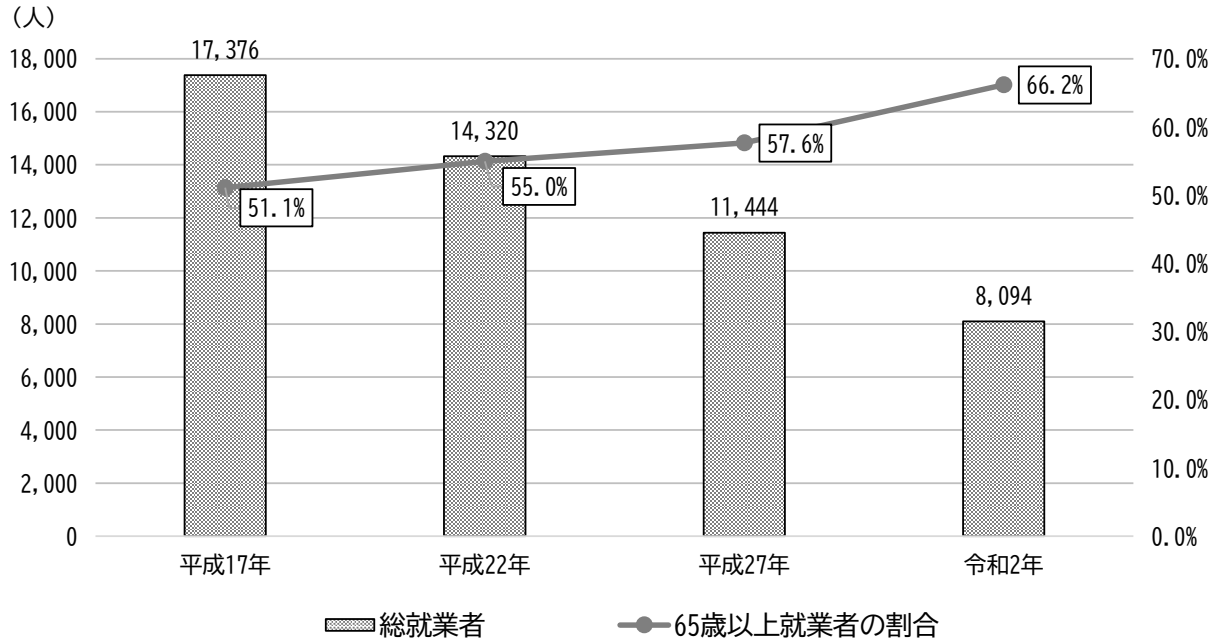
下段：対前期増加率

資料：生産農業所得統計等（農林水産省）

(11) 農業就業者数

- ・平成17(2005)年から令和2(2020)年にかけて、農業就業者数は減少傾向にあり、65歳以上の就業者割合は増加傾向にある。

図表 1-38 農業就業者数の推移



※令和2年より「基幹的農業従事者」の数値を使用
資料：農林業センサス（農林水産省）

図表 1-39 構成市町村別 農業総就業者数と 65 歳以上の農業就業者数の推移

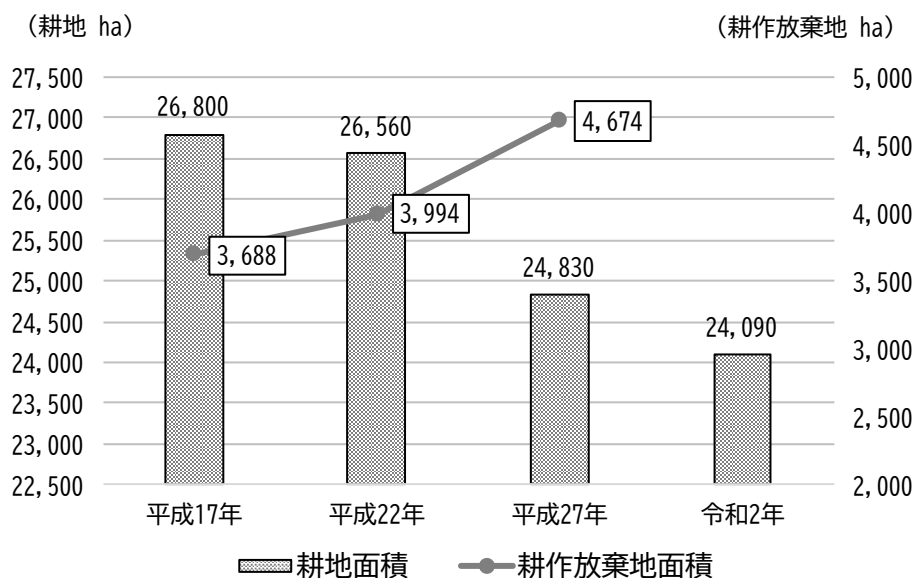
項目/年	総就業者				65歳以上就業者				65歳以上就業者の割合			
	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
八戸市	4,205	3,308	2,557	1,666	2,221	1,925	1,623	1,213	52.8%	58.2%	63.5%	72.8%
三戸町	2,017	1,779	1,436	1,052	879	796	646	591	43.6%	44.7%	45.0%	56.2%
五戸町	3,123	2,562	2,105	1,553	1,680	1,524	1,309	1,095	53.8%	59.5%	62.2%	70.5%
田子町	1,497	1,263	1,020	738	781	651	563	443	52.2%	51.5%	55.2%	60.0%
南部町	3,313	2,804	2,297	1,665	1,627	1,472	1,272	1,119	49.1%	52.5%	55.4%	67.2%
階上町	494	405	319	192	310	271	209	144	62.8%	66.9%	65.5%	75.0%
新郷村	1,102	938	735	559	569	535	426	360	51.6%	57.0%	58.0%	64.4%
おいらせ町	1,625	1,261	975	669	811	698	548	390	49.9%	55.4%	56.2%	58.3%
圏域	17,376	14,320	11,444	8,094	8,878	7,872	6,596	5,355	51.1%	55.0%	57.6%	66.2%

※令和2年より「基幹的農業従事者」の数値を使用
資料：農林業センサス（農林水産省）

(12) 耕地面積・耕作放棄地面積

- ・耕地面積は減少傾向にあり、耕作放棄地面積は増加傾向にある。

図表 1-40 耕地面積・耕作放棄地面積の推移



※「耕作放棄地面積」は令和2年調査より項目が削除されたため、以降データなし
資料：作物統計調査（農林水産省）、農林業センサス（農林水産省）

図表 1-41 構成市町村別 耕地面積・耕作放棄地面積の推移

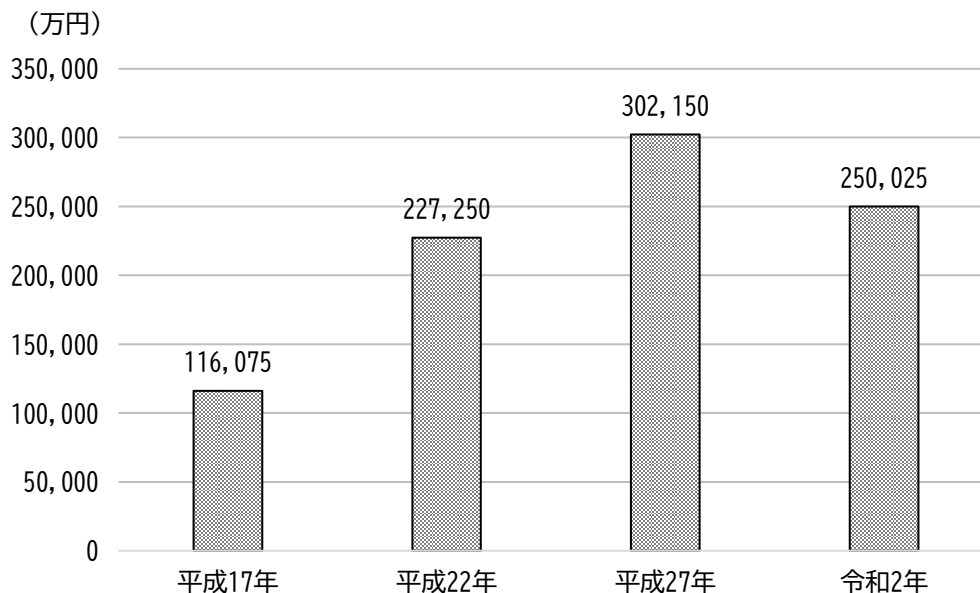
		(ha)			
年		平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
市町村					
八戸市	耕地面積	5,460	5,380	4,900	4,810
	耕作放棄地面積	1,199	1,305	1,465	-
三戸町	耕地面積	2,800	2,790	2,600	2,470
	耕作放棄地面積	176	248	211	-
五戸町	耕地面積	4,630	4,610	4,470	4,390
	耕作放棄地面積	562	637	826	-
田子町	耕地面積	2,870	2,860	2,650	2,620
	耕作放棄地面積	165	183	317	-
南部町	耕地面積	4,130	4,120	3,660	3,600
	耕作放棄地面積	486	567	654	-
階上町	耕地面積	1,380	1,370	1,320	1,200
	耕作放棄地面積	461	413	432	-
新郷村	耕地面積	2,060	2,050	1,900	1,740
	耕作放棄地面積	157	151	224	-
おいらせ町	耕地面積	3,470	3,380	3,330	3,260
	耕作放棄地面積	482	490	545	-
圏域	耕地面積	26,800	26,560	24,830	24,090
	耕作放棄地面積	3,688	3,994	4,674	-

※「耕作放棄地面積」は令和2年調査より項目が削除されたため、以降データなし
資料：作物統計調査（農林水産省）、農林業センサス（農林水産省）

(13) 林業総収入

- ・木材価格の上昇や国産材の需要増加などを背景として、平成 17(2005)年から増加傾向で推移している。

図表 1-42 林業総収入の推移



資料：農林業センサス（農林水産省）

図表 1-43 構成市町村別 林業総収入の推移

					(万円)
年 市町村	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
八戸市	33,025	98,250 (197.5%)	125,450 (27.7%)	98,025 (-21.9%)	39.2%
三戸町	3,800	5,025 (32.2%)	46,875 (832.8%)	28,000 (-40.3%)	11.2%
五戸町	26,050	24,400 (-6.3%)	72,275 (196.2%)	57,825 (-20.0%)	23.1%
田子町	29,200	28,600 (-2.1%)	27,875 (-2.5%)	36,175 (29.8%)	14.5%
南部町	10,450	10,325 (-1.2%)	6,575 (-36.3%)	7,050 (7.2%)	2.8%
階上町	8,775	56,425 (543.0%)	20,700 (-63.3%)	15,425 (-25.5%)	6.2%
新郷村	4,775	4,225 (-11.5%)	2,225 (-47.3%)	7,400 (232.6%)	3.0%
おいらせ町	x	0 -	175 -	125 (-28.6%)	0.0%
圏域	116,075	227,250 (95.8%)	302,150 (33.0%)	250,025 (-17.3%)	-

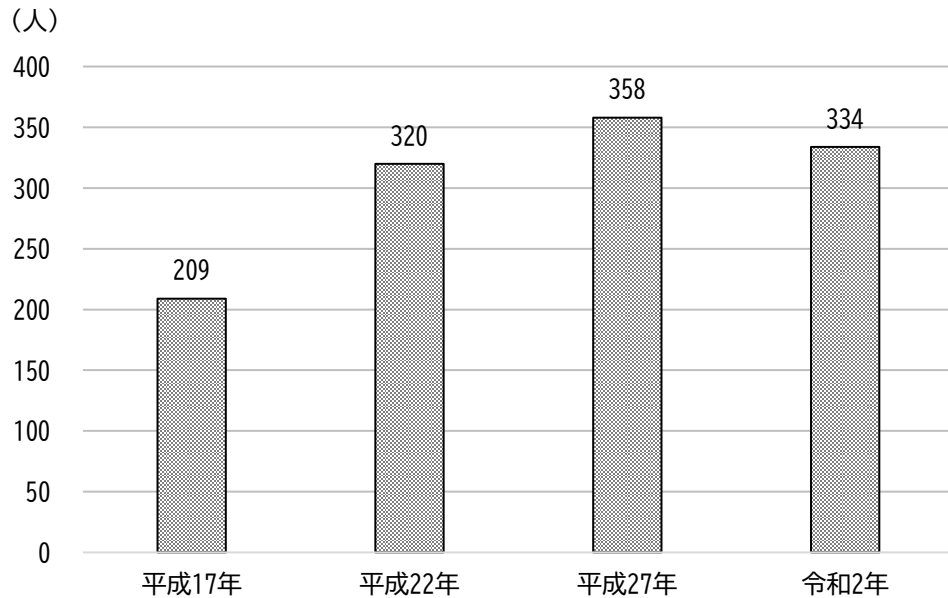
下段：対前期増加率

資料：農林業センサス（農林水産省）

(14) 林業就業者数

- ・平成 17(2005)年から令和 2 (2020)年にかけて約 6 割増加している。

図表 1-44 林業就業者数の推移



資料：国勢調査（総務省）

図表 1-45 構成市町村別 林業就業者数の推移

					(人)
市町村	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	圏域内構成比 (令和2年)
八戸市	22	53 (140.9%)	91 (71.7%)	114 (25.3%)	34.1%
三戸町	22	36 (63.6%)	42 (16.7%)	26 (-38.1%)	7.8%
五戸町	30	32 (6.7%)	38 (18.8%)	27 (-28.9%)	8.0%
田子町	77	94 (22.1%)	88 (-6.4%)	71 (-19.3%)	21.3%
南部町	30	34 (13.3%)	29 (-14.7%)	32 (10.3%)	9.6%
階上町	7	34 (385.7%)	25 (-26.5%)	30 (20.0%)	9.0%
新郷村	20	34 (70.0%)	30 (-11.8%)	24 (-20.0%)	7.2%
おいらせ町	1	3 (200.0%)	15 (400.0%)	10 (-33.3%)	3.0%
圏域	209	320 (53.1%)	358 (11.9%)	334 (-6.7%)	-

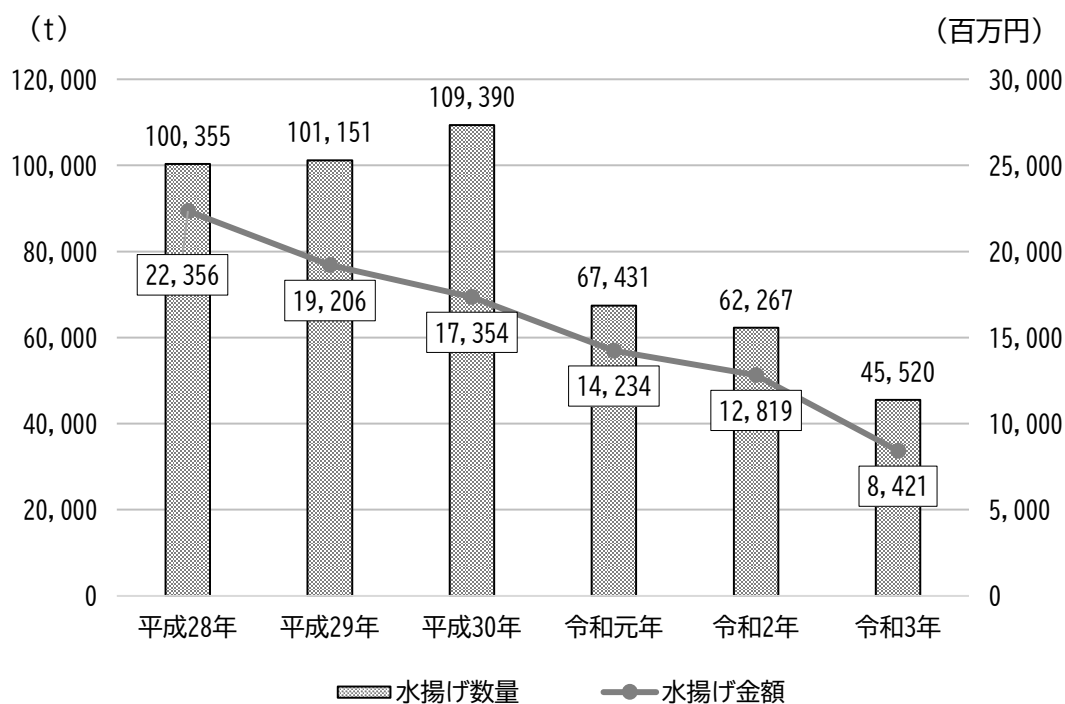
下段：対前期増加率

資料：国勢調査（総務省）

(15) 水揚げ高

- ・ 水揚げ数量は平成 28(2016)年から令和 3 (2021)年にかけて、約 5 割減少している。
- ・ 水揚げ金額は平成 28(2016)年から令和 3 (2021)年にかけて、約 6 割減少している。

図表 1-46 水揚げ高の推移



資料：海面漁業に関する調査（青森県）

図表 1-47 構成市町村別 水揚げ高の推移

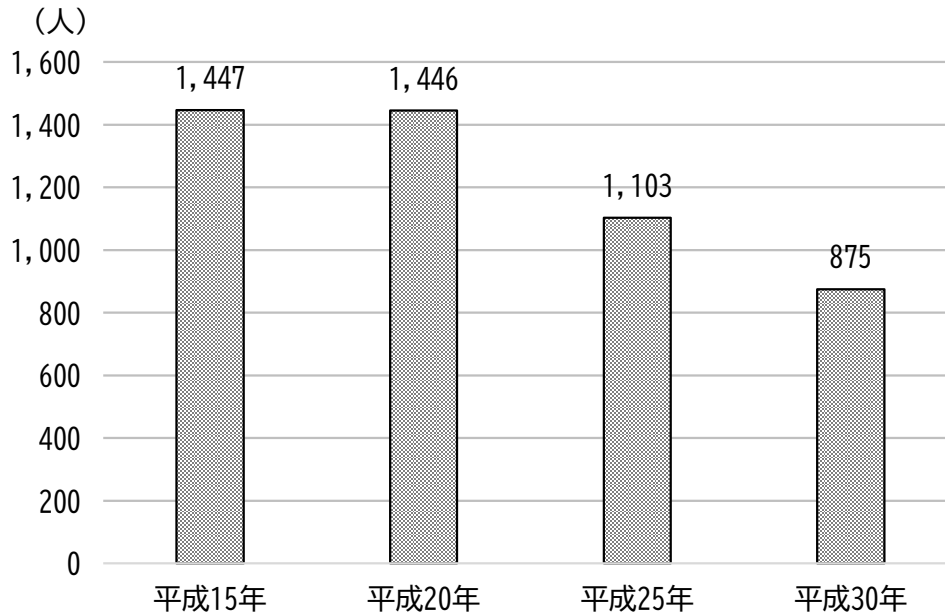
		(t, 百万円)					
市町村	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
八戸市	数量	98,785	99,519	108,016	66,011	60,995	44,275
	金額	21,518	18,248	16,658	13,587	12,184	7,916
階上町	数量	913	933	707	799	832	693
	金額	504	545	404	385	445	304
おいらせ町	数量	657	699	667	621	440	552
	金額	334	413	292	262	190	201
圏域	数量	100,355	101,151	109,390	67,431	62,267	45,520
	金額	22,356	19,206	17,354	14,234	12,819	8,421

資料：海面漁業に関する調査（青森県）

(16) 漁業就業者数

- ・平成 15(2003)年から平成 30(2018)年にかけて、約 4 割減少している。

図表 1-48 漁業就業者数の推移



資料：漁業センサス（農林水産省）

図表 1-49 構成市町村別 漁業就業者数の推移

					(人)
年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年	圏域内構成比 (平成30年)
市町村					
八戸市	1,104	1,214 (10.0%)	977 (-19.5%)	767 (-21.5%)	87.7%
階上町	244	111 (-54.5%)	85 (-23.4%)	66 (-22.4%)	7.5%
おいらせ町	99	121 (22.2%)	41 (-66.1%)	42 (2.4%)	4.8%
圏域	1,447	1,446 (-0.1%)	1,103 (-23.7%)	875 (-20.7%)	-

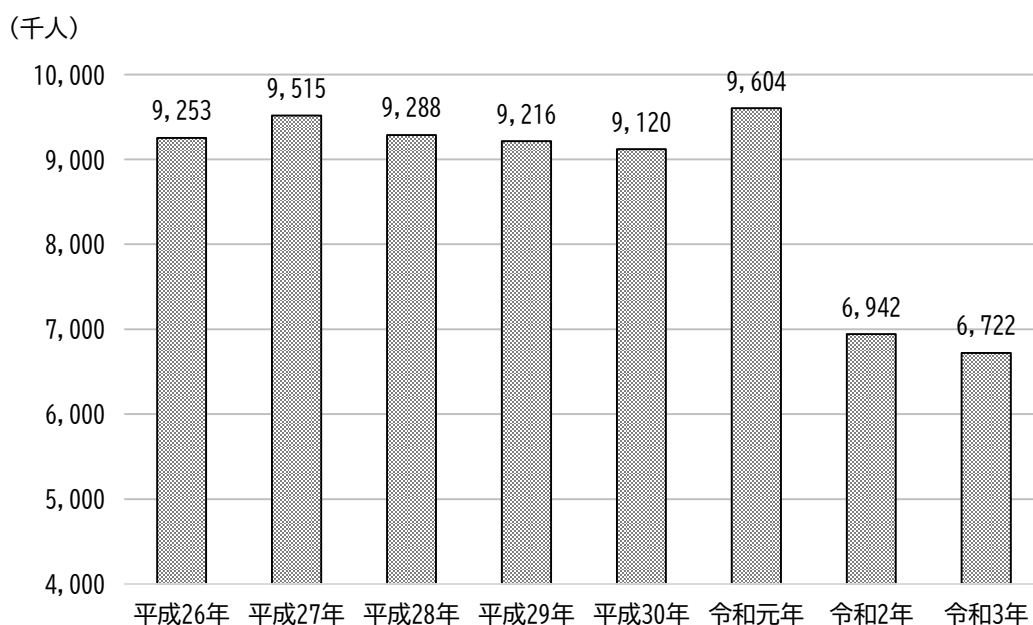
下段：対前期増加率

資料：漁業センサス（農林水産省）

(17) 観光入込客数

- ・平成26(2014)年から令和元(2019)年にかけてほぼ横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2(2020)年以降大きく減少している。

図表 1-50 観光入込客数の推移



資料：観光入込客統計（青森県）

図表 1-51 構成市町村別 観光入込客数の推移

市町村	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	圏域内構成比 (令和3年)
八戸市		6,876	6,986 (1.6%)	6,681 (-4.4%)	6,648 (-0.5%)	6,394 (-3.8%)	6,632 (3.7%)	4,273 (-35.6%)	4,152 (-2.8%)	61.6%
三戸町		300	346 (15.6%)	364 (5.1%)	369 (1.5%)	303 (-18.0%)	547 (80.8%)	497 (-9.2%)	475 (-4.4%)	7.1%
五戸町		148	131 (-10.9%)	121 (-7.9%)	142 (17.4%)	138 (-2.7%)	149 (7.5%)	117 (-21.4%)	101 (-13.7%)	1.5%
田子町		34	48 (41.3%)	48 (-1.5%)	48 (0.8%)	45 (-7.1%)	44 (-0.9%)	42 (-5.1%)	44 (4.8%)	0.7%
南部町		682	735 (7.8%)	738 (0.3%)	742 (0.5%)	725 (-2.3%)	696 (-3.9%)	599 (-14.0%)	567 (-5.3%)	8.4%
階上町		385	445 (15.4%)	524 (17.7%)	493 (-5.9%)	713 (44.8%)	748 (4.9%)	713 (-4.7%)	696 (-2.4%)	10.4%
新郷村		152	153 (0.4%)	145 (-4.8%)	139 (-4.4%)	139 (-0.2%)	159 (14.9%)	98 (-38.4%)	118 (20.4%)	1.8%
おいらせ町		676	671 (-0.7%)	667 (-0.6%)	635 (-4.8%)	663 (4.3%)	629 (-5.0%)	603 (-4.2%)	569 (-5.6%)	8.5%
圏域		9,253	9,515 (2.8%)	9,288 (-2.4%)	9,216 (-0.8%)	9,120 (-1.0%)	9,604 (5.3%)	6,942 (-27.7%)	6,722 (-3.2%)	-

下段：対前期増加率

資料：観光入込客統計（青森県）

6 都市機能・生活機能の状況

(1) 病院・診療所の状況

- ・病院は圏域内に 27 施設あり、八戸市に全体の約 8 割を占める 21 施設があるほか、南部町・おいらせ町には各 2 施設、三戸町・五戸町には各 1 施設となっている。また、診療所についても八戸市に 142 施設が集中している。
- ・自治体病院は圏域の中核医療機関となる八戸市立市民病院があるほか、三戸町・五戸町・南部町・おいらせ町にも立地し、自治体診療所は八戸市・田子町・新郷村に立地している。

図表 1-52 構成市町村別 病院・診療所数

施設	市町村	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
病院数		21	1	1	0	2	0	0	2	27
診療所数		142	2	3	2	5	2	1	8	165

令和 3 年 11 月現在

資料：地域医療情報システム（日本医師会）

図表 1-53 自治体病院・診療所の概要及び指定病院の状況

施設名 診療科、指定状況		病院					診療所				
		八戸市立市民病院	三戸中央病院	五戸総合病院	南部町医療センター	おいらせ病院	八戸市休日急病診療所	八戸市休日歯科診療所	南郷診療所	田子診療所	新郷診療所
診療科名	内科	●	●	●	●	●	●		●	●	●
	精神・神経科	●									
	小児科	●	●	●	●	●	●			●	
	外科	●	●	●	●	●	●			●	
	整形外科	●	●	●	●	●				●	
	脳神経外科	●		●		●					
	皮膚ひ尿器科	●	●	●	●	●				●	
	産婦人科	●	●	●							
	眼科	●	●	●	●	●					
	耳鼻いんこう科	●	●	●							
	放射線科	●									
	歯科・歯科口腔外科	●						●	●		
	麻酔科	●									
	その他	●	●		●						
指定病院等の状況	救急告示病院	●	●	●	●	●					
	災害拠点病院	●									
	臨床研修病院	●									
	地域医療支援病院	●									
	がん診療連携拠点病院	●									
	特定機能病院										
	感染症指定医療機関	●									
	病院群輪番制病院	●									
	へき地医療拠点病院		●								

資料：令和 2 年度市町村立病院経営便覧（青森県）、各市町村 HP

(2) 自治体病院医師充足率の状況

- ・圏域の中核医療機関である八戸市立市民病院で 69.7%、最も高い三戸中央病院では 80.0%、最も低い五戸総合病院では 52.9%となっている。

図表 1-54 自治体病院医師充足率の状況

施設	項目	許可病床数	標榜診療科目数	医師数	医師充足率	
					医療法上	施設運営上
八戸市立市民病院		628	26	131.0	331.5%	69.7%
三戸中央病院		96	10	7.0	149.3%	80.0%
五戸総合病院		165	9	9.0	109.5%	52.9%
南部町医療センター		66	10	9.0	117.4%	57.1%
おいらせ病院		78	7	18.0	116.7%	71.4%

令和3年3月31日現在（但し、医師充足率：令和3年5月1日現在）
資料：令和2年度市町村立病院経営便覧（青森県）、各市町村 HP

(3) 福祉施設の状況

図表 1-55 構成市町村別 福祉施設の数

施設		市町村								圏域
		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	
児童福祉	保育所	84	3	5	1	4	4	1	13	115
	児童館	15	2	0	0	0	0	0	2	19
障害者福祉	障害者支援施設	7	0	2	0	1	0	0	1	11
	地域活動支援センター	3	1	0	0	0	0	0	0	4
高齢者福祉	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特別養護老人ホーム	15	1	4	1	3	1	0	3	28
	軽費老人ホーム（ケアハウス）	5	0	0	0	0	0	0	1	6
	地域包括支援センター	13	1	1	1	1	1	1	1	20
	生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	老人福祉センター	2	1	0	1	3	1	3	1	12
	老人憩の家	5	0	0	0	0	0	0	0	5

令和4年4月1日現在
資料：健康福祉関係施設名簿（青森県）、八戸市資料

(4) 文化・スポーツ施設の状況

- ・文化施設は八戸市に 24 施設が立地しているほか、おいらせ町に 10 施設、階上町に 7 施設など各町村に立地している。
- ・スポーツ施設は八戸市に 40 施設が立地しているほか、南部町に 16 施設、五戸町に 13 施設など各町村に立地している。

図表 1-56 構成市町村別 文化・スポーツ施設の数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
文化施設数	18	6	5	2	5	7	3	10	56
スポーツ施設数	40	10	13	9	16	5	6	9	108

令和 4 年 12 月 1 日現在
資料：各市町村 HP

(5) NPO 法人の状況

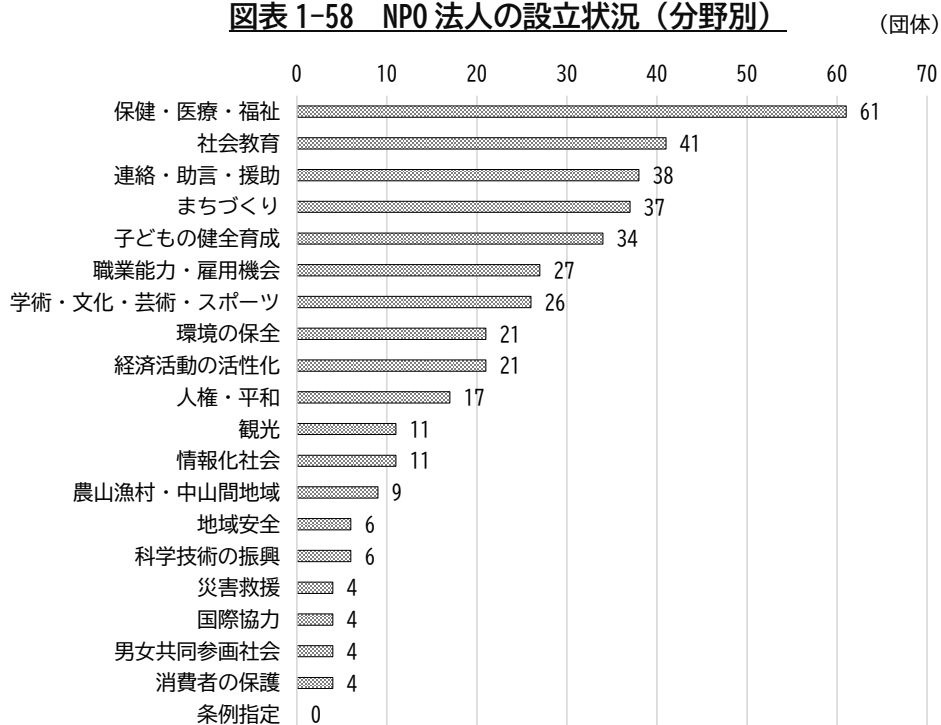
- ・圏域全体で 95 団体が設立されており、八戸市において全体の約 7 割を占める 70 団体が設立されている。
- ・分野別の設立状況を見ると、保健・医療・福祉が 61 団体と最も多く、次いで、社会教育が 41 団体となっている。

図表 1-57 構成市町村別 NPO 法人の数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
NPO 法人数	70	3	0	3	6	6	0	7	95

令和 4 年 12 月 1 日現在
資料：NPO 法人ポータルサイト（内閣府）

図表 1-58 NPO 法人の設立状況（分野別）



※複数の分野で活動する団体もあるため、図表 1-57 の法人数の合計と一致しない

令和 4 年 12 月 1 日現在
資料：NPO 法人ポータルサイト（内閣府）

(6) 小学校・中学校の状況

図表 1-59 構成市町村別 小・中学校数と児童・生徒数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
小学校数	42	2	4	3	8	4	1	5	69
児童数(人)	10,530	337	577	168	632	520	70	1,386	14,220
中学校数	26	1	3	1	4	2	1	3	41
生徒数(人)	5,606	195	318	86	341	261	42	708	7,557

資料：令和4年度学校一覧（青森県）

(7) 高等学校の状況

図表 1-60 構成市町村別 高等学校数と生徒数

市町村 項目	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
学校数	14	1	0	0	1	0	0	1	17
生徒数(人)	7,244	89	0	0	175	0	0	318	7,826

資料：令和4年度学校一覧（青森県）

(8) 専修学校の状況

- ・圏域全体で8校あり、東北メディカル学院（五戸町）を除いて八戸市に立地している。

図表 1-61 構成市町村別 専修学校数と生徒数

(人)

分類	名称	学部・学科名	生徒数
専修学校	市立 八戸市立高等看護学院	看護	67
	私立 八戸社会福祉専門学校	介護福祉	休校
	私立 八戸保健医療専門学校	歯科衛生士	75
		スポーツ柔整	62
	私立 八戸ドレメ専門学校	—	休校
	私立 専門学校アレック 情報ビジネス学院	医療事務・ドクターズクラーク	30
		公務員	58
		工業専門課程・建築	27
		ITエンジニア・事務ビジネス	58
	私立 八戸理容美容専門学校	理容	21
		美容	117
	私立 八戸看護専門学校	看護	133
	私立 東北メディカル学院	理学療法・作業療法	221
合計			869

資料：令和4年度学校一覧（青森県）

(9) 大学・短期大学・高等専門学校の状況

・圏域全体で4校あり、全て八戸市に立地している。

図表 1-62 大学、短期大学、高等専門学校と学生数

(人)

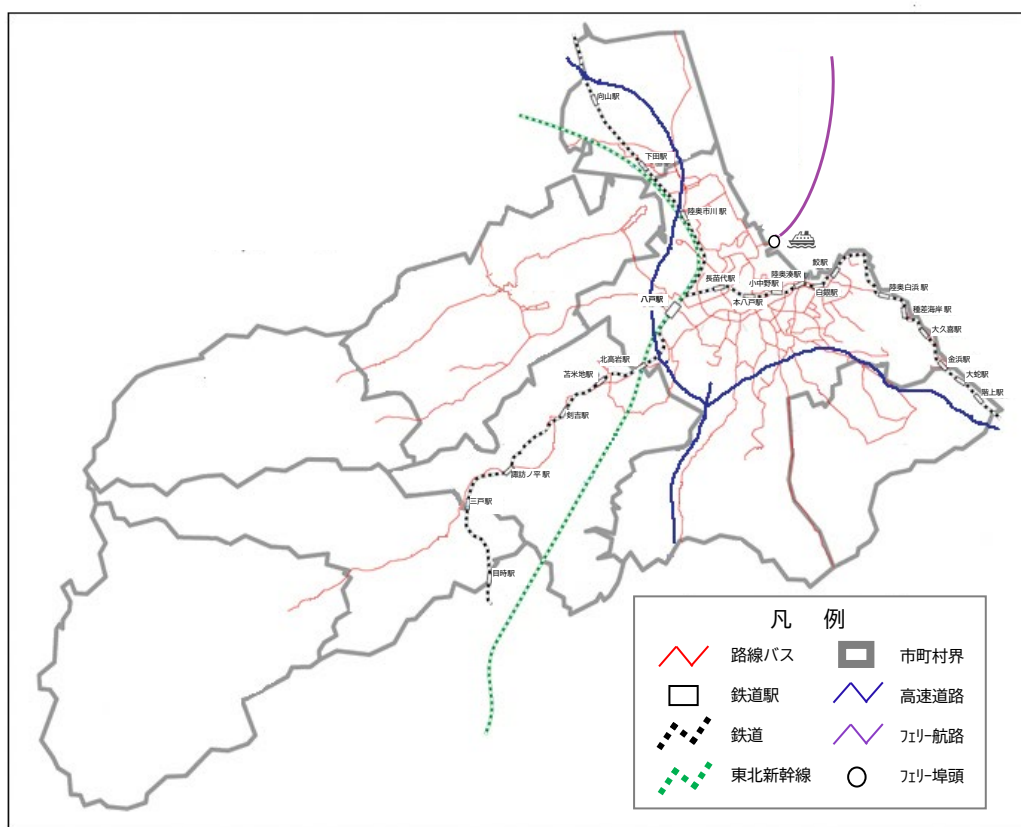
分類		名称	学部・学科名			学生数	
大学	私立	八戸工業大学	工学部		機械工学科	143	1,159
					電気電子工学科	82	
					システム情報工学科	253	
					生命環境科学科	79	
					土木建築工学科	201	
					工学科	236	
			感性デザイン学部		感性デザイン学科	151	
			大学院	工学研究科 (博士前期課程)	機械・生物化学工学専攻	1	
					電子電気・情報工学専攻	4	
					社会基盤工学専攻	5	
				工学研究科 (博士後期課程)	機械・生物化学工学専攻	2	
					電子電気・情報工学専攻	0	
					社会基盤工学専攻	2	
	私立	八戸学院大学	地域経営学部		地域経営学科	326	993
健康医療学部			人間健康学科	408			
			看護学科	259			
短期大学	私立	八戸学院大学 短期大学部	—		幼児保育学科	179	213
					介護福祉学科	34	
高等専門学校	国立	八戸工業高等専門学校	—		産業システム工学科	833	877
					専攻科	産業システム工学専攻科	
合計						3,242	

資料：令和4年度学校一覧（青森県）

(10) 圏域内の公共交通網

- ・ 高速道路のインターチェンジは 10 か所設置されており、八戸市に 6 か所、階上町・おいらせ町に各 2 か所設置されている。
- ・ 鉄道は東北新幹線（八戸駅）、JR 八戸線、青い森鉄道線がある。
- ・ 運行する路線バスは、八戸市営バス、南部バス、十和田観光電鉄バスがある。
- ・ 八戸港フェリーターミナルを発着する旅客フェリーが運航されている。

図表 1-63 公共交通網



(11) インターチェンジ

図表 1-64 インターチェンジ

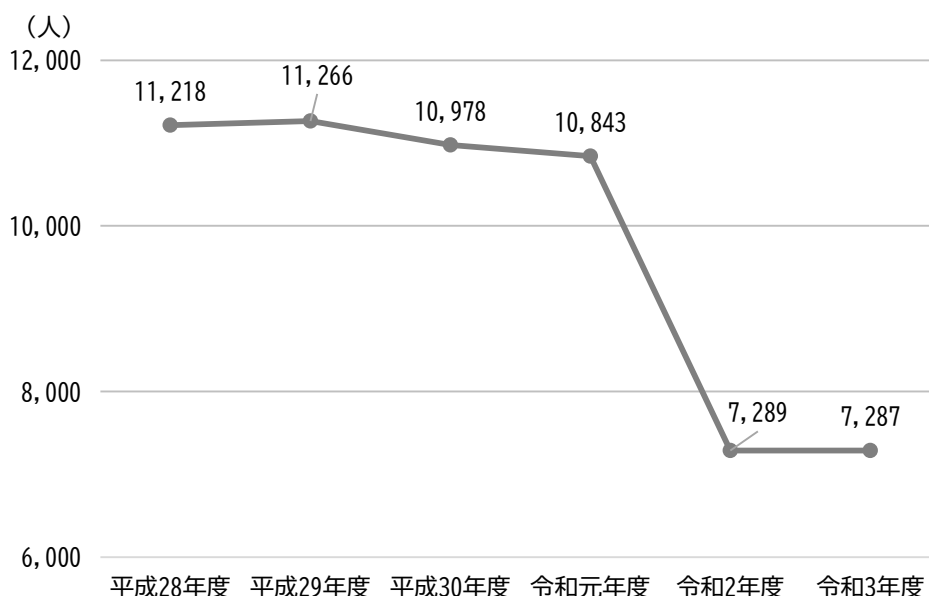
所在地	名称	道路
八戸市	八戸北IC	八戸自動車道
	八戸IC	
	南郷IC	
	八戸西スマートIC	
	八戸是川IC	八戸久慈自動車道
階上町	八戸南IC	
	種差海岸階上岳IC	
	階上IC	第二みちのく有料道路
おいらせ町	三沢十和田下田IC	
	下田百石IC	百石道路

資料：東日本高速道路株式会社 HP

(12) 鉄道

- ・鉄道の1日平均乗降人員は、平成28(2016)年度から令和元(2019)年度にかけて緩やかな減少傾向で推移していたが、令和2(2020)年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、約3割減少している。

図表 1-65 鉄道の1日平均乗降人員の推移



資料：東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

図表 1-66 事業者別 鉄道の1日平均乗降人員の推移

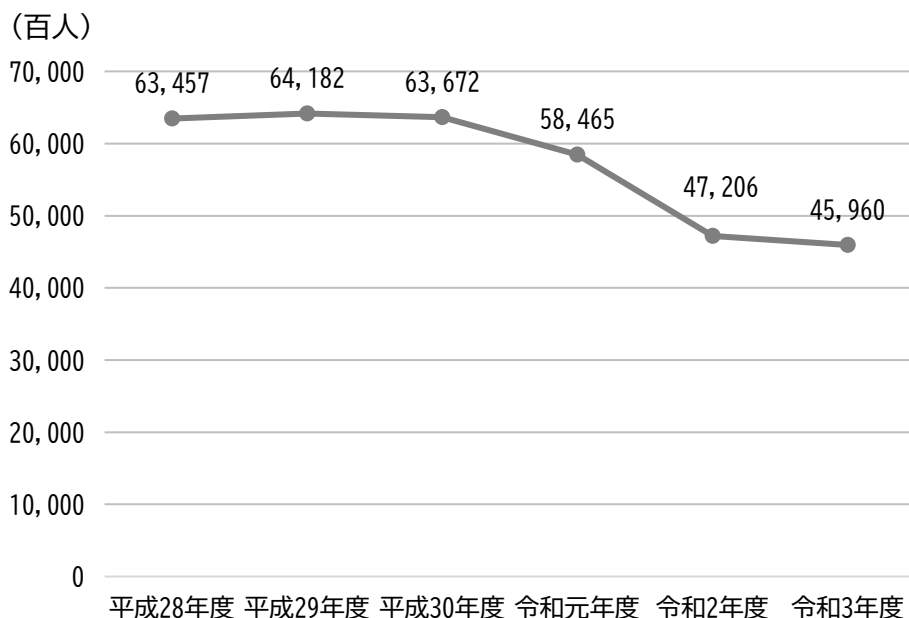
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運航会社/駅							
東日本旅客鉄道株式会社	八戸（新幹線）	3,394	3,478	3,481	3,400	1,695	1,977
	八戸（八戸線）	1,061	1,027	1,007	1,120	1,030	1,064
	本八戸	1,163	1,171	1,156	1,154	843	881
	陸奥湊	143	136	133	126	-	-
	鮫	326	311	287	282	220	230
	合計	6,087	6,123	6,064	6,082	3,788	4,152
青い森鉄道株式会社	向山	44	54	66	66	46	34
	下田	569	569	482	403	341	302
	陸奥市川	380	366	367	373	333	277
	八戸	2,846	2,925	2,892	2,822	1,848	1,689
	北高岩	40	44	43	31	24	25
	苫米地	184	141	99	100	97	88
	釧吉	484	466	424	410	320	254
	諏訪ノ平	79	53	63	70	50	44
	三戸	468	497	455	455	364	351
	目時	37	28	23	31	78	71
	合計	5,131	5,143	4,914	4,761	3,501	3,135
合計		11,218	11,266	10,978	10,843	7,289	7,287

※陸奥湊駅については、令和2年度から無人駅になったため、以降データなし
資料：東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

(13) 路線バス

- ・路線バスの輸送人員は、平成 28(2016)年度から平成 30(2018)年度にかけて横ばいで推移していたが、令和元(2019)年度には減少に転じ、令和 2 (2020)年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、大幅に減少している。

図表 1-67 路線バスの輸送人員の推移



資料：八戸市、岩手県北自動車株式会社、十和田観光電鉄株式会社

図表 1-68 事業者別 路線バスの輸送人員の推移

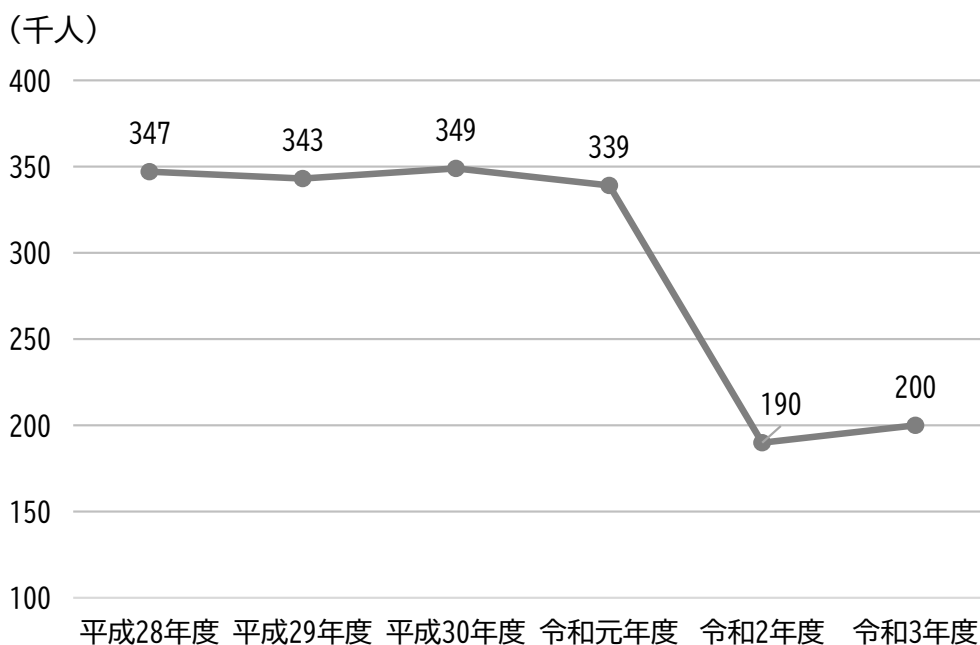
						(百人)
年 運行会社	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
八戸市交通部	41,802	41,586	41,203	38,694	31,428	29,959
岩手県北自動車 株式会社南部支社	19,300	20,204	20,015	17,404	13,745	14,002
十和田観光電鉄株式会社	2,355	2,392	2,454	2,366	2,033	1,999
合計	63,457	64,182	63,672	58,465	47,206	45,960

資料：八戸市、岩手県北自動車株式会社、十和田観光電鉄株式会社

(14) フェリー

- ・旅客数は、平成 28(2016)年度から令和元(2019)年度にかけて横ばいで推移していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、令和 2 (2020)年度にかけて 4 割減少し、令和 3 (2021)年度には増加に転じている。

図表 1-69 フェリーの旅客数の推移



資料：川崎近海汽船株式会社

図表 1-70 フェリーの運航区間及び旅客数の推移

						(千人)
年度 運航区間	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
八戸～苫小牧	347	343	349	339	173	184
八戸～室蘭	-	-	-	-	17	16
合計	347	343	349	339	190	200

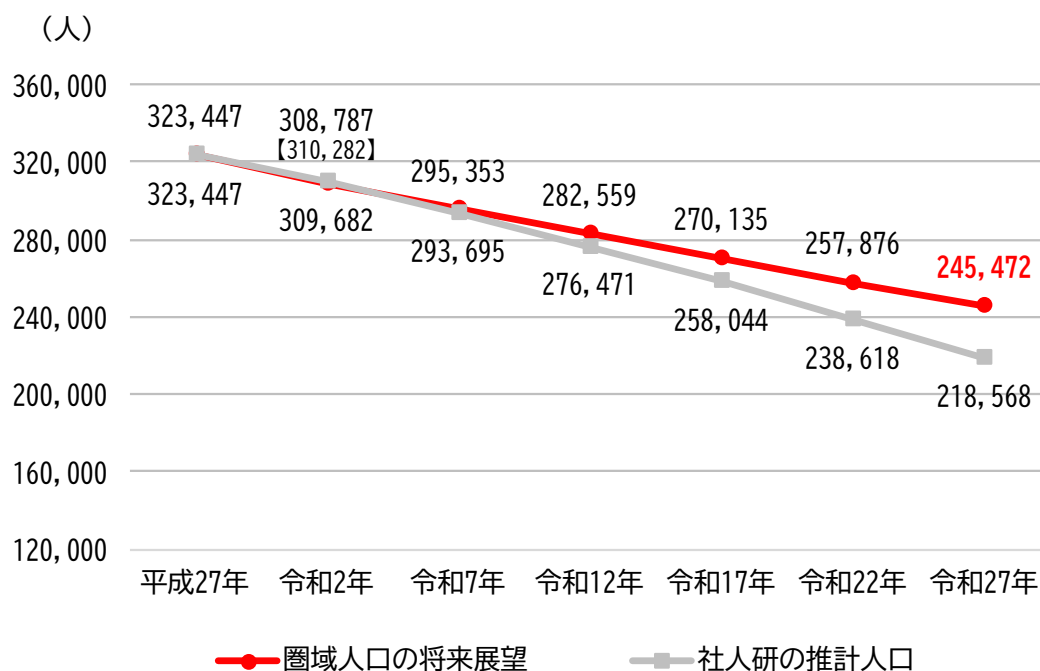
※八戸～室蘭は令和 4 年 2 月 1 日から休止中
資料：川崎近海汽船株式会社

第2章 圏域の中長期的将来像

1 人口の将来展望

- ・ 8市町村の人口ビジョンにおける将来展望人口を合算した圏域人口の将来展望は、令和27(2045)年に 245,472 人となり、国立社会保障・人口問題研究所が平成 30(2018)年に推計した 218,568 人を約 2.7 万人上回る見込みとなっています。

図表 2-1 人口の将来展望



※【 】内の数値は国勢調査の圏域人口

資料：各市町村の人口ビジョン
日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)
(国立社会保障・人口問題研究所)

図表 2-2 構成市町村別 人口の将来展望

年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
八戸市	231,257	221,401	212,684	204,208	195,945	187,862	179,606
三戸町	10,135	9,114	8,201	7,416	6,733	6,135	5,627
五戸町	17,433	16,345	15,348	14,455	13,595	12,745	11,924
田子町	5,554	5,172	4,795	4,440	4,128	3,848	3,589
南部町	18,312	16,850	15,402	14,117	12,958	11,861	10,864
階上町	14,025	13,506	12,935	12,388	11,878	11,379	10,824
新郷村	2,509	2,268	2,029	1,810	1,607	1,414	1,222
おいらせ町	24,222	24,131	23,959	23,725	23,291	22,632	21,816
圏域	323,447	308,787	295,353	282,559	270,135	257,876	245,472

資料：各市町村の人口ビジョン

2 目指す将来像

八戸圏域連携中枢都市圏では、人口減少や高齢化の進行が本格化する中であっても、将来にわたって一定の圏域人口を有し、活力ある経済圏・生活圏を維持・形成していくため、平成29（2017）年3月に連携中枢都市圏ビジョンを策定し、8市町村が連携して「経済成長のけん引」や「高次都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」の3つの役割に関する取組を着実に進めてきました。

「経済成長のけん引」については、圏域が有する豊かな自然や食、伝統文化といった多彩な地域資源を活用した戦略的な観光施策や地場産品の国内外への販路拡大に取り組むとともに、商工業や水産業、農業などの多種多様な産業の集積と陸海空の交通・物流の拠点性といった八戸市の強みを活かした地域産業の高度化・活性化や新規産業の創出に向けた取組を着実に進め、圏域経済の活性化を図ってきました。

また、「高次都市機能の集積・強化」や「生活関連機能サービスの向上」については、首都圏等からの移住や人材還流の促進、文化芸術活動やスポーツ活動における中心拠点の整備、路線バス上限運賃化をはじめとした広域的な公共交通網の構築、ドクターカーの運行や総合的な医療・健康対策の拠点の整備による必要な医療を速やかに受けるための救急医療体制の強化や地域医療体制の充実を図ることで、当圏域への新しい人の流れをつくるとともに、住民が将来に夢や希望を持ちながら安全安心な暮らしを送ることができる圏域形成を進めてきました。

そのような中、連携中枢都市圏を形成した平成29（2017）年から令和元（2019）年にかけて圏域全体の製造品出荷額等が増加傾向で推移するとともに、圏域人口の社会動態についても令和元（2019）年から増加傾向に転じるなど、これまでの取組の成果が着実に現れている一方で、大学生などの若者の首都圏等への流出による圏域人口の減少や農業・漁業就業者の担い手不足、公共インフラの老朽化といった多様な課題への対応が求められています。

さらに、当圏域を取り巻く社会経済情勢についても、人口減少や高齢化の急速な進行、自然災害の激甚化・多発化、今般の新型コロナウイルス感染症流行を契機とした行政や地域社会におけるデジタル化の進展、グリーン社会の実現に向けた取組の加速など大きく変容しています。

このような状況の中で、今後も当圏域が一定の圏域人口を有し、魅力あふれる圏域として持続的に発展していくためには、他の地域には無い、圏域固有の地域資源が有する個性を磨きながら、これまで緊密な連携のもとで進めてきた3つの役割に基づく取組の深化を図るとともに、デジタル化やグリーン社会の実現への対応など新たに顕在化した地域課題に圏域市町村が丸となって主体的に取り組み、圏域の未来を自ら切り拓いていくことが重要です。

このようなことから、当圏域が目指す将来像を次のとおりとし、その実現に向けて8市町村が一体となって具体的取組を推進します。

<八戸圏域の目指す将来像>

地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域

3 取組の方向性

将来像の実現に向けた今後5年間における取組の方向性を、3つの役割ごとに次のとおり示します。

① 圏域全体の経済成長のけん引

- ・ 企業の地方移転や製造の国内回帰の流れを捉え、圏域全体での企業誘致の促進を図ります。
- ・ 地方への移住・定住の流れを捉え、デジタル人材などの多様な人材が活躍し、誰もが安心して働き続けられる環境整備を図ります。
- ・ ICT技術を活用したスマート農林水産業の普及促進等により生産性向上を図るとともに、農業水産物・加工品など地域ブランドの維持・強化による販路拡大を図ります。
- ・ 八戸圏域版DMOの「一般財団法人VISITはちのへ」との連携強化を図り、国内外からの観光誘客を促進するとともに、「エコツーリズム」や「グリーン・ツーリズム」などを推進し、持続可能な広域観光を展開します。

② 高次の都市機能の集積・強化

- ・ 八戸市総合保健センターや八戸市美術館など高度な都市機能を有する中心拠点について、圏域での更なる利用促進を図ります。
- ・ 交通系ICカードやバスロケーションシステムの普及促進など、地域公共交通のデジタル化を推進するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。
- ・ 幅広い学術分野を持つ圏域の高等教育機関との連携強化により、地域課題の解決や地域の担い手となる人材育成を図ります。

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・ 子育て世代が地域とのつながりを感じながら、安心して子育てができる環境整備を図ります。
- ・ 高齢者が安心して生き生きと暮らしていけるよう健康寿命の延伸や生きがいづくりに向けた取組を推進します。
- ・ 児童・生徒に対して、様々な学びや体験の機会を提供し、地域への愛着と誇りを醸成させ、将来的な地域の担い手育成を図ります。
- ・ 豊かな自然環境を守るため、衛生的な生活環境の保全、グリーン社会・循環型社会の構築を図ります。
- ・ 首都圏における交流拠点を活用し、圏域への更なる移住促進を図ります。
- ・ 多様化する住民ニーズへの対応や公共サービスの維持・充実を図るため、専門人材の共同活用を図ります。

第3章 将来像の実現に向けた具体的取組

1 施策体系

将来像

役割

連携施策

地域の個性が輝き
自立した
八戸圏域

1. 圏域全体の経済成長のけん引

① 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

② 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

販路拡大

雇用

農業

林業

漁業

④ 戦略的な観光施策の展開

2. 高次の都市機能の集積・強化

⑤ 高度な医療サービスの提供

⑥ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

⑦ 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

⑧ 医療体制の充実

⑨ 子育て支援の充実

⑩ 高齢者福祉の充実

⑪ 障がい者福祉の充実

⑫ 中小企業従事者の福祉向上

⑬ 消費者支援の充実

⑭ 社会教育の充実

⑮ 学校教育の充実

⑯ 高等学校の地域活動促進

⑰ スポーツ活動の機会の充実

⑱ 不法投棄の防止

⑲ 安全・安心なまちづくりの推進

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

⑳ 地域内外の住民との交流・移住促進

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

㉑ 圏域内市町村職員の育成

㉒ 女性の活躍促進

㉓ NPO等の活動促進

具体的取組（連携事業）

1. 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会運営事業	2. 地域未来投資促進法に基づく基本計画推進事業
3. IT 関連企業立地促進補助金交付事業	7. 革新的ものづくり企業連携促進事業
4. 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	8. 地域企業支援体制強化事業
5. イノベティブ産業集積促進事業	9. はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業
6. 産学官共同研究開発支援事業	
10. 地場産品販路拡大支援事業	13. 海外販路拡大事業
11. 八戸都市圏交流プラザ運営事業	14. 知的財産権対策支援事業
12. ナニヤドヤら廻道ふるさとフェスタ事業	
15. 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	17. 企業誘致セミナー事業
16. 地域事業所人材獲得支援事業	
18. 農業生産技術向上支援事業	21. 南郷そば振興センター運営事業
19. 新規就農促進事業	22. 畜産業及び畜産関連産業振興事業
20. 農作業マッチング促進事業	
23. 漆産業振興事業	
24. 漁業就業支援事業	
25. 八戸広域観光推進事業	26. グリーン・ツーリズム推進事業
27. 八戸市総合保健センター運営事業	
28. 八戸圏域地域公共交通計画推進事業	31. ブックセンター運営事業
29. 美術館運営事業	32. 屋内スケート場運営事業
30. 八戸ポータルミュージアム運営事業	33. 多賀多目的運動場運営事業
34. 学生まちづくり参画促進事業	
35. 医師派遣事業	38. 不妊専門相談事業
36. ドクターカー運行事業	39. AED 普及促進事業
37. 妊婦健康管理支援事業	
40. 一時預かり保育事業	43. 子育てサロン運営事業
41. ファミリーサポートセンター事業	44. 地域子育て支援拠点事業
42. 子育てつどいの広場事業	45. 児童虐待防止対策事業
46. 高齢者福祉に関する理解促進事業	49. 成年後見制度利用促進事業
47. あんしんカード事業	50. 医療・介護連携マップ管理運営事業
48. 救急医療情報キット配付事業	51. 介護予防センター利用促進事業
52. 障がい者福祉に関する理解促進事業	53. 障害支援区分判定審査の共同実施事業
54. 勤労者福祉促進事業	
55. 消費生活支援事業	
56. 生涯学習推進事業	58. 八戸圏域文化財魅力発信事業
57. 図書館相互利用事業	
59. 広域的体験学習支援事業	61. 教職員研修連携事業
60. こども支援センター連携推進事業	
62. 高校生地域づくり実践プロジェクト	
63. 氷都八戸パワーアッププロジェクト	65. スポーツ大使派遣事業
64. スキー場活用促進事業	66. 子どものスポーツ機会促進事業
67. 不法投棄防止事業	
68. 安全・安心情報発信事業	70. 空き家対策推進事業
69. 福祉避難所相互利用事業	71. 国土強靱化地域計画推進事業
72. 移住・交流促進事業	74. 八戸圏域活性化支援事業
(11)八戸都市圏交流プラザ運営事業【再掲】	75. 住民活動保険事業
73. 縁結び支援事業	76. 公共交通による交流促進事業
77. 圏域市町村職員育成事業	
78. 女性活躍促進事業	
79. 八戸圏域住民活動促進事業	

2 具体的取組

1. 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	現状値	目標値
製造品出荷額等	6,638 億円 (R1 年)	6,840 億円 (R8 年)
農業産出額	651 億円 (R1 年)	680 億円 (R8 年)
観光入込客数	960 万 5 千人 (R1 年)	970 万人 (R8 年)

① 産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

事業名	1	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域の産学金官民の有識者等により構成される連携中枢都市圏ビジョン懇談会を開催し、ビジョンの進捗管理等に関する意見聴取を行う。					
効 果	・圏域の産学金官民の有識者等からの幅広い意見を踏まえた連携事業の推進が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	連携事業の成果指標 達成率【累計】		—		80% (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2,860	2,860	2,860	2,860	2,860	14,300
役割分担	八戸市：懇談会の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：懇談会の構成員を推薦し、ビジョン懇談会に出席する。					

○「事業費見込額」の凡例

「→」：現時点で事業費を想定することが困難なもの

「－」：現時点で事業費が想定されていないもの

(※) 事業費見込額は、今後の事業進捗等に応じて変更となる場合があります。

事業名	2	地域未来投資促進法に基づく基本計画 推進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・事業者が青森県八戸圏域基本計画を踏まえて立案する八戸圏域の特性を活かした先進的な計画が、青森県・国から地域経済牽引事業と承認・確認された場合、当該計画に基づく設備投資に係る固定資産税等の課税免除措置を講じる。 ・地域の行政機関、産業支援機関、大学、金融機関、商工団体等が相互に連携、補完し、地域経済牽引事業の効果が最大限引き出されるよう支援する。					
効 果	・ものづくり・食料品製造産業の集積、多様な観光資源や特産物、交通インフラの地域の特性を活用して地域経済を牽引する事業を支援することにより、八戸圏域における経済の好循環が創出される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	地域経済牽引事業計画 の承認件数【累計】		4 件 (R2 年度)		9 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八 戸 市：圏域内事業者に支援情報を提供し、進捗状況を把握する。また、基本計画の推進に向けた会議等を開催する。 連携町村：八戸市主催の会議等に参加するとともに、圏域内事業者に対する情報提供を連携して行う。					

② 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

事業名	3	IT 関連企業立地促進補助金交付事業			関係市町村	全市町村
内容	・八戸市の誘致企業である IT 関連企業に対し、八戸市 IT 関連企業立地促進補助金及び雇用奨励金を交付する。					
効果	・ IT 関連企業の新規立地及び事業拡大並びに圏域全体の雇用創出が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	IT 関連企業の従業員数		1,423 人 (R2 年度)		1,489 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	90,000
役割分担	八戸市：補助金及び奨励金の交付に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：八戸市からの照会に応じ、対象者の住民登録の有無を確認する。					

事業名	4	企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業			関係市町村	全市町村
内 容	・製造業等の立地促進・雇用拡大に向けた支援を行うため、八戸市企業立地促進条例に基づく各種奨励金（立地奨励金、操業奨励金、設備投資奨励金、雇用奨励金）を交付する。					
効 果	・企業の新規立地及び事業拡大並びに圏域全体の雇用創出が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	誘致企業の従業員数 （IT 関連企業を除く）		4,199 人 （R2 年度）		4,295 人 （R8 年度）	
事業費見込額 （千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	206,670	206,670	206,670	206,670	206,670	1,033,350
役割分担	八 戸 市：各種奨励金の交付に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：八戸市からの照会に応じ、対象者の住民登録の有無を確認する。					

事業名	5	イノバティブ産業集積促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 地元企業の成長ものづくり分野への新規参入や関連企業の圏域への立地促進に向けた補助金を交付する。（拠点開設、認証取得、展示会出展、試作開発） ・ 新規参入にあたって必要な認証取得に関する勉強会や市場動向についての勉強会、川下企業を招聘してのマッチング事業を開催する。					
効 果	・ 圏域内企業の成長ものづくり分野への参入と受注拡大が期待される。 ・ 圏域内への成長ものづくり関連企業の新規立地が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	成長ものづくり分野 参入企業数【累計】		17 社 (R2 年度)		25 社 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	6,388	6,388	6,388	6,388	6,388	31,940
役割分担	八 戸 市：補助金交付に係る事務全般及び勉強会の開催事務を行う。 連 携 町 村：町村内の企業発掘を行う。 関係市町村：勉強会の企画立案や事業者への制度周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	6	産学官共同研究開発支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の企業が高等教育機関や公設研究機関と連携して行う共同研究開発に対し、補助金を交付する。					
効 果	・圏域内の企業が高等教育機関や公設研究機関と連携して行う新技術・新製品開発を支援することで、技術の円滑な取得や生産性の向上、売上の増加が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	支援事業の採択企業数 【累計】		10 社 (R3 年度)		20 社 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400	17,000
役割分担	八 戸 市：補助金交付に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域の企業に対する補助制度の周知を連携して行うとともに、協議の上事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	7	革新的ものづくり企業連携促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 地域企業の競争的資金の獲得や革新的な取組に係る事例を周知する「企業交流サロン」等を開催する。						
効 果	・ 競争的資金を活用した革新的な取組等の増加により、地域企業の経営基盤の強化が図られるとともに、地域産業の高度化が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	企業交流サロンの参加者数		19 人 (R2 年度)		30 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	252	252	252	252	252	1,260	
役割分担	八 戸 市：企業交流サロンの開催事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域の企業に対し、企業交流サロン等の周知を連携して行う。						

事業名	8	地域企業支援体制強化事業			関係市町村	全市町村
内 容	・コーディネーターが圏域のものづくり企業を訪問して、販路開拓や新商品開発等の経営課題を発掘し、助言等を行うとともに、活用できる支援施策の提案、情報提供を行う。 ・地域企業への支援機能の強化に向け、八戸圏域産学官金連携会議を開催する。 ・新商品・新サービス開発に資する国の施策説明会等を開催する。					
効 果	・圏域の製造業が抱えている課題の解決につながる。 ・八戸圏域産学官金連携会議の開催を通じて、地域企業の支援ニーズや活用すべき支援施策情報等が共有され、より効果的な支援につながる。 ・国の施策説明会等の開催を通じて、支援施策の活用促進が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	企業訪問件数		90 件 (R2 年度)		90 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
役割分担	八戸市：産学官金連携会議や施策説明会等の開催など当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：圏域の事業者支援情報等を提供するとともに、コーディネーターに派遣を希望する事業者の情報を提供する。また、八戸圏域産学官金連携会議や施策説明会等に参加する。					

事業名	9	はちのへ創業・事業承継サポートセンター 運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・創業支援拠点である「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」において、各商工会と連携した創業及び事業承継に関する相談対応を行うとともに、サロン事業（セミナー、交流事業等）の実施や創業に関する情報発信を行う。					
効 果	・创业者の増加及び円滑な事業承継による雇用の場の維持・創出及び地域活力の向上が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	起業件数【累計】		155 件 (R2 年度)		380 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	17,837	17,837	17,837	17,837	17,837	89,185
役割分担	八戸市：創業支援拠点の設置・運営（八戸商工会議所への委託）を行うとともに、事業実施に係る費用を負担する。 連携町村：圏域住民への制度周知とともに、各商工会との連絡調整を行う。					

③ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名	10	地場産品販路拡大支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・首都圏や県内外での物産展や商談会の開催など、八戸圏域版 DM0 である一般財団法人 VISIT はちのへが実施する地場産品の販路拡大事業を支援する。					
効 果	・圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大や販売促進につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	商談成立件数 【累計】		101 件 (R2 年度)		110 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	10, 000
役割分担	八 戸 市：事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域事業者への物産展や商談会の開催等の情報提供や参加調整等について、VISIT はちのへと連携して実施する。					

事業名	11	八戸都市圏交流プラザ運営事業			関係市町村	全市町村
内容	・首都圏交流拠点である八戸都市圏交流プラザ「8base」において、圏域の食材を活用したメニューの提供や物産販売を展開するとともに、圏域のファンづくりのための交流事業を実施する。					
効果	・首都圏での圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大につながる。 ・継続的に地域を応援してくれる関係人口の形成・増加が図られ、圏域への移住・定住につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	来店者数		198,240 人 (R2 年度)		357,000 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	47,577	47,577	47,577	47,577	47,577	237,885
役割分担	八戸市：店舗運営や関連事業の実施に係る事務全般を行う。 関係市町村：八戸都市圏交流プラザ運営協議会に参画するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	12	ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 圏域内の観光資源、地場産品、伝統芸能等、圏域が一体となった総合的なフェスティバルを開催する。						
効 果	・ 当圏域の持つ様々な地域資源の魅力を発信することで、販路拡大や地域の活性化につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	入場者数 (2 日間の計)		1,025 人 (R2 年度)		10,000 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	33,000	
役割分担	八 戸 市：運営委託などイベント開催に係る事務全般を行う。 関係市町村：広報紙等を通じて当イベントの周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	13	海外販路拡大事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 海外における物産展、展示会への出展、プロモーション及び商談会を開催し、圏域内企業の海外市場での取引拡大を通じて、地域経済の活性化を図る。 ・ 海外販路拡大に取り組む企業や海外での物産展等を企画、主催する事業者に対し、海外販路拡大支援補助金を交付し、圏域内企業の海外進出を支援する。						
効 果	・ 圏域内企業等の海外販路拡大とそれに伴う地域経済活性化が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	取引成立（拡大）企業数 【累計】		18 社 （R2 年度）		28 社 （R8 年度）		
事業費見込額 （千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	19, 959	19, 959	19, 959	19, 959	19, 959	99, 795	
役割分担	八 戸 市：海外における物産展、展示会への出展企画、プロモーション及び商談会を開催するとともに、補助金交付に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：圏域企業に対して物産展、展示会への出展等への参加案内とその取りまとめを行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	14	知的財産権対策支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の中小企業者が自社の優れた技術や高付加価値の製品等を生かし、市場での競争力を維持できるよう、知的財産権に関する普及啓発活動や相談対応を行うとともに、国内特許等取得に要する経費の一部を支援する。					
効 果	・特許等の取得により、優れた技術等の外部流出を防ぐとともに、信頼性の向上により圏域内の中小企業者の競争力の強化が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	知的財産権に関する 相談件数		108 件 (R2 年度)		110 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	4, 536	4, 536	4, 536	4, 536	4, 536	22, 680
役割分担	八 戸 市：補助金交付等に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域内の企業への補助制度の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	15	求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の求人・求職情報を集約し発信するウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場」により、圏域の事業所と住民の効果的・効率的なマッチングを図る。					
効 果	・圏域の事業所の人材の確保と求職者の早期就職の促進により、若年者等の県外流出の減少が期待される。 ・通勤可能な関係市町村において、多種多様な求人情報を発信することで、市町村単独では改善が困難な職種によるミスマッチの解消が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	新規求人登録件数 【累計】		660 件 (R2 年度)		1,200 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	592	592	592	592	592	2,960
役割分担	八 戸 市：ウェブサイトの管理・運用に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：広報紙等でのウェブサイトの周知を連携して行う。					

事業名	16	地域事業所人材獲得支援事業				関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の事業所に対し、情報発信力の強化や採用力の向上を支援するセミナーの開催や人材確保に係る個別相談等を行う。						
効 果	・圏域内の事業所の人材不足解消や UIJ ターン就職の促進、若年者の人材流出の抑制が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	セミナー及び個別相談を受けて参考になったと回答した企業の割合		—		80%以上 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	4,112	4,112	4,112	4,112	4,112	20,560	
役割分担	八 戸 市：セミナー開催や個別相談に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域の事業者への事業参加の呼びかけや周知を連携して行う。						

事業名	17	企業誘致セミナー事業				関係市町村	全市町村
内容	・八戸市が実施している首都圏や中部圏でのトップセールスにおいて、圏域の立地環境やインセンティブ等の総合的な PR を行う。						
効果	・圏域への新規企業立地が促進され、雇用創出や地域経済の活性化につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	参加者数		487 人 (R1 年度)		490 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	7,069	7,069	7,069	7,069	7,069	35,345	
役割分担	八 戸 市：講師、会場選定をはじめとしたセミナー運営全般を行う。 連 携 町 村：参加企業の選定のほか、PR 媒体や資料作成、セミナー運営の支援を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	18	農業生産技術向上支援事業				関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の農業者を対象とした「八戸市農業講座」を開催する等、生産技術の向上を図る。						
効 果	・生産技術に関する情報提供により、圏域の農業者の経営安定化が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	農業講座受講者数		358 人 (R1 年度)		450 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	127	127	127	127	127	635	
役割分担	八 戸 市：農業講座等の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への講座開講等の周知を連携して行う。						

事業名	19	新規就農促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・各市町村における新規就農者向けの支援制度の情報を一元化し、ホームページ等で発信することにより、新規就農の促進を図る。						
効 果	・支援情報を一元化して発信することで、新規就農希望者の利便性の向上につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	認定新規就農者数 【累計】		100 経営体 (R2 年度)		160 経営体 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
役割分担	八 戸 市：各市町村の情報をまとめたホームページの作成等を行う。 連 携 町 村：八戸市に支援情報の提供を行う。 関係市町村：圏域住民への情報発信を連携して行う。						

事業名	20	農作業マッチング促進事業			関係市町村	全市町村
内容	・農作業の支援を希望する農業者と農作業サポーターとのマッチング制度の周知等により、農作業マッチングの促進を図る。					
効果	・農作業マッチングの促進により、農業労働力の確保や雇用創出につながる。 ・農作業の体験を通じて、農業に対する関心や理解が深まる。					
成果指標	指標		現状値（調査年度）		目標値（達成年度）	
	農作業マッチング件数		16 件 （R2 年度）		20 件 （R8 年度）	
事業費見込額 （千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域住民等へのマッチング制度の周知を連携して行う。					

事業名	21	南郷そば振興センター運営事業			関係市町村	八戸市 階上町
内 容	・そばの乾燥・選別処理施設である「南郷そば振興センター」を共同で利用する。					
効 果	・施設の共同利用により、八戸市及び階上町のそば生産の振興が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	そば作付面積		157 ha (R2 年)		157 ha (R8 年)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	17,239	17,239	17,239	17,239	17,239	86,195
役割分担	八 戸 市：南郷そば振興センターの管理・運営を行う。 関係市町：そば生産者への周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	22	畜産業及び畜産関連産業振興事業			関係市町村	全市町村
内 容	・八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに基づき、畜産振興に向け各種事業を実施する。					
効 果	・圏域特性である夏季冷涼な気候、交通インフラ、飼料供給基地の飼料コンビナートの立地等を活かした各種事業の実施により、地域経済の活性化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の飼養頭羽数		乳 牛：1,170 頭 肉 牛：13,044 頭 豚：114,676 頭 採卵鶏：4,138,400 羽 肉用鶏：4,760,957 羽 (R2 年)		乳 牛：1,104 頭 肉 牛：14,430 頭 豚：122,000 頭 採卵鶏：4,722,000 羽 肉用鶏：5,520,000 羽 (R8 年)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2,474	2,474	2,474	2,474	2,474	12,370
役割分担	八 戸 市：八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの進行管理を行う。 関係市町村：ビジョンに掲げる各種事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	23	漆産業振興事業			関係市町村	全市町村
内容	・圏域内のウルシ林の情報を収集・管理するとともに、漆の一大産地である二戸市と情報を共有し、ウルシの植栽を促進する。 ・ウルシを植栽する際の苗木の購入費用を助成する。					
効果	・圏域全体でのウルシの植栽や情報管理により、地域林業の多角化が期待される。 ・伝統文化の保存や技術の継承のほか、圏域内の森林の多面的な利用や農山村地域の振興が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ウルシ苗木の植栽本数 【累計】		6,973 本 (R3 年度)		14,473 本 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	660	660	660	660	660	3,300
役割分担	八 戸 市：圏域内のウルシ林の情報の管理を行うとともに、補助金交付に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：町村内のウルシ林の状況を把握し、その情報の管理・提供を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	24	漁業就業支援事業	関係市町村	八戸市、三戸町、南部町、階上町、おいらせ町		
内 容	・漁業就業や漁業に必要な技能習得・資格取得等に係る情報発信を行い、漁業就業者の減少や後継者不足の解消を図る。					
効 果	・圏域内の漁業就業に係る情報の集約・発信により、技能習得や資格取得が促進され、漁業現場で求められる人材の確保と就業希望者の早期就業が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	漁業就業に係る相談件数		3 件 (R2 年度)		10 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町：圏域内の漁業就業や資格取得等に関する情報を連携して発信するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

④ 戦略的な観光施策の展開

事業名	25	八戸広域観光推進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・八戸圏域版 DM0 である一般財団法人 VISIT はちのへと連携して、広域観光推進事業を実施する。					
効 果	・圏域の認知度向上と観光入込客数の増加が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	VISIT はちのへ ホームページ PV 数		1,366,147 PV (R2 年度)		2,000,000 PV (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	190,271	190,271	190,271	190,271	190,271	951,355
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。 関係市町村：(一財)VISIT はちのへの関連事業の実施を支援するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	26	グリーン・ツーリズム推進事業			関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村	
内 容	・農家民泊における受入農家の維持・確保や育成等の課題に対する取組を検討する。 ・果物狩り等の各種体験メニューの充実を図り、首都圏での情報発信を含め、PRを推進する。						
効 果	・交流人口の増加による地域経済への波及効果が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	教育旅行等の受入校数		8校 (R1 年度)		11校 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	477	477	477	477	477	2,385	
役割分担	関係市町村：農業観光 PR、農業観光資源の開発、情報収集、教育旅行の受入等の事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。三八地方農業観光振興協議会の会長が属する市町村が事務局を担う。						

2. 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	現状値	目標値
広域バス路線数	14 路線 (R3 年)	14 路線 (R8 年)
八戸市中心市街地の 歩行者通行量	48,217 人 (R2 年)	75,600 人 (R8 年)

⑤ 高度な医療サービスの提供

事業名	27	八戸市総合保健センター運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・総合的な医療・健康対策の充実を図るため、関連する機能を集約した拠点施設である八戸市総合保健センターを運営し、圏域住民の利用に供する。					
効 果	・総合的な医療・健康対策の推進により、効率的に圏域内の住民一人ひとりが生涯を通じて心身ともに健康で、生きがいのある生活を送ることが期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	医療・健康に関する 施設利用の申請件数		123 件 (R2 年度)		155 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	→	→	→	→	→	→
役割分担	八 戸 市：当センターを運営するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

⑥ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

事業名	28	八戸圏域地域公共交通計画推進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・広域路線バス上限運賃政策を実施する。 ・低床バス車両の導入促進、鉄道やバスの乗継環境の改善を図る。 ・バスロケーションシステムや IC カードの普及・利用促進等、デジタル化の推進を図る。 ・「送迎に頼らず通学できる」「安心して通院できる」移動手段確保のため、公共交通出前教室の実施等により、通学・通院時の利便性・安全性の向上を図る。					
効 果	・日常生活に欠くことのできない地域公共交通の維持に向けた取組により、圏域住民の生活の質の向上が図られ、「住み続けられる圏域づくり」の実現につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	広域バス路線数		14 路線 (R3 年度)		14 路線 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	8,990	8,990	8,990	8,990	8,990	44,950
役割分担	関係市町村：交通事業者等と連携し、当計画の推進に必要な事業を実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	29	美術館運営事業				関係市町村	全市町村
内 容	・各種展覧会を開催するとともに、美術館や学校での鑑賞プログラムや学校へのアーティスト派遣を行う小中高連携プロジェクト等を実施する。						
効 果	・美術館を活用した各種取組により、アートの学びの機会の創出と圏域の活性化が図られる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	来館者数		—		90,000 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	66,369	66,369	66,369	66,369	66,369	331,845	
役割分担	八 戸 市：展覧会や各種イベントの企画等、当事業に関する事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連 携 町 村：小中高連携プロジェクトを学校に周知し、当プロジェクトに参加する。 関係市町村：圏域住民等への展覧会や各種イベント等の周知を連携して行う。						

事業名	30	八戸ポータルミュージアム運営事業				関係市町村	全市町村
内 容	・八戸ポータルミュージアム「はっち」において、アートイベントや文化芸術活動など各種事業を展開し、文化芸術振興及び地域の活性化、賑わいの創出を図る。						
効 果	・アート関係のイベントや圏域住民が参加する文化芸術活動を通じ、圏域全体の文化芸術振興が図られるとともに、圏域内の交流促進や新たな活動の創造が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	圏域住民等主催の文化芸術活動率		28% (R2 年度)		28% (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	34, 278	34, 278	34, 278	34, 278	34, 278	171, 390	
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民へのイベント情報等の周知を連携して行う。						

事業名	31	ブックセンター運営事業				関係市町村	全市町村
内 容	・八戸ブックセンターにおいて、圏域内の書店や関係機関と連携し、企画事業等を実施する。						
効 果	・圏域内の関係機関と連携した企画事業等の実施により、新たな本との出会いや本に親しむ機会、圏域内住民の交流の機会を創出する。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	来館者数		69,055 人 (R2 年度)		90,000 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	77,225	77,225	77,225	77,225	77,225	386,125	
役割分担	八 戸 市：当センターの運営を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連 携 町 村：八戸市を会場とするイベントを実施する際には、ブックセンター（読書会ルーム）の活用を検討する。 関係市町村：圏域内の関係機関に対し、当センターの企画事業の周知を連携して行う。						

事業名	32	屋内スケート場運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・八戸市長根屋内スケート場において、スケートリンクの競技者利用、一般開放による圏域住民利用を促進するとともに、国際大会や国内外からの強化合宿、各種コンベンション等の誘致に取り組むなど、施設の多目的な利用を促進し、圏域の活性化を図る。					
効 果	・圏域のスピードスケートの競技人口の底辺拡大と競技力向上が期待される。 ・各種イベントの開催などによる圏域の活性化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	利用者数		131,001 人 (R2 年度)		145,000 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	3,129	3,129	3,129	3,129	3,129	15,645
役割分担	八 戸 市：当スケート場を運営するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

事業名	33	多賀多目的運動場運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 地域の活性化や地域スポーツの振興を図るため、サッカーJ3 のスタジアム要件を満たす球技場をはじめ、多目的に利用可能な運動施設を運営し、圏域住民の利用に供する。					
効 果	・ 各種大会やスポーツイベントなどの開催により、地域の一体感や活力の創出が図られるとともに、交流人口の拡大による圏域経済の活性化が期待される。 ・ 地域スポーツとトップスポーツとの好循環による競技力向上やスポーツに親しむ圏域住民の増加により、健康保持が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	当運動場を本拠地とする スポーツチームの観客者数		12,683 人 (R2 年度)		31,000 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	59,523	59,523	59,523	59,523	59,523	297,615
役割分担	八 戸 市：多賀多目的運動場を運営し、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：連携して圏域内における利活用を促進する。					

⑦ 高等教育機関等と連携した地域の人材育成

事業名	34	学生まちづくり参画促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 学生や大学等が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決を目的とした事業や活動の企画に対し、学生まちづくり助成金を交付する。 ・ 市民活動団体や住民組織が取り組む活動を通じて、学生が行うまちづくり活動に対し、まちづくりインターン助成金を交付する。					
効 果	・ 地域課題の解決を目的としたまちづくり活動や学生の社会参加の第一歩となるボランティア活動等の取組を支援することで、地域課題に対する当事者意識の醸成が図られ、将来の圏域を担う人材の育成やまちづくり活動への参加促進につながる。 ・ 何らかの形で活動に関わりを持つ学生と地域住民のまちづくり活動への参加意欲の向上につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	学生まちづくり助成金 交付件数【累計】		53 件 (R3 年度)		78 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	1,468	1,468	1,468	1,468	1,468	7,340
役割分担	八 戸 市：助成金交付に係る事務全般を行うとともに、必要に応じて学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。また、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：圏域住民への事業周知等の進捗管理への協力や、必要に応じて学生・大学等と関係機関や地域とのコーディネートを行う。					

3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.38 (H30～R2 年平均)	1.38 以上 (R8 年)
転入者人口比率	2.89% (R2 年)	2.89%以上 (R8 年)
転出者人口比率	3.19% (R2 年)	3.19%以下 (R8 年)
年少者人口比率	11.09% (R2 年)	11.09%以上 (R8 年)

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

⑧ 医療体制の充実

事業名	35	医師派遣事業	関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、おいらせ町		
内 容	・三戸中央病院、五戸総合病院、田子診療所、南部町医療センター、おいらせ病院を対象に医師充足数の実態に応じて、八戸市立市民病院から医師を派遣する。					
効 果	・病症の程度や回復の度合いに応じて、身近に適切な医療サービスを受けられる環境を整備するとともに、八戸市立市民病院への過度な依存の軽減により、中核病院としての市民病院の医療機能が維持され、圏域における高度な医療サービスの提供体制の強化につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	派遣医師数		312 人 (R2 年度)		320 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	33,021	33,021	33,021	33,021	33,021	165,105
役割分担	八戸市：医師の招へいに努めるとともに、協議の上、医師を派遣する。 連携町村：医師の派遣に要する費用を負担する。					

事業名	36	ドクターカー運行事業				関係市町村	全市町村
内 容	・救命処置等の必要な救急患者が発生した現場に、八戸市立市民病院の医師等が出動して医療行為を行うことで、地域住民の救命率向上を図ることを目的に、圏域内においてドクターカーを運行する。						
効 果	・ドクターヘリとドクターカーの併用により、救急医療における地域格差が緩和されるとともに、圏域の救急患者の救命率及び社会復帰率の向上につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	ドクターカー要請時の 応需率		100% (R2 年度)		100% (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	17,413	17,413	17,413	17,413	17,413	87,065	
役割分担	八 戸 市：ドクターカーの車両や現場携行機材の整備・補充等の維持管理を行うとともに、救急医療に効果的な高度医療機器等の装置・設備を整備する。 また、圏域内の医療機関等との連携及び調整に努める。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	37	妊婦健康管理支援事業				関係市町村	全市町村
内 容	・子育て世代包括支援センターの理念に基づき、圏域における周産期における母子保健事業等の各種情報をまとめ、ホームページ等により情報発信を行う。						
効 果	・周産期に関する各種情報の周知により、虐待予防や妊産婦の孤立解消につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	早期妊娠届出割合		95.3% (R2 年度)		96.0% (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
役割分担	八 戸 市：圏域の各種情報をまとめたホームページを作成する。 連 携 町 村：ホームページの各自の情報を更新する。 関係市町村：圏域住民への情報発信を連携して行う。						

事業名	38	不妊専門相談事業				関係市町村	全市町村
内 容	・不妊専門相談センターにおいて、不妊や不育症に悩む夫婦等の相談に専門医が応じる。						
効 果	・不妊や不育症に悩む夫婦等が身近な場所で専門的な相談支援を受けられることにより、子どもを生み育てる環境の形成につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	相談件数		7件 (R2 年度)		24 件 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	642	642	642	642	642	3,210	
役割分担	八 戸 市：不妊専門相談センターを運営するとともに、事務局として、医師会との連携による医師の確保等を行う。 連 携 町 村：必要に応じて八戸市と連携し、相談者に対する支援を行う。 関係市町村：圏域住民への当事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	39	AED 普及促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・圏域住民を対象とした AED(自動体外式除細動器)の講習会を開催する。 ・各市町村において AED の設置を促進するとともに、圏域内での営利を目的としないイベント等に対して、必要に応じて AED の相互貸し出しを行う。						
効 果	・事業の周知、講習会の参加等を通じて、圏域内での AED の普及啓発が図られる。 ・圏域内での AED の相互貸し出しにより、イベント等が重なる時期でも必要台数が確保され、突然の心停止に陥ったときの救命活動に備えることができる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	AED 講習会の参加者数		78 人 (R1 年度)		80 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	7,453	7,453	7,453	7,453	7,453	37,265	
役割分担	八 戸 市：AED 講習会に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域住民への講習会の開催情報を連携して周知するとともに、協議の上事業実施に必要な費用を負担する。						

⑨ 子育て支援の充実

事業名	40	一時預かり保育事業				関係市町村	全市町村
内容	・ 認定こども園や保育所等において、家庭での保育が困難となった児童を一時的に預けられる場を提供するとともに、居住地を問わず必要とする人が利用できる制度として、圏域で連携して周知を行う。						
効果	・ 当事業の実施によって保護者の育児に対する心理的・身体的負担の軽減が図られ、子どもを安心して生み育てる環境形成につながる。						
成果指標	指標		現状値（調査年度）		目標値（達成年度）		
	実施箇所数		39 箇所 (R2 年度)		39 箇所 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	150, 108	150, 108	150, 108	150, 108	150, 108	750, 540	
役割分担	関係市町村：圏域住民の利用に供し、圏域住民等への周知を連携して行う。						

事業名	41	ファミリーサポートセンター事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 地域において育児援助を受けたい人（依頼会員）、行いたい人（提供会員）を組織化し、会員同士の相互援助を図る。					
効 果	・ 子育て支援サービスの選択肢が増え、子育て支援を受ける機会の拡充につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	登録会員数		644 人 (R2 年度)		650 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	6,814	6,814	6,814	6,814	6,814	34,070
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。					

事業名	42	子育てつどいの広場事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 地域の子育て支援の拠点施設として、八戸ポータルミュージアム内に「子育てつどいの広場」を設置し、子育てに関する相談・援助活動や子育て関連講座等を実施することにより、圏域の子育て世代の交流を図る。						
効 果	・ 市町村の行政区域の枠を超えて、子育て世代の交流の輪が広がることにより、圏域の子育て世代同士の多様な支え合いにつながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	利用者数		24,097 人 (R2 年度)		52,500 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	15,140	15,140	15,140	15,140	15,140	75,700	
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。						

事業名	43	子育てサロン運営事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 地区公民館や児童館等を拠点として、孤立した子育て環境とならないよう、小学校入学前の親子が気兼ねなく集まり、子育て相談や交流ができる場を設けることで、子育て環境の充実や地域の繋がりを深め、圏域の子育て世代の交流を促進する。						
効 果	・ 圏域内での交流の輪が広がり、また地域や世代間の繋がりが生まれることで、圏域子育て世代の多様な支え合いにつながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	実施地区数		9 地区 (R2 年度)		19 地区 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	2,185	2,185	2,185	2,185	2,185	10,925	
役割分担	八 戸 市：子育てサロンの運営に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域住民への事業周知を連携して行う。						

事業名	44	地域子育て支援拠点事業				関係市町村	全市町村
内 容	・認定こども園や保育所等において、子育てに関する相談や援助、情報提供等を実施するとともに、小学校入学前の子どもとその保護者であれば居住地を問わず誰もが利用できる交流の場を提供する。						
効 果	・圏域内での子育て世代の交流や地域との繋がりが生まれることで、子どもを安心して生み育てる環境形成につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	実施箇所数		23 箇所 (R2 年度)		23 箇所 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	50,602	50,602	50,602	50,602	50,602	253,010	
役割分担	関係市町村：当事業を実施し、圏域住民等への周知を連携して行う。						

事業名	45	児童虐待防止対策事業				関係市町村	全市町村
内 容	・八戸市総合保健センターを活用し、専門職員の支援技術習得のための研修会を開催するとともに、一般セミナーの開催において、圏域住民に対する啓発を行う。						
効 果	・専門職員等のスキルアップにより、虐待リスクのある児童や困難を抱える家庭（保護者）に対し、早期からの適切な相談対応や福祉サービスの調整を中心とした支援の実施が期待される。 ・研修を通じて専門職員等の間で顔の見える関係づくりが促進され、圏域における連携した支援体制の強化が図られる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	研修会等の参加団体数		42 団体 (R2 年度)		115 団体 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	142	142	142	142	142	710	
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な経費を負担する。 関係市町村：研修会やセミナーを企画・準備・開催するとともに、関係機関や住民への当事業の周知を連携して行う。						

⑩ 高齢者福祉の充実

事業名	46	高齢者福祉に関する理解促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域が直面している共通課題の解決に向けて、介護保険等に携わる関係職員を対象に、専門の医師や研究者等を招き合同研修会を開催する。					
効 果	・圏域内で共通の情報を得ることで、圏域全体での効果的な支援の実施につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会の出席者数		147 人 (R1 年度)		200 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	171	171	171	171	171	855
役割分担	八 戸 市：研修会開催に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：研修会の開催事務（事前準備、当日従事等）を支援する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	47	あんしんカード事業				関係市町村	全市町村
内 容	・認知症等により自宅に戻ることができなくなる恐れがある人の情報を登録し、登録者が保護された際には、速やかに家族等に連絡する。 ・登録者に登録番号等を記載したカード等を配付する。 ・圏域内で共通の仕組みを構築するとともに、登録者数等の情報共有を行う。						
効 果	・圏域内において共通の仕組みで制度を運用することにより、圏域全体の見守り・支援体制の強化につながる。						
成果指標	指標			現状値		目標値	
	新規登録者数			103 人 (R2 年度)		143 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度		R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	32		32	32	32	32	160
役割分担	関係市町村：情報共有を図りながら台帳整備等を行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	48	救急医療情報キット配付事業				関係市町村	全市町村
内 容	・関係市町村の災害時要援護者（避難行動要支援者）等に対し、かかりつけ医療機関、服薬内容、持病等、緊急搬送時に必要となる情報を集約し、保管できる救急医療情報キットを配付する。						
効 果	・圏域内で共通の仕様とすることで、救急隊員が緊急搬送時に必要となる情報を正確に把握することができるため、かかりつけ医や搬送先医療機関との円滑な情報共有、その後の迅速な対応が可能となる。 ・圏域内において、要援護者等を地域で支え合う体制の強化や地域と消防本部との連携体制の強化が図られる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	新規配付対象者への普及率		97.9% (R2 年度)		98.0% (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	14	14	14	14	14	70	
役割分担	八 戸 市：事業に係る情報提供及び調整を図るとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：各自治体管内の配付対象者にキットを配付し、配付状況を管理する。						

事業名	49	成年後見制度利用促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 成年後見センター(中核機関)を共同設置し、研修会やセミナーの開催、相談支援、市民後見人の養成等を行う。						
効 果	・ 制度利用の促進が図られ、見守り体制や後見人の支援体制が構築されることで、本人が安心して生活できるとともに、後見人が安心して活動でき、圏域全体の福祉の向上が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	成年後見セミナーの参加者数【累計】		127 人 (R2 年度)		1,000 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	19,993	19,993	19,993	19,993	19,993	99,965	
役割分担	八 戸 市：成年後見センター業務（中核機関設置）に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：一次相談窓口として相談対応を行い、必要に応じて中核機関につなげる。 関係市町村：中核機関と連携し、圏域住民等への制度及び事業の啓発を行うとともに協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	50	医療・介護連携マップ管理運営事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ウェブサイト「はちのへ圏域医療・介護連携マップ」により、地域の医療機関や介護事業所等の住所及び機能等、地域の医療・介護関係者間の連携に資する情報発信を行う。					
効 果	・圏域の医療機関や介護事業所の職員が患者や利用者を支援する際に必要な情報収集が可能となることで、適切な支援の提供につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	医療・介護マップ PV 数（月間）		11,324 PV/月 （R2 年度）		13,000 PV/月 （R8 年度）	
事業費見込額 （千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	385	385	385	385	385	1,925
役割分担	八 戸 市：ウェブサイトの管理運営に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連 携 町 村：事業所の新設・変更・廃止等の情報を八戸市に提供する。 関係市町村：関係機関等への当事業の周知を連携して行う。					

事業名	51	介護予防センター利用促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・八戸市の介護予防センターにおいて、介護予防及び認知症予防事業、認知症支援事業等を実施し、圏域での利用促進を図る。						
効 果	・市町村単独で行うことが難しい事業を、当センターを拠点に連携して実施することで、圏域全体の介護予防や認知症予防に関する意識醸成につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	利用者数（延べ）		3,198 人 （R2 年度）		5,134 人 （R8 年度）		
事業費見込額 （千円）	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	66	66	66	66	66	330	
役割分担	八 戸 市：介護予防センターを運営するとともに、リーフレットや各種事業のチラシ等を作成する。 関係市町村：当センターと利用者に係る状況等の情報共有を図るとともに、圏域住民への事業周知を連携して行う。また、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

⑪ 障がい者福祉の充実

事業名	52	障がい者福祉に関する理解促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・行政職員を対象とした、障がい者福祉に関する研修会を合同で開催するほか、福祉に関心のある住民や福祉サービス事業に携わる関係者を対象とする研修会を開催する。					
効 果	・市町村間の情報共有や障がい福祉サービス等の事務の平準化、担当職員の能力や資質の向上が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	研修会参加者数		114 人 (R2 年度)		180 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	473	473	473	473	473	2,365
役割分担	八 戸 市：研修会開催に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：研修会の開催準備に参画する。 関係市町村：圏域住民や関係機関への研修会開催情報の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	53	障害支援区分判定審査の共同実施事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 障害者総合支援法の規定に基づく障害支援区分判定審査を圏域で実施するとともに、審査に係る事務を八戸市で実施する。					
効 果	・ 圏域全体での審査会に係る事務（委員委嘱、会議開催等）の効率化及び負担軽減につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	審査件数		749 件 (R2 年度)		800 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	19,085	19,085	19,085	19,085	19,085	95,425
役割分担	八 戸 市：審査会に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：審査会に諮る案件について、八戸市に情報を提供する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑫ 中小企業従事者の福祉向上

事業名	54	勤労者福祉促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 八戸市勤労者福祉サービスセンターにおいて、圏域の中小企業の従業員への福利厚生事業（各種給付・助成、イベント企画等）を行う。						
効 果	・ 福利厚生経費の負担軽減により、圏域の中小企業の経営安定化が図られる。 ・ 圏域中小企業の福利厚生等の充実により、早期離職者の減少が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	会員数		1,324 人 (R2 年度)		1,384 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	2,731	2,731	2,731	2,731	2,731	13,655	
役割分担	八 戸 市：当センターの運営に係る事務全般を行う。 関係市町村：広報紙等により加入促進活動を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

⑬ 消費者支援の充実

事業名	55	消費生活支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 八戸市消費生活センターにおいて、消費生活相談を行う。 ・ 消費者講座及び若年者向け出前消費者講座を開催する。					
効 果	・ 専門相談員の対応により、住民サービスの向上が図られるとともに、広域的な情報収集が可能となることにより、消費者被害の未然防止や早期解決が図られる。 ・ 消費者教育・啓発事業の実施により、消費生活に関する知識の向上及び消費者被害の未然防止が図られる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	消費者講座の参加者数		267 人 (R2 年度)		1,000 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	14,720	14,720	14,720	14,720	14,720	73,600
役割分担	八 戸 市：消費生活センターの運営に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：消費生活センターと連携する相談窓口を設置するとともに、消費者講座の企画及び実施に協力する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑭ 社会教育の充実

事業名	56	生涯学習推進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・各市町村が実施している各種講座等について、圏域内の情報を集約・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページ等の活用により周知を図る。					
効 果	・圏域住民への学習機会の提供とともに、学習機会の選択肢の幅が広がる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	八戸市民大学講座の受講者数及び修了者数		1,331人/0人 (R3年度)		3,500人/52人 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計
	7,852	7,852	7,852	7,852	7,852	39,260
役割分担	八戸市：八戸市民大学講座の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：各自で実施する講座等の情報を収集・共有する体制を検討するとともに広報紙やホームページ等を活用して地域住民に連携して周知を行う。					

事業名	57	図書館相互利用事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内の住民が、圏域内の図書館・図書室で貸出を受けることを可能にすることにより、利用者の利便性の向上と本に触れ合う機会の創出、増加を図る。					
効 果	・青森県内図書館共通利用券の発行が不要になり、事務手続きが軽減されるほか、圏域住民の利便性が向上する。 ・他の自治体の図書館・図書室を気軽に利用できるようになり、新たな本との出会いの機会が増加する。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	人口 100 人当たりの 年間貸出冊数		270 冊 (R2 年度)		320 冊 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：当事業に関連して行われる図書館職員の研修・視察等に参加する。 関係市町村：圏域住民等への当事業の周知を連携して行う。					

事業名	58	八戸圏域文化財魅力発信事業				関係市町村	全市町村
内 容	・地域資源である圏域内の文化財の情報をホームページに集約し、文化財が有する価値や魅力の顕在化・体系化を図るとともに、圏域住民や観光客がアプローチしやすいツールやデジタルコンテンツの利活用によって文化財の情報を発信し、各文化財の実見への動機づけや誘導を図る。						
効 果	・圏域内の文化財の面的な活用を通して、文化財の価値・魅力の増大や圏域内外での認知度の向上につながる。 ・市町村間での文化財情報の共有や活用により、文化財の保存管理方法の向上や保護機運が高まる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	ホームページ PV 数		—		20,000 PV (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	502	502	502	502	502	2,510	
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。情報発信を行う文化財情報を一括管理し、ホームページ等を作成する。 連 携 町 村：文化財の情報を八戸市に提供する。 関係市町村：文化財の情報発信や企画検討を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

⑮ 学校教育の充実

事業名	59	広域的体験学習支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・小中学校が圏域内の公共施設を活用して行う体験学習に対して、バス借上料や施設入館料を支援する。					
効 果	・体験学習の充実により、圏域内の児童生徒に豊かな人間性や、自ら学び、自ら考える力が育まれる。 ・圏域内で児童生徒に様々な体験を提供することにより、圏域内施設の周知及び有効活用につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	圏域内小学校の利用割合		73% (R2 年度)		90% (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	14, 140	14, 140	14, 140	14, 140	14, 140	70, 700
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：各町村の学校へ事業の周知を図るとともに、新規利用施設の情報提供・検討を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	60	こども支援センター連携推進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・子どもの発達・発育、不登校等に関する相談窓口である八戸市こども支援センターと各町村の教育委員会が連携し、子育てに悩む保護者等のニーズに応じた支援を行うとともに、相談対応職員の専門研修を共同で実施する。					
効 果	・圏域全体で相談体制の構築を図ることにより、専門性の高い相談にも対応可能となるなど、適切な支援につながる。 ・専門研修の共同実施により、各市町村の相談対応職員の資質と能力の向上とともに教育委員会間の連携の推進や圏域の相談体制の強化が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	町村職員の研修参加者数 (延べ)		—		21 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	55, 124	55, 124	55, 124	55, 124	55, 124	275, 620
役割分担	八 戸 市：こども支援センターを運営し、圏域の児童生徒や保護者の相談対応を行うとともに、相談対応職員向けの研修会を開催する。 連 携 町 村：学校や当センターと連携した教育相談への対応や当センターを利用する児童生徒への継続的なサポートを行う。また、相談対応職員向けの研修会に積極的に参加する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	61	教職員研修連携事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 八戸市総合教育センターと各町村の教育委員会が連携し、圏域の教職員を対象とする研修講座を共同で実施する。						
効 果	・ 教職員個々の資質と能力の向上により、圏域全体の教育力の向上が図られる。 ・ 圏域の教職員の研修機会の増加につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	共同実施講座数		－		13 講座 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
		16,734	16,734	16,734	16,734	66,936	
役割分担	八 戸 市：研修講座の運営に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：圏域内の教職員への講座開催の案内を連携して行う。						

⑩ 高等学校の地域活動促進

事業名	62	高校生地域づくり実践プロジェクト			関係市町村	全市町村
内 容	・高等学校の生徒が圏域内で取り組む地域振興や地域貢献、地域課題の解決等を目的とした事業や活動の企画に対し、八戸圏域地域活動促進事業助成金を交付する。 ・「高校生×地域連携交流会」等の事業により、地域と高等学校・生徒の交流促進を図る。 ・市民活動団体や住民組織が取り組む活動を通じて、高校生が行うまちづくり活動に対し、まちづくりインターン助成金を交付する。					
効 果	・地域が持つ様々な地域課題の解決等に取り組むことにより、地域課題に対する当事者意識、地域への愛着や誇りの醸成につながる。 ・地域の活性化に携わる経験を通じて、地元定着の促進や大学等への進学後に、より実践的に課題解決する熱意と専門性を持った人材に成長して、地域に帰ってくることが期待される。 ・地域活性化の活動等を通じて、地域人材の育成を担う圏域内の高等学校に対する地域内外の評価向上や学校の魅力化につながる。 ・何らかの形で活動に関わりを持つ高校生と地域住民のまちづくり活動への参加意欲の向上につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	地域活動支援件数 【累計】		24 件 (R3 年度)		48 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	7,555
役割分担	八 戸 市：補助金交付や交流会開催等に係る事務全般を行うとともに、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。 連 携 町 村：事業の周知や申請内容に対する関係課への意見照会の取次ぎのほか、高等学校と関係機関、地域等とのコーディネートを行う。 関係市町村：当事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑰ スポーツ活動の機会の充実

事業名	63	氷都八戸パワーアッププロジェクト				関係市町村	全市町村
内 容	・ 次の事業の実施により、圏域のスケートの振興を図る。 1) 幼稚園・保育所・小学校のスケート教室への指導者派遣 2) 小学生を対象としたスケート教室の開催 3) 中学生選手へのスケート競技用具購入に係る費用の一部補助						
効 果	・ スケートに親しむ子ども達の増加や、小中学生の競技人口の増加と競技力向上が図られ、さらには圏域のスケート場の活用促進につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	スケート教室への 参加人数		143 人 (R2 年度)		240 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	3, 322	3, 322	3, 322	3, 322	3, 322	16, 610	
役割分担	八 戸 市：当事業に係る事務全般を行う。 関係市町村：圏域住民への当該事業の周知を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	64	スキー場活用促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 田子町が町在住の小学生から高校生までを対象に実施している創遊村 229 スキーランドのシーズン券事前予約割引について、対象を圏域市町村在住の小中学生、高校生に拡大して実施する。 ・ 上記割引の実施と併せて、創遊村 229 スキーランド及び新郷村営金ヶ沢スキー場のPRを行い、両スキー場の活用促進を図る。					
効 果	・ 圏域のスキー場の活用促進が図られるとともに、冬季スポーツ（スキー・スノーボード）の振興につながる。 ・ 冬季スポーツに親しむ子ども達が増えることにより、競技人口の増加と競技力向上が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	創遊村 229 スキーランド シーズン券予約申込者数		131 人 (R2 年度)		190 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	田 子 町：シーズン券事前予約割引に係る事務を行う。 関係市町村：圏域住民に対して当該事業の周知を連携して行う。					

事業名	65	スポーツ大使派遣事業				関係市町村	全市町村
内 容	・ 八戸圏域の教育機関の要請に応じ、八戸市スポーツ大使（団体に限る）を派遣し、大使の豊かな経験や実績をもとに講演や体験教室（八戸市スポーツ大使ふるさとセミナー）を開催する。						
効 果	・ 八戸市スポーツ大使ふるさとセミナーを通じて、地元スポーツチームに親しむことで、郷土への愛着や誇りの醸成につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	講師派遣件数		3 件 (R2 年度)		13 件 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	397	397	397	397	397	1,985	
役割分担	八 戸 市：教育機関やスポーツ大使との連絡調整など、事務全般を行う。 連 携 町 村：教育機関へ事業周知及び要望のとりまとめを行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	66	子どものスポーツ機会促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域市町村のスポーツ団体の情報を各市町村のホームページで公開し、児童のスポーツをする機会の拡大を図る。					
効 果	・市町村のスポーツ団体情報を公開することで、児童のスポーツをする機会とスポーツ種目の選択肢の拡大が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	ホームページ PV 数		—		7,000PV (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：圏域内のスポーツ団体情報を各自ホームページに掲載するとともに、住民への当該事業の周知を連携して行う。					

⑱ 不法投棄の防止

事業名	67	不法投棄防止事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 輪番制による合同パトロールを実施するほか、監視カメラやサーチライト、不法投棄防止看板の設置、広報活動の強化等の各種対策を行う。					
効 果	・ 関係市町村が不法投棄防止のための各種対策を講じることにより、不法投棄者への抑止力となり、不法投棄の減少が期待される。 ・ 取組を通じた情報共有が図られ、不法投棄に係る連携体制の強化につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	合同パトロールの実施回数		1 回 (R3 年度)		1 回以上 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	1,062	1,062	1,062	1,062	1,062	5,310
役割分担	関係市町村：各種不法投棄対策を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

⑲ 安全・安心なまちづくりの推進

事業名	68	安全・安心情報発信事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域住民ニーズに合わせた災害等の情報等を安全・安心情報システムにより配信するとともに、広報活動により、加入促進活動・防災意識の啓発を行う。					
効 果	・圏域全体の登録者に速やかに情報を発信することで、安全・安心な日常生活につながる。 ・圏域全体で取り組むことで、生活圈全体の安全・安心情報の入手が可能となる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	アプリのダウンロード数		23,877 件 (R2 年度)		48,000 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	3,609	3,609	3,609	3,609	3,609	18,045
役割分担	八 戸 市：システム運営に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：同システムを活用し、住民に安全・安心情報を発信する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	69	福祉避難所相互利用事業			関係市町村	全市町村
内 容	・災害時において、特別な配慮が必要な方を受け入れ対象としている福祉避難所について、民間福祉施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を促進する。					
効 果	・福祉避難所を整備し、災害時に相互利用を行うことにより、1自治体では対応が困難な大規模災害時における安全・安心が推進される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	福祉避難所数		182 箇所 (R2 年度)		191 箇所 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担	関係市町村：共同して福祉避難所の指定を行うほか、要援護者の避難に要する費用を負担する。					

事業名	70	空き家対策推進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・圏域の共通課題である空き家等対策について、各市町村の担当職員を対象とした研修会を開催し、各市町村における現状・課題の整理や情報共有・意見交換を図るほか、必要に応じ、専門家や先進自治体職員を講師に招き、空き家対策に関するスキルアップを図る。						
効 果	・各市町村の担当職員の知識・経験が共有され、スキルの向上が図られることにより、圏域における空き家対策の推進につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	研修会開催数		2回 (R2 年度)		1 回 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	2,216	2,216	2,216	2,216	2,216	11,080	
役割分担	八 戸 市：研修会等の企画・運営に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：研修会等の企画に参加するとともに、研修会等に職員を出席させる。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	71	国土強靱化地域計画推進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・平成31年3月に策定した「八戸圏域8市町村国土強靱化地域計画」に掲げる連携項目の取組を推進する。						
効 果	・連携市町村が持つ課題や情報を共有し、より広域的な視点で連携項目に取り組むことにより、圏域全体の防災力向上につながる。						
成果指標	指標			現状値		目標値	
	「今後検討していく連携項目」の取組数			5項目 (R2年度)		12項目 (R8年度)	
事業費見込額 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	計	
	190	190	190	190	190	950	
役割分担	八戸市：連携市町村間の調整など事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：連携項目の実施に当たり各町村の関係団体等との連絡調整を行う。						

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

⑩ 地域内外の住民との交流・移住促進

事業名	72	移住・交流促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・移住パンフレットの作成や移住ポータルサイトの開設、首都圏での相談会・イベント等出展のほか、八戸市東京事務所内の「観光・UI」ターン窓口」などと連携し、移住・交流の促進を図る。					
効 果	・市町村における移住相談や施策の課題について意見交換することにより、情報共有が図られるとともに、職員の資質と能力の向上が見込まれる。 ・移住施策を共有することにより、移住希望者の相談内容に応じて、他市町村を紹介する等、圏域全体での移住の機会の増加につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	移住相談件数		464 件 (R2 年度)		510 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	40,000
役割分担	八 戸 市：パンフレットの作成等、当事業に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：八戸都市圏移住セミナー等に参加するとともに、町村が単独で参加する移住イベント等において圏域のパンフレットを配布する。ポータルサイトに各自の関連記事を投稿する。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	(11)	八戸都市圏交流プラザ運営事業【再掲】				関係市町村	全市町村
内 容	・首都圏交流拠点である八戸都市圏交流プラザ「8base」において、圏域の食材を活用したメニューの提供や物産販売を展開するとともに、圏域のファンづくりのための交流事業を実施する。						
効 果	・首都圏での圏域ブランドの認知度が高まり、販路拡大につながる。 ・継続的に地域を応援してくれる関係人口の形成・増加が図られ、圏域への移住・定住につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	来店者数		198,240 人 (R2 年度)		357,000 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	47,577	47,577	47,577	47,577	47,577	237,885	
役割分担	八 戸 市：店舗運営や関連事業の実施に係る事務全般を行う。 関係市町村：八戸都市圏交流プラザ運営協議会に参画するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	73	縁結び支援事業				関係市町村	全市町村
内 容	・結婚を望む方への出会いの場を創出する。 ・圏域の結婚支援に関する情報を共有して相互に情報発信を行う。						
効 果	・結婚支援に関する情報取得の機会や出会いの機会の増加により、圏域内で結婚に向けた機運の醸成が図られる。 ・事業を通して、圏域に対する理解が図られ、定住意識の高揚が期待される。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	参加者数		73 人 (R1 年度)		80 人 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	2,404	2,404	2,404	2,404	2,404	12,020	
役割分担	八 戸 市：圏域の結婚支援に係る情報の取りまとめと情報発信を行う。 連 携 町 村：結婚支援に係る情報の収集・提供を行うとともに、住民への情報発信を行う。 関係市町村：地域特性に合った結婚支援に係る事業を連携して実施するとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	74	八戸圏域活性化支援事業			関係市町村	全市町村
内 容	・圏域内で活動する営利を目的としない団体等が取り組む、魅力ある地域づくりに資する取組に対して、八戸圏域活性化事業助成金を交付する。					
効 果	・実施団体による伝統文化の保存や観光・産業等の振興等の取組を通じて、地域活性化が期待される。 ・圏域で取り組むことで、住民間の交流が促進されるとともに、地域づくりの人材育成につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	助成金の交付件数 【累計】		11 件 (R2 年度)		40 件 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000
役割分担	八 戸 市：助成金に係る事務全般を行う。 連 携 町 村：各町村の団体等への制度周知、申請に係る相談・推薦を行う。 関係市町村：協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。					

事業名	75	住民活動保険事業			関係市町村	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、新郷村、おいらせ町	
内 容	・行政が契約者となってあらかじめ保険料を負担し、住民活動中の様々な傷害事故や賠償責任を総合的に補償する住民活動保険を運用する。						
効 果	・住民の保険料負担や加入手続きが不要となり、事務的・経済的負担軽減につながる。 ・まちづくりの主体である住民が安心して活動に参加することができる環境の構築が図られ、活力に満ちた地域社会の実現につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	通報件数に対する支払（適用）件数の割合		100% (R2 年度)		90% (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	3,352	3,352	3,352	3,352	3,352	16,760	
役割分担	八 戸 市：保険制度に係る事務全般を行うとともに、連携町村からの通報受付及び保険会社への通報を行う。 連 携 町 村：住民からの通報受付及び八戸市への通報を行う。 関係市町村：住民への事業周知、注意喚起を連携して行うとともに、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

事業名	76	公共交通による交流促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・公共交通と関係市町村の地域資源を連携させたバスパックの実施・開発等を行う。 ・観光や移住促進分野と連携したバスパック等の情報発信を行う。					
効 果	・公共交通を軸とした圏域内外の住民や観光客等との交流促進が期待される。 ・観光や移住促進分野との連携により、利用者の多様化が図られ、広域路線の確保・維持につながる。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	バスパック利用者数		371 人 (R2 年度)		1,500 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500
役割分担	関係市町村：バス事業者や観光・移住促進関係者等と協力し、公共交通と地域資源を連携させるバスパック等の取組を展開するとともに、事業実施に必要な費用を負担する。					

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

② 圏域内市町村職員の育成

事業名	77	圏域市町村職員育成事業			関係市町村	全市町村
内 容	・八戸市が実施している各種職員研修プログラムについて、連携町村職員に参加の機会を提供する。					
効 果	・職員の資質と能力の向上が期待される。 ・圏域内の職員間の交流により、人的なネットワークの広がりが期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	市町村職員の資質と能力の向上及び各市町村職員間の交流の満足度		88.1% (R2 年度)		90.0% (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	1, 731	1, 731	1, 731	1, 731	1, 731	8, 655
役割分担	八 戸 市：職員研修の開催に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 連携町村：八戸市が実施する職員研修に職員を派遣する。					

② 女性の活躍促進

事業名	78	女性活躍促進事業			関係市町村	全市町村
内 容	・ 職場や地域社会での活躍が期待される女性を対象として、ビジネススキルの向上や職業、業種を超えたネットワークづくりを通し、女性の活躍するチャンスを広げることを目的とした登録制の講座を開催する。					
効 果	・ 居住市町村を越えて就業している方も多いため、連携により周知を図ることで効果的な受講者の募集が可能となる。 ・ 圏域全体での女性活躍の促進が期待される。					
成果指標	指標		現状値		目標値	
	女性チャレンジ講座 受講生数【累計】		230 人 (R2 年度)		376 人 (R8 年度)	
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計
	1,721	1,721	1,721	1,721	1,721	8,605
役割分担	八 戸 市：委託先選定や受講者募集など当事業に係る事務全般を行うとともに、事業実施に必要な費用を負担する。 関係市町村：講座内容を検討するとともに、受講者募集に係る周知を連携して行う。					

③ NPO 等の活躍促進

事業名	79	八戸圏域住民活動促進事業				関係市町村	全市町村
内 容	・活動地域に圏域内市町村が含まれる住民活動団体を「市民活動サポートセンター」の登録対象とし、当センターの利用促進及び住民活動団体の活動の活性化を図る。 ・ホームページや情報誌などにより、住民活動に関する情報の収集・提供を行う。 ・交流会の開催などによる登録団体間のネットワークづくりを行う。 ・住民活動を行う団体の設立や運営などに関する各種相談業務を実施する。						
効 果	・住民活動を行う団体の登録の対象を拡大することで、圏域全体における地域づくりの担い手となる団体の存在や活動の把握につながる。 ・市民活動サポートセンターを核に関係市町村が連携を強化し、当センターが有する機能を活用することで、圏域内の住民活動を行う団体の自立的・継続的な活動の促進につながる。						
成果指標	指標		現状値		目標値		
	市民活動サポートセンター 登録団体数		191 団体 (R2 年度)		191 団体 (R8 年度)		
事業費見込額 (千円)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	計	
	9,129	9,129	9,129	9,129	9,129	45,645	
役割分担	八 戸 市：当センターの運営に係る事務全般を行う。 関係市町村：住民活動に関する情報収集・発信、当サポートセンターの PR、住民活動の促進を図る講座の実施等、各種取組を連携して行う。また、協議の上、事業実施に必要な費用を負担する。						

3 推進体制

八戸圏域連携中枢都市圏 市町村長会議

圏域市町村の長で構成し、連携中枢都市圏の取組に関する方針を協議・決定する。

八戸圏域連携中枢都市圏 担当課長会議

圏域市町村の企画担当課長で構成し、市町村長会議やビジョン懇談会への付議案件の協議・検討など、圏域内の全体調整を行う。

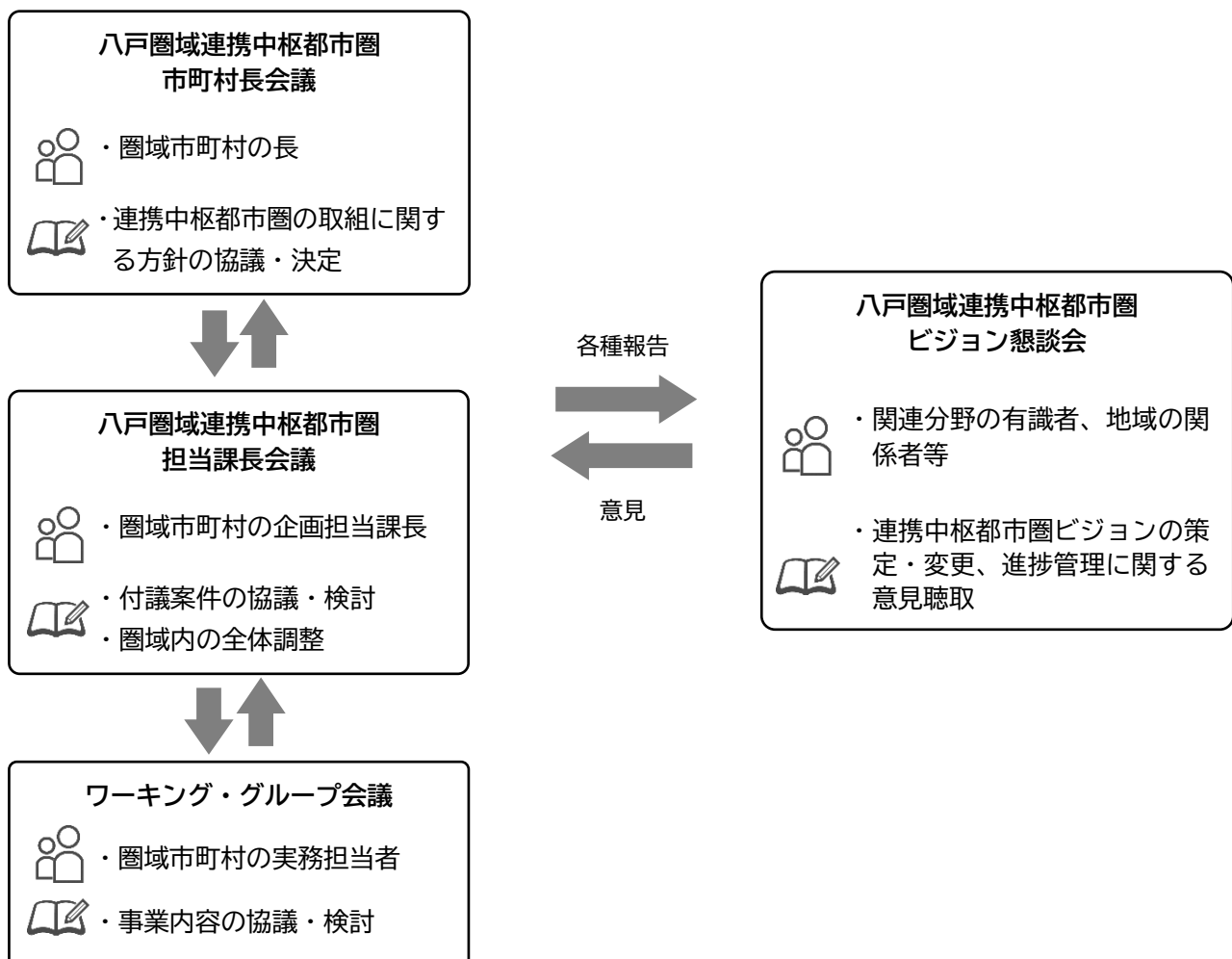
ワーキング・グループ会議

圏域市町村の実務担当者で構成し、具体的な事業内容の協議・検討を行う。

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会

圏域内の関連分野の有識者や地域の関係者で構成し、連携中枢都市圏ビジョンの策定・変更や進捗管理に関して意見聴取を行う。

■推進体制図



付 属 資 料

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 構成員名簿

(敬称略・順不同)

分野		氏名	所属等
産 業	1	塚原 隆市	八戸商工会議所 副会頭兼専務理事
	2	阿部 寿一	一般財団法人 V I S I Tはちのへ 専務理事
	3	水越 善一	八戸農業協同組合 代表理事組合長
	4	沖田 城司	一般社団法人 八戸青年会議所 理事
大学・研究機関	5	武山 泰	八戸工業大学 システム情報工学科 教授
	6	田中 哲	八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授
	7	佐藤 勝俊	八戸工業高等専門学校 名誉教授
金 融 機 関	8	工藤 貴博	八戸金融団 会長
医 療	9	奥寺 良之	一般社団法人 八戸市医師会 副会長
福 祉	10	間山 路代	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会 事務局長
教 育	11	油川 育子	八戸市教育委員会 委員
地域公共交通	12	高橋 学	岩手県北自動車株式会社 南部支社 支社長
雇 用	13	中村 一明	連合青森三八地域協議会 議長
男女共同参画	14	堤 静子	八戸市男女共同参画審議会 会長
構成町村	三戸町	15 井上 浩	有限会社井上測企 代表取締役（三戸町商工会 前会長）
	五戸町	16 小田原 実	五戸町商工会 事務局長
	田子町	17 山本 俊次	元田子町役場 参事
	南部町	18 沼畑 俊吉	NPO法人青森なんぶの達者村 代表理事
	階上町	19 木村 良三	元階上町役場 参事兼総合政策課長
	新郷村	20 佐藤 泰司	元新郷村役場 参事兼企画商工観光課長
	おいらせ町	21 木村 雅行	おいらせ町観光物産協会 会長・おいらせ町商工会 会長
オブザーバー		井口 政和	青森県 総務部 市町村課 主幹
		鈴木 貴也	青森県 総務部 市町村課 主事
		杉田 三生	青森県 三八地域県民局 地域連携部 副参事（地域支援チームリーダー）

※令和5年2月時点

八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、人口減少・少子高齢社会にあっても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とした連携中枢都市圏を八戸圏域において形成するに当たり、圏域の将来像や連携協約に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの策定及び変更に関する事項について、地域の関係者等から意見聴取を行うため、八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会(以下「懇談会」という。)を開催することとし、その運営等について必要な事項を定めるものとする。

(構成員)

第2条 懇談会は、次に掲げる者をもって構成する。

(1)連携中枢都市圏構想推進要綱(平成 28 年 4 月 1 日総行市第 31 号一部改正)第5の(2)④に規定する連携する取組に応じた関係者等

(2)圏域町村から推薦された者

(3)その他市長が必要と認める者

2 前項の場合において、市長は原則として、同一の者に継続して懇談会への出席を求めるものとする。

(会議の招集)

第3条 懇談会の会議は、市長が招集する。

(会議の運営)

第4条 懇談会の議事進行は、八戸市総合政策部政策推進課長(以下「課長」という。)が行うものとする。

2 課長は、意見聴取に係る円滑な進行を図るため、懇談会の出席者の中から適任と思われる者を座長に指名することができるものとする。

3 懇談会の会議は、原則公開とする。

(庶務)

第5条 懇談会の庶務は、八戸市総合政策部政策推進課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成 28 年 5 月 9 日から実施する。

八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について

1 愛称 八戸都市圏スクラム^{エイト}8

2 ロゴ



1 $S = 8 + S$

○「8」と「S」が重なり合い、スクラムを組んでいるイメージを表す。

○また、水色は8市町村を流れる「川」を、紺色は「海」を表し、圏域が川と海を介してつながり、「人」や「もの」が循環している状態をイメージ。

2 8

○8市町村(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)を表す。

3 S

○SCRUM(スクラム)の頭文字。スクラムを組むように一丸となって連携し、同じ目的に向かって一つの方角を向いている状態を表す。

4 

○八角の星は、8市町村が協力し合うことでひとつの星(一番星)となり、未来(希望)に向かって進んでいくことを表す。

○赤色は圏域の活力や積極性をイメージ。

八戸都市圏スクラム８ロゴマーク等の使用に関する要綱

（目的）

第１条 この要綱は、八戸圏域連携中枢都市圏（以下「八戸都市圏スクラム８」という。）の効果的なＰＲを図るため、八戸都市圏スクラム８ロゴマーク（以下「ロゴマーク」という。）を使用する場合の手続等について必要な事項を定めるものとする。

（ロゴマークに関する権限）

第２条 ロゴマークに関する一切の権限は、八戸市に属する。

（使用期間）

第３条 ロゴマークの使用期間は、最長で１年間とする。

（使用の承諾）

第４条 ロゴマークを使用しようとする者は、あらかじめ八戸市長の承諾を受けなければならない。ただし、次に掲げる場合については、この限りでない。

- (1) 国、地方公共団体、公共団体又は公共的団体が使用する場合
- (2) 報道機関が報道の目的に使用する場合
- (3) その他市長が承諾を要しないと認めた場合

（使用の申込み）

第５条 前条の規定による承諾（以下「使用承諾」という。）を受けようとする者は、八戸都市圏スクラム８ロゴマーク等使用承諾申込書（別記第１号様式。以下「申込書」という。）に次に掲げる書類を添えて、あらかじめ八戸市長へ提出しなければならない。その申込みの内容に変更が生じたときも、同様とする。

- (1) 企画立案書等ロゴマークの使用内容が分かるもの
- (2) 使用の見本又は広告の原稿等
- (3) その他市長が必要と認める書類

（承諾の要件）

第６条 八戸市長は、ロゴマークを使用する事業が八戸都市圏スクラム８の活性化に寄与し、その趣旨に沿うものであると認めるときは、使用承諾をするものとする。

２ 八戸市長は、ロゴマークの使用目的が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用承諾をしないものとする。

- (1) 個人若しくは団体のマーク又は商標として独占的に使用する場合
- (2) 特定の政治、宗教、思想等の活動に利用しようとする場合
- (3) 法令及び公序良俗に反し、又はそのおそれのある場合
- (4) 八戸市都市圏スクラム８のイメージを損なうおそれのある場合

（承諾等の通知）

第７条 八戸市長は、申込書が提出されたときは、その内容を審査し、八戸都市圏スクラム８ロゴマーク等使用承諾通知書（別記第２号様式）又は八戸都市圏スクラム８ロゴマーク等使用不承諾通知書（別記第３号様式）により、申込者に通知するものとする。この場合において、八戸市長は、必要な条件を付することができる。

(使用方法)

第8条 前条の規定により使用承諾を受けた者（以下「使用者」という。）は、別に指定するガイドラインに従ってロゴマークを使用しなければならない。

(使用料)

第9条 ロゴマークの使用に対する料金は、無料とする。ただし、掲載及び印刷等に要する費用については、使用者の負担とする。

(使用承諾の取消し等)

第10条 八戸市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用承諾を取り消し、使用者に対し、ロゴマークの使用中止、使用物件の回収等の措置を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの要綱に定める事項に違反した場合
- (2) 使用者が使用承諾に付した条件に違反した場合
- (3) 申込書の内容に虚偽のあることが判明した場合
- (4) その他八戸市長が適当でないと認めた場合

2 八戸市長は、使用者にロゴマークの使用状況等について報告をさせ、又は調査をすることができる。

(使用承諾を受けないで使用した場合の措置)

第11条 八戸市長は、ロゴマークの使用承諾を受けないで使用している者又は使用しようとしている者に対し、その使用の停止を求めるものとする。

(責任の制限)

第12条 前2条の規定により、ロゴマークの使用承諾を取り消し、又は使用の停止を求めた場合に、ロゴマークを使用した者に損害が生じても、八戸市はその責めを負わない。

2 ロゴマークを使用した者が、ロゴマークの使用により第三者に対して損害又は損失を与えた場合でも、八戸市は、損害賠償、損失補償その他の法律上の責任を一切負わない。

(協賛、後援等)

第13条 八戸都市圏スクラム8の活性化に向け実施する事業においてロゴマークの使用承諾を受けようとする者は、併せて八戸都市圏スクラム8の協賛、後援等を受けることができる。この場合における手続については、第3条から前条までの規定の例による。

2 前項の場合において、八戸都市圏スクラム8を構成する市町村の協賛、後援等を受けようとする場合は、各市町村に対し個別にその手続を行うものとする。

(庶務)

第14条 ロゴマーク等の使用承諾に関する事務は、八戸市総合政策部政策推進課において処理する。

(その他)

第15条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、八戸市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年3月30日から実施する。

附 則

この要綱は、令和3年2月15日から実施する。

第2期 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

令和4年3月24日 策定

令和5年3月●日 変更

八戸市 総合政策部 政策推進課

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-9248 FAX 0178-47-1485

ホームページアドレス

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>